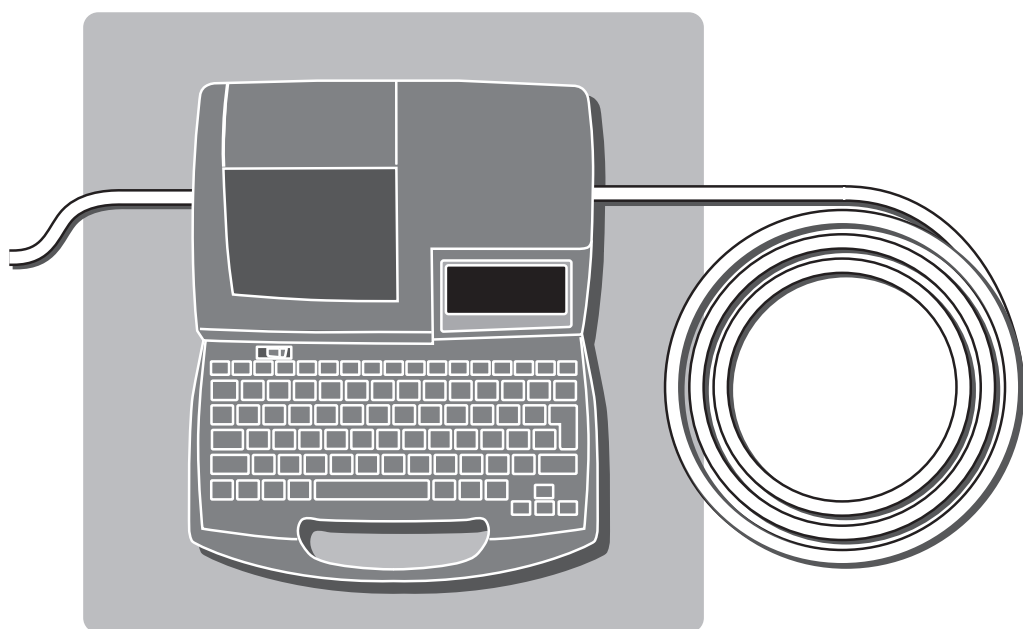


Canon

Mk2600

CABLE ID PRINTER

取扱説明書



ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでもご使用できるように大切に保管してください。

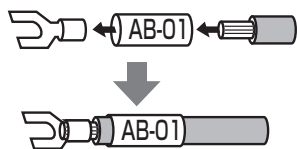
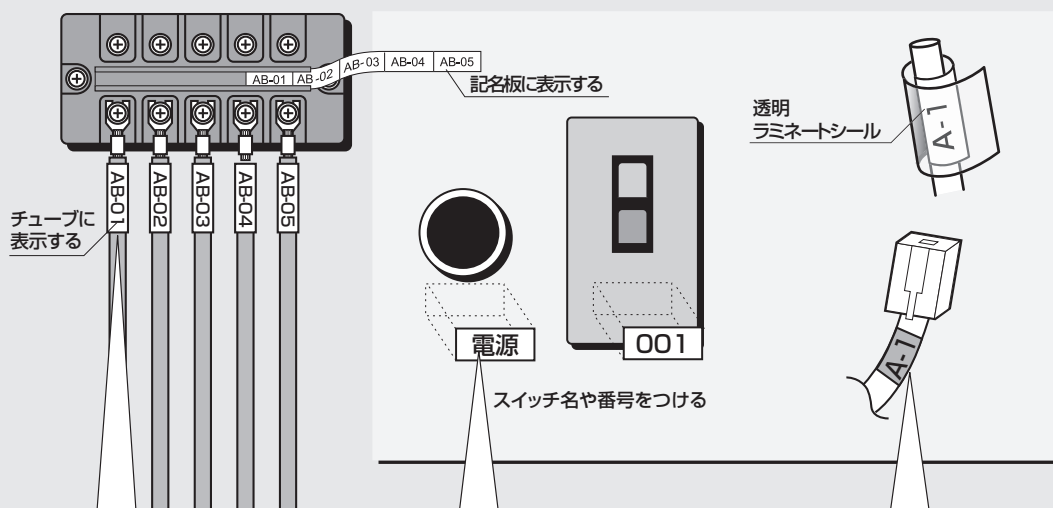
電設現場で大活躍 !!

Mk2600は、こんな機械です。

配電盤のフタを開けると、端子台やブレーカをはじめとしてさまざまなスイッチがぎっしり。さらに、こうした装置と装置の間を縫うように多くのケーブルも配線されています。それぞれのケーブルや装置に記号や番号を表示しておかないと、メンテナンス作業も一苦労。そこでチューブに文字を印字してケーブルに取り付けたり、ラベルに記号を印刷してスイッチに貼りつけたりする方法が電設現場では一般的に行われています。

Mk2600はこうした印字作業をするためのプリンタです。

おもな 特長



高品質印字がラクラク チューブに文字を印字する

「AB-01」「20V」のようにそのケーブルが持つ意味をチューブに直接印字できます。チューブは市販品が使えるのでとても経済的。

スッキリ見やすいスイッチに ラベルに文字を印 字する

Mk2600はチューブのほかにラベルテープと呼ばれるシールに文字を印字することもできます。これによって、ケーブルチューブに印字した記号に対応したものを装置にも貼りつけることができ、作業の能率がアップします。

印字部とラミネート部が一体に ラップアラウンドテープ

印字面を透明フィルムでラミネートするので、文字がかすれて見づらくなることがありません。すでに配線されたケーブルにも後から貼りつけることができます。

1

小型で持ち運びが自由自在

幅250mm×奥行300mm×高さ85mmのコンパクトサイズに加え、重さも2kgと携帯性を第一に考えた軽量設計です。電設現場への持ち運びもラクラク。作業効率が大幅にアップします。

2

高速印字

高速印字にすれば42本／分*というハイスピードでストレスを感じさせません。

*カット長が20mm、3mm全角文字を5文字入力し、半切りする場合。チューブ印字のみ

3

さまざまな印字媒体に対応

市販のチューブ、ラベルテープ、ラップアラウンドテープ、記名板、4mm I.D.Stripの印字媒体に文字を印字することができます（市販のチューブと記名板以外は本機専用のカセットです）。

4

低温環境でも鮮明印刷

5℃という低温環境でも「チューブウォーマ*」を装着して鮮明な印刷ができます。

*オプション

5

ハンディタイプとは思えない多彩な機能

キーボードはJIS配列準拠キーボードを採用。高速入力を可能にしました。また、文字サイズをはじめ、文字間隔や余白の設定、辞書容量約80,000語、パソコンとの通信など、軽量機とは思えない多くの機能を搭載しています。

目次

マークについて	4
お客様へのお願い	4
▲安全にお使いいただくために	5
まず使ってみよう	10

Part 1

お使いになるまえに (準備編)

1-1 各部の名称とはたらき	16
■本体	16
■液晶ディスプレイ	18
■キーボード	20
1-2 ACアダプターをセットする	22
1-3 PC接続キットを使用する	24

Part 2

基本的な操作

2-1 チューブ、透明チューブに印字する	26
■準備1 カセットをセットする	26
■準備2 チューブをセットする	28
■準備3 電源スイッチをONにする	29
■操作1 文字を入力する	30
■操作2 印刷する	35
2-2 ラベルテープ、4mm I.D. Stripに 印字する	36
■準備1 カセットをセットする	36
■準備2 電源スイッチをONにする	39
■操作1 文字を入力する	40
■操作2 印刷する	43
2-3 ラップアラウンドテープに印字する	44
■準備1 カセットをセットする	44
■準備2 ラップアラウンドテープ用 搬送補助ガイドをセットする	45
■準備3 電源スイッチをONにする	46
■操作1 文字を入力する	47
■操作2 印刷する	48
2-4 記名板に印字する	50
■準備1 カセットをセットする	50
■準備2 記名板をセットする	52
■準備3 電源スイッチをONにする	53
■操作1 文字を入力する	54
■操作2 印刷する	57

Part 3

文字の入力

3-1 文字入力のまえに	60
■入力モードを理解しよう	60
■入力モードを切り換える	60
■[Shift]のはたらき	61
3-2 ひらがなを入力する	62
■ローマ字入力するとき	62
■かな入力するとき	63
3-3 カタカナを入力する	64
■ローマ字入力するとき	64
■かな入力するとき	65
3-4 英数字を入力する	66
■英数字を入力する	66
3-5 漢字を入力する	67
■ローマ字入力するとき	67
■かな入力するとき	69
■区点コード入力するとき	71
3-6 記号を入力する	73
■記号を入力する	73
3-7 文字の削除、新規ページ作成、カーソルの移動 ...	75
■文字を削除、変更する	75
■入力した文字データをすべて消去する ...	76
■挿入モードと上書きモード	77
■新規ページ作成	78
■カーソルの移動	79

Part 4

一歩進んだ操作

4-1 文字や行数を変える	82
■文字の大きさを変える	82
■文字と文字の間隔を変える	83
■6と9に下線をつける	84
■文字に枠をつける	85
■2行または3行で印字する	86
4-2 ページを編集する	89
■ページについて	89
■ページをコピーして貼り付ける	90
■ページをカットして貼り付ける	92
■ページを挿入する	94
■ページを削除する	95
■ページを分割する	96
■ページを結合する	98
4-3 文字データの保存、呼び出し、削除 ...	100
■ファイルとフォルダー	100
■文字データを保存する	101
■文字データを呼び出す	103
■文字データを削除する	105
■フォルダー名を変更する	107
4-4 いろいろな印刷	109
■印刷本数(枚数)と印刷範囲	109
■印刷の向きを変える	112
■カット長や文字配置を変える	114
■特定のページを複数印刷する (連続印刷)	117
■連番を持つ文字データを印刷する (連番印刷)	119
■印字開始位置と縦位置を微調整する ...	122
■センターラインを印刷する	124
■短いピッチ幅で印刷する	125
■文字配置と複数行センタリングを 設定しての印字結果	126
■印字濃度を調整する	127
■印字速度を変更する	128

4-5 カットのしかたを変える 129

- 半切りと全切り 129
- 半切りをしない 129
- 印刷本数(枚数)ごとに全切りする 131

4-6 その他の操作 132

- 印字媒体を取り出す 132
- ディスプレイの表示濃度を変える ... 134
- 操作音を消す 135
- 透明チューブの頭出しをおこなわない ... 135
- すべての設定を初期値に戻す 135

Part 5

メンテナンス

5-1 チューブやラベルテープが詰まったら ... 138

- 搬送エラーの対処
(搬送エラーメッセージ表示あり) ... 138
- その他の詰まり対処
(搬送エラーメッセージ表示なし) ... 140
- チューブやラベルテープが排出/
搬送されないとき 142

5-2 カッターが切れにくくなったら 143

- カットの深さを変える 143
- カットの強さを強くする 145

5-3 カッターを交換する 146

5-4 カセットを交換する 149

- リボンカセットを交換する 149
- チューブやラベルテープカセットを交換する 150

5-5 お手入れ 151

- 本体の清掃 151
- 搬送ローラーの清掃 151
- 印字ヘッドの清掃 152
- クリーナーの清掃/交換 152

Part 6

付録

6-1 消耗品とオプション 154

- 消耗品 154
- オプション 155

6-2 エラーメッセージ一覧表 156

6-3 こんなときには 159

6-4 ローマ字/かな入力表 161

6-5 記号一覧表 162


6-6 区点コード表 163


6-7 機能一覧 175

6-8 おもな仕様 176


マークについて


本書で使われているマークはつぎのような意味です。


 **警告** 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。


 **注意** 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。


注意 取り扱いを誤った場合に、本機が壊れたり他の製品に損害が出たりする可能性がある注意事項が書かれています。必ずこの注意事項をお守りください。

 **重要** 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

 操作の参考になることや補足説明が書かれています。

 操作の手順に対する補足説明が書かれています。

 操作の参考となるページが書かれています。表示されているページをごらんください。

[] キーボードの  を押すことを意味します。

お客様へのお願い

- ・ 本書に記載されている一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ・ 本書に記載されている内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本プリンターでお客様の不適当な使用により生じた損害、または改造・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本プリンターで作成・保存したデータは、パソコンなど他の記憶装置等にバックアップすることをお奨めします。故障・修理・検査等に起因したデータ消失、および逸失利益など生じた損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本書の内容について万一不備な点や記載もれ、また、お気づきの点がありましたらお求めの販売店までご連絡ください。

- Canon, Canonロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- この装置は、一般財団法人VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

⚠ 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。

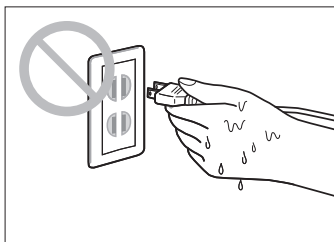
⚠ 警告

分解や改造をしないで



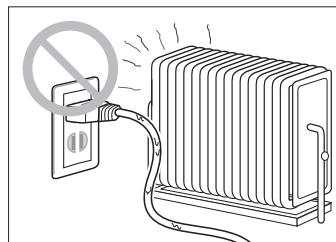
本機を分解や改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因になります。

濡れた手で触らないで



手が濡れた状態で電源プラグなどを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

熱器具のそばに置かないで



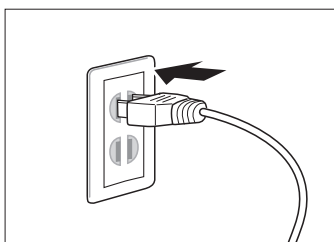
本体やACアダプター、電源コードのそばに熱器具を置かないでください。本体やコードが溶けて火災や感電の原因になります。

シンナーのそばに置かないで



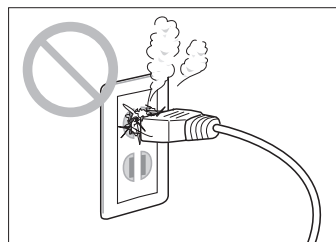
アルコールやシンナーなど引火性溶剤の近くに置かないでください。溶剤が内部の電気部品に触れると火災の原因になります。

電源プラグは確実に差し込んで



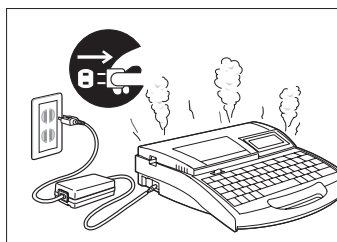
電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。電源プラグの歯に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

電源プラグは常にキレイに



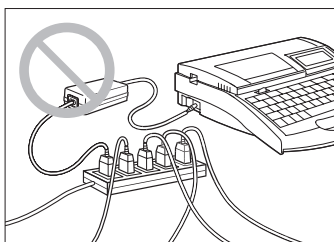
電源プラグは定期的に清掃してください。ホコリや汚れ、油煙などが付着した状態で長時間使用すると、ホコリが湿気を吸って絶縁不良による火災の原因になります。

異常状態のまま使わないで



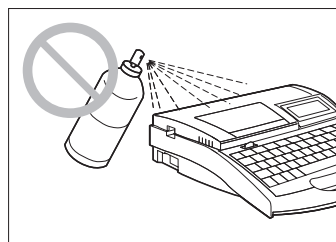
万一、煙が出たり、異臭がするときは異常です。すぐに電源スイッチをOFFにし、電源コンセントから電源プラグを抜いて、お近くの販売店までご連絡ください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因になります。

タコ足配線などをしないで



二股ソケットなどを使ってタコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。また電源コードを束ねたり、結んだりしたまま通電しないでください。火災や感電の原因になります。

スプレーなどは使わないで



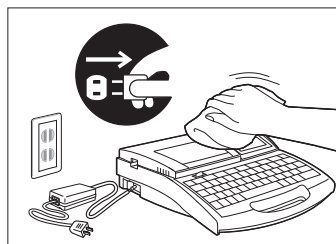
本機のそばで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。スプレーのガスが内部の電気部品に触れて、火災や感電の原因になります。

シンナーなどで拭かないで



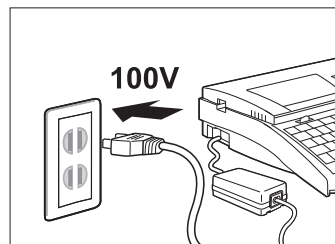
本体を拭くときは、水にしめらせて固くしぼったガーゼを使用し、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。溶剤が内部の電気部品に触れて火災や感電の原因になります。

お手入れのときは電源をOFFにして



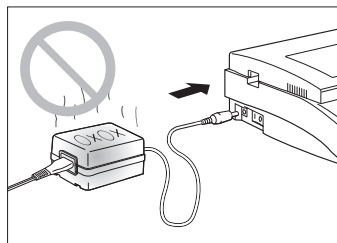
清掃するときは電源スイッチをOFFにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。万が一電源スイッチが入って本体が動作すると、ケガの原因になることがあります。

AC100Vの電源を使って



表示された以外の電源電圧で使用しないでください。AC100Vの電源電圧でご使用ください。火災や感電、故障の原因になることがあります。また、本機は国内仕様です。日本国内でのみお使いください。

付属のACアダプター、コード以外は使わないで



付属のACアダプター (N14584)・電源コード以外は使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。

また、付属のACアダプター・電源コードは本製品以外の製品に使用しないでください。火災や感電の原因になります。

近くに雷が発生したときは電源プラグを抜いて

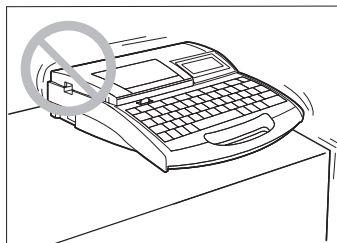
近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災や感電、故障の原因となります。

ACアダプター、コードは傷つけないで

ACアダプターや電源コードを傷つける、引っ張る、加工するなどのことはしないでください。また、ACアダプターや電源コードに重いものをのせないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因となります。

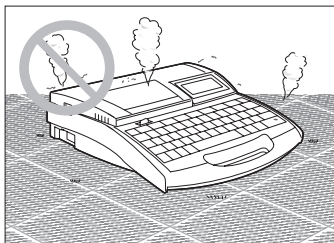
⚠ 注意

不安定な場所に置かないで



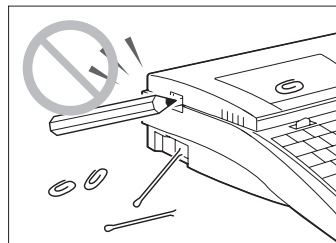
不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になることがあります。

じゅうたんの上に置かないで



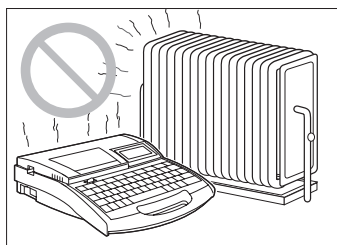
じゅうたんやカーペットなどの上に置かないでください。繊維やホコリが内部に入り込み、火災の原因になることがあります。

異物を入れないで



ACアダプターの差込口やカット一部、製品内部にはクリップやホチキスの針などの金属片を落としたり異物を入れたりしないようにしてください。火災、感電、故障やケガの原因になることがあります。

湿度やホコリに注意して



高温高湿の場所、ホコリの多いところ、直射日光の当たる場所、火気の近くでは使用（または保管）しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

必ず保管環境・動作環境をお守りください。

動作環境：

温度：15～32.5℃

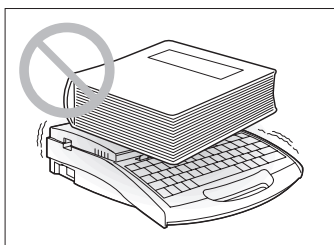
湿度：10～85%

保管環境：

温度：5～35℃

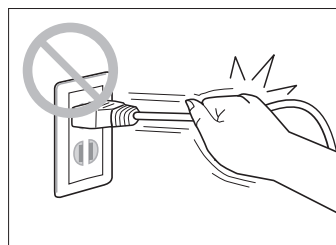
湿度：10～90%

重いものや金属物などを置かないで



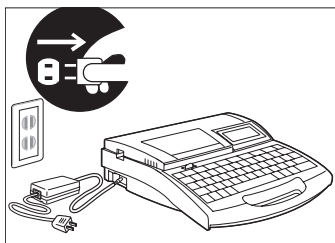
本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。故障の原因になることがあります。また、アクセサリなどの金属物や、コップなど水や液体が入った容器を置かないでください。製品内部の電気部品などに接触すると、ショートして火災や感電の原因になることがあります。

電源プラグの扱いはていねいに



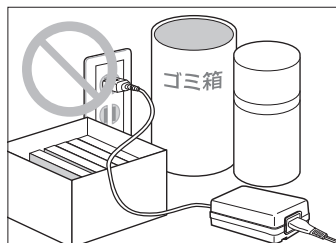
電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持ってまっすぐに抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。また、電源プラグを抜き差しするときは、必ず本体の電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

使わないときは電源プラグを外して



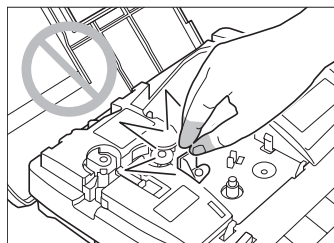
長時間または長期間で使用にならない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。漏電の原因や、ホコリなどがたまって、火災の原因になることもあります。

電源プラグのそばにものを置かないで



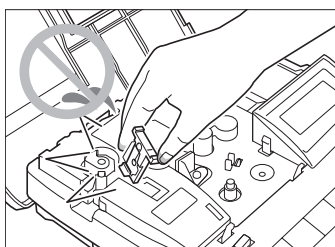
いつでもすぐにACアダプターのプラグが抜けるように、プラグのそばにはものを置かないでください。異常時にプラグが抜けないと、火災や感電の原因になることがあります。

印字ヘッドは触らないで



印字中、印字終了直後は印字ヘッドに手を触れないでください。やけどをするおそれがあります。

カッターに気をつけて




本機にはカッターが内蔵されています。ケガの原因になりますので、本書をよくお読みになり、取り扱いには十分ご注意ください。

子供の手が届く場所に置かないで

インクリボンやクリーナー、ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドなどの消耗品や部品は、子供の手の届かないところに保管してください。誤ってなめたり飲み込んだりすると、大変危険です。

運ぶときは取っ手を持って

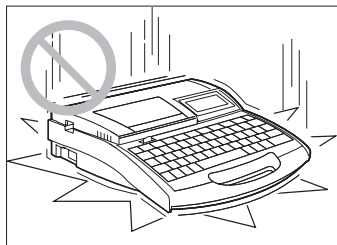
本製品を持ち運ぶときは、本書の指示にしたがって正しく持ってください。製品を落としたりして、ケガの原因になることがあります。(取っ手  16ページ)

延長コードは使用しないで

延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

注意

取り扱いはやさしく



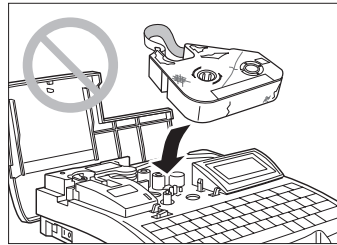
本機に強い力や衝撃などを与えないでください。故障の原因になることがあります。

キーボード操作はていねいに



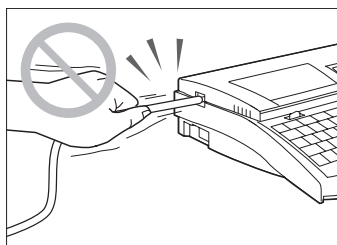
キーボードの操作はていねいに行ってください。乱雑な操作は故障の原因になることがあります。

リボンやラベルテープは再使用しないで



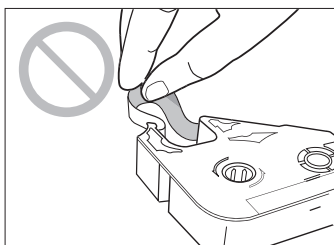
使い終わったリボンやラベルテープを再使用しないでください。故障の原因になります。

チューブを無理に引っ張らないで



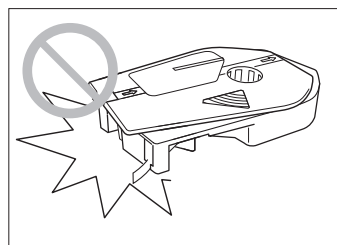
印字中にチューブやラベルテープを無理に引っ張らないでください。印字不良や故障の原因になることがあります。

インクリボンには触らないで



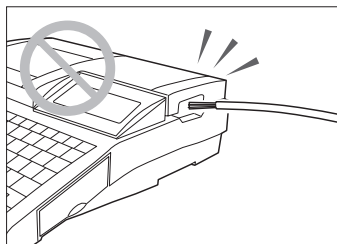
インクリボンを直接手で触らないでください。手脂などがついて印字不良の原因になったり、手が汚れることがあります。

カセット類は専用のものを使って



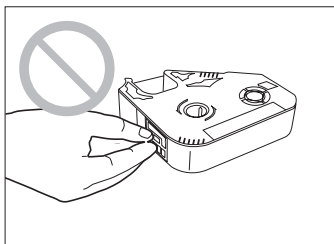
カセットやアタッチメントなどは専用のものをご使用ください。また、カセットを分解して、他のリボンや媒体を入れて使用することはおやめください。印字不良や故障の原因になります。

電線を挿入口に入れないで



本機はチューブまたはラベルに印字するためのプリンターです。電線やケーブルなどに直接印字することはできませんのでセットしないでください。故障の原因になることがあります。

通信コネクタ、ICチップには触らないで



通信コネクタやリボンカセットのICチップには触らないでください。破損すると、リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。

長期間放置しないで

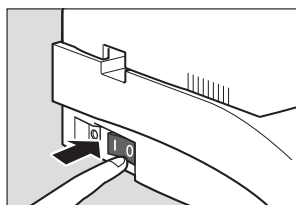
炎天下の車中などに長時間または長期間放置しないでください。

まず使ってみよう

「とにかくすぐに使いたい」という方のためのページです。本製品にはさまざまな機能がついていますが、ここでは「付属品の取り付け→電源ON→文字の入力→印字」という最短操作をできるだけ簡単に説明します。詳しい機能については本編をごらんください。

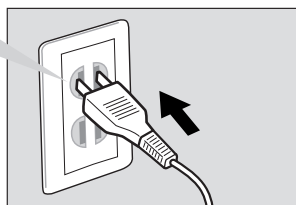
付属品を取り付ける

1 電源スイッチがOFFになっていることを確認する



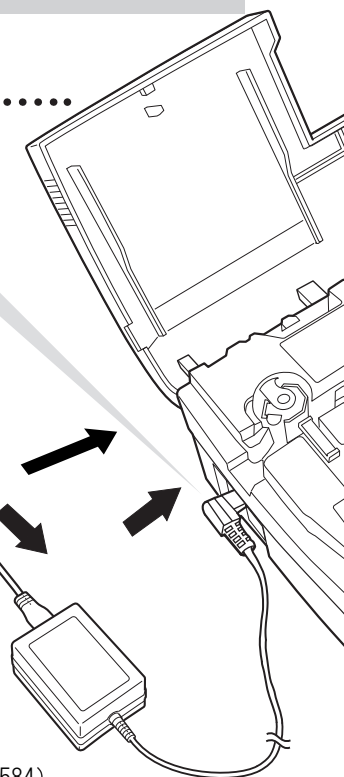
カバー.....

家庭用電源コンセント (AC100V)



2 ACアダプターを取り付ける

ACアダプター (N14584)

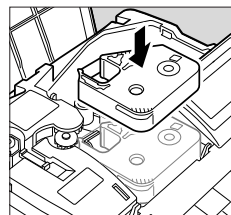
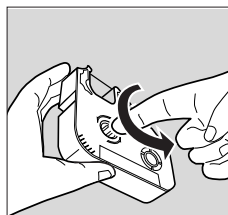
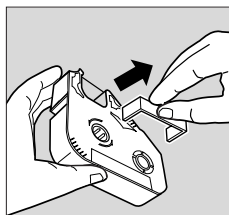


3 カバーを開ける

- このレバーを左に動かしてからカバーを上げます。

4 リボンカセットを取り付ける

- ストッパーを外し、リボンのたるみをとってからセットします。

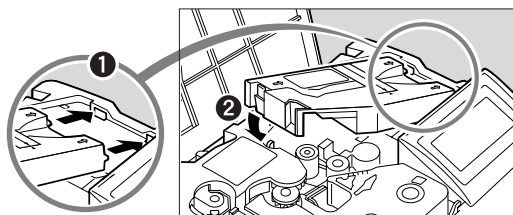


注意 ICチップには触らないで！

リボンカセットのICチップには触らないでください。リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。

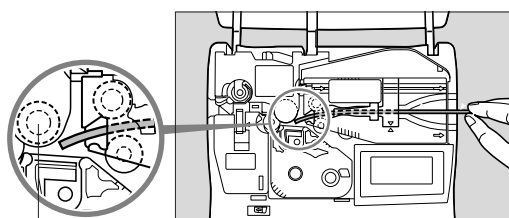
5 チューブアタッチメントをセットする

- チューブアタッチメントのツメを本体の穴に合わせます。
- カチッと音がするまでチューブアタッチメントを押します。



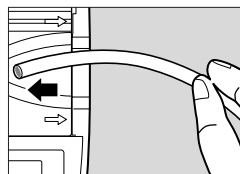
6 チューブをセットする

- チューブの先端が搬送ローラー2に突き当たるまで押し込みます。



搬送ローラー2

- 反ったチューブは、図のような向きで挿入してください。向きが違うとチューブが詰まり搬送エラーをおこす場合があります。



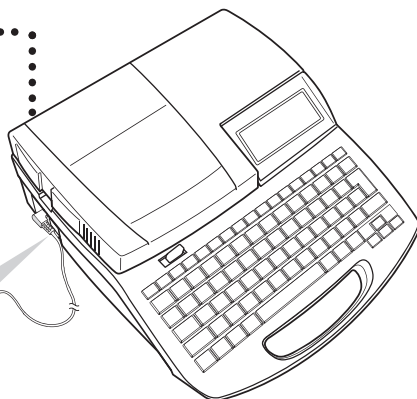
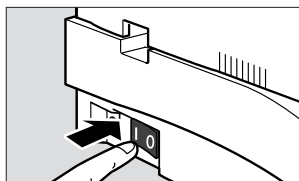
電源をONにする

7 カバーをしめる

- カチッと音がするまでしっかりと押します。

8 電源スイッチをONにする

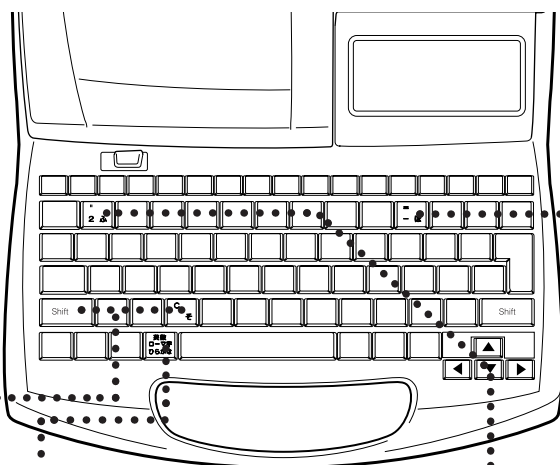
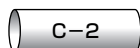
- リボンカセット情報画面が表示された後、文字入力画面になります。



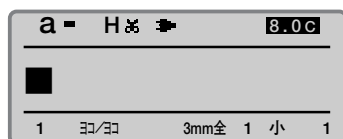
文字を入力する

【例】φ3.0mmのチューブに「C-2」という文字を印字する。

印字結果



9 「a」 と表示されるまで
[英数／ローマ字／ひらがな]を押す



●aが表示されているときは英数字を入力できます。

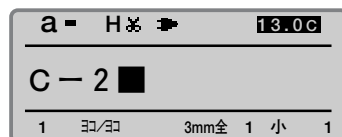
10 [Shift]を押しながら
[C]を押す



11 [-]を押す



12 [2]を押す



間違えた文字を消したい

【例】「C-2」と入力するところを「C=2」と入力してしまった。

1. [◀]と[▶]を押して、
カーソル■を「2」の
位置に合わせる



2. [Back Space]を押す

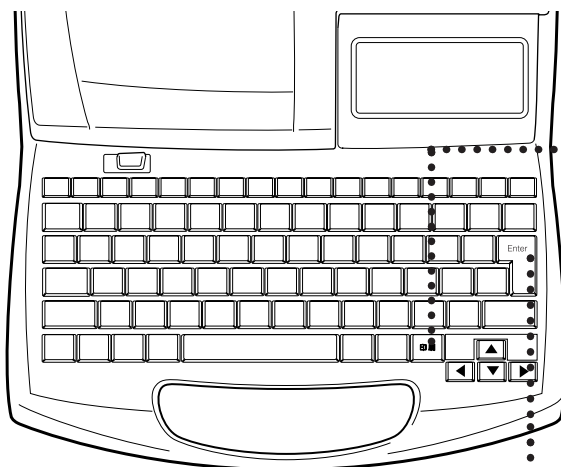
●「=」が消えます。



3. [-]を押す



印刷する



13 [印刷]を押す

印字媒体

☒ チューブ
熱収縮チューブ
ラベル ▼

- 「チューブ」が選択されていることを確認します。

Memo

リボンカセットの故障等により情報が読み取れなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。何かキーを押して、あとに表示される画面の指示に従い操作してください。

14 [Enter]を押す

チューブサイズ

Φ 2.5 mm
☒ Φ 3.0 mm
Φ 4.0 mm ▼

- 「Φ 3.0mm」が選択されていることを確認します。

15 [Enter]を押す

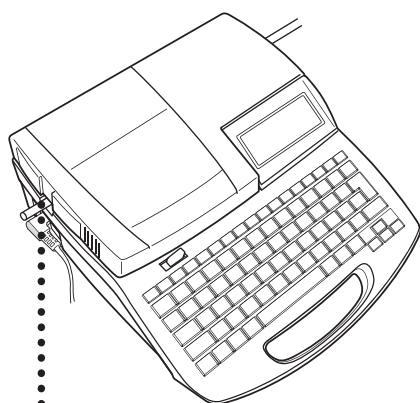
印刷本数 : 1 0 %
[1 ~ 1 0]
印刷範囲 : 全ページ
残量

- 「印刷本数」が「1」であることを確認します。

16 [Enter]を押す

H x
チューブ Φ 3.0 mm
印刷中...
印刷中止 [取消]

- 自動的に本体にチューブが搬送されて印字が始まります。
- 印字が終わるとチューブが自動的にカットされます。



17 カットされたチューブを取り出す

Part 1

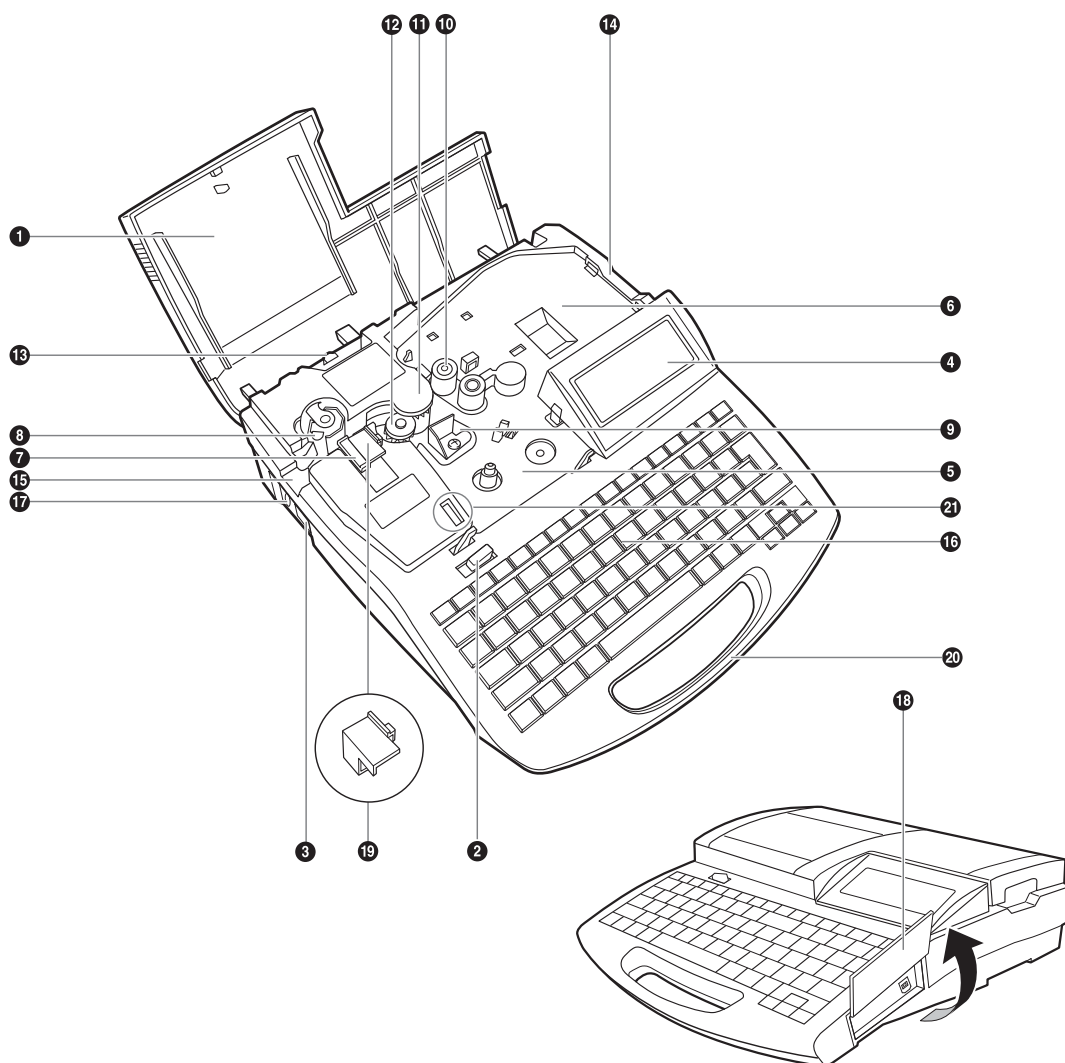
お使いになるまえに (準備編)

ここでは、文字を入力するまえに知っておいていただきたいことと、準備作業について説明します。

1-1	各部の名称とはたらき	16
	■本体	16
	■液晶ディスプレイ	18
	■キーボード	20
1-2	ACアダプターをセットする	22
1-3	PC接続キットを使用する	24

1-1 各部の名称とはたらき

■ 本体



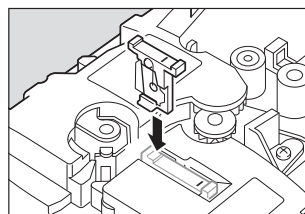
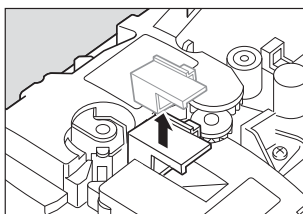
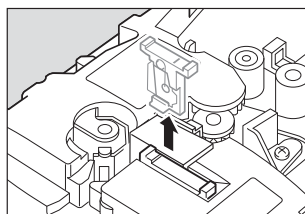
ラップアラウンドテープを使わないときは

チューブやラベルテープなど、ラップアラウンドテープ以外のものに印字するときは「**19**ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイド」は取り外してください。

1. カッターを取り出す

2. ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドを取り出す

3. カッターをセットする



❶ カバー

カセット類やチューブをセットするときにこのカバーを開けます。

❷ カバーオープンレバー

このレバーを左に引くとカバーを開けることができます。

❸ 電源スイッチ

電源をON/OFFするときに使います。スイッチをIの方向に倒すと電源がONになり、Oの方向に倒すと電源がOFFになります。

❹ 液晶ディスプレイ

入力した文字や設定データなどが表示されます。

❺ リボンカセットセット部

この位置にリボンカセットをセットします。

❻ アタッチメントセット部、印字媒体カセットセット部

この位置にアタッチメント、またはラベルテープカセットなどをセットします。オプションのチューブウォーマーもここにセットします。

❼ カッター

印字媒体をカットします。カットは自動的に行われず、カッターは交換することができます。

❽ カッター受け台

印字媒体を切断する際にカッターの刃を受ける台です。カッターを交換するときにカッター受け台も同時に交換します。

❾ 印字ヘッド

リボンに熱を加えて印字するための装置です。印字中や印字終了直後は高温になっていますので手を触れないでください。

❿ 搬送ローラー1

印字媒体を印字ヘッドの方向に送り出すローラーです。

⓫ 搬送ローラー2

印字媒体を搬送し、印字をするためのローラーです。

⓬ 搬送ローラー3

印字された媒体をカッター部に送り出すローラーです。

⓭ 搬送ローラー3リリースレバー

このレバーを右に引くと搬送ローラー3が解放されます。印字媒体が詰まったときに使います。

⓮ 挿入口

ここからチューブまたは記名板を本体内に入れます(アタッチメント装着時)。

⓯ 排出口

ここから印字された媒体が出てきます。

⓰ キーボード

印字する文字や設定データを入力します。

⓱ ACアダプター接続コネクタ

ACアダプターのジャックをここに接続します。

⓲ インタフェースカバー

カバーを開けてPC接続キットの接続コードを接続します。

⓳ ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイド

ラップアラウンドテープに印字するときにセットするガイドです。他の印字媒体を使用するときは取り外してください(左ページ参照)。

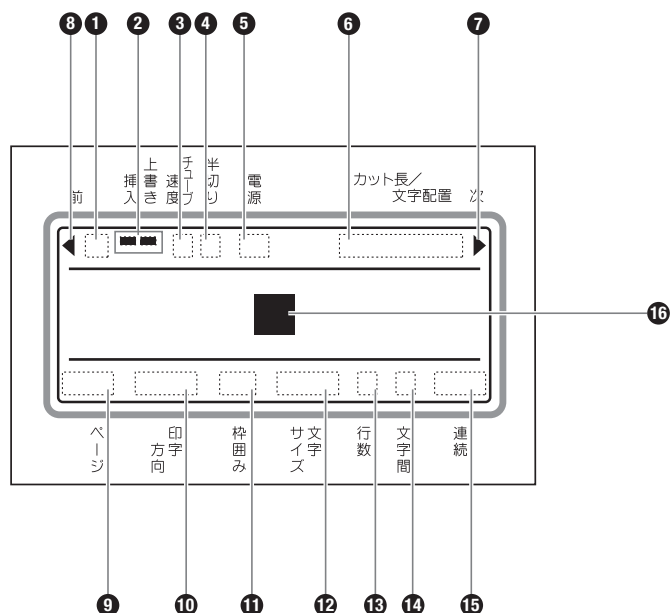
⓴ 取っ手

持ち運ぶときは、この部分を持ちます。

⓵ 通信コネクタ

リボンカセットの情報を読み取るための端子です。通信コネクタを触ったり、変形させないでください。

■ 液晶ディスプレイ



①入力モード表示

[英数/ローマ字/ひらがな]を押して文字の入力モードを選ぶことができます。選択した入力モードが表示されます。

a …英数字入力モード（小文字）

英数字（小文字）を入力するときにこのモードにします。

A …英数字入力モード（大文字）

英数字（大文字）を入力するときにこのモードにします。

R …ローマ字入力モード

ひらがな、カタカナ、漢字をローマ字入力するときにこのモードにします。

ひ…かな入力モード

ひらがな、カタカナ、漢字をかな入力するときにこのモードにします。

カ…かな入力モード（カタカナ入力）

カタカナをかな入力するときにこのモードにします。

② 挿入/上書きモード表示

挿入モードまたは上書きモードのいずれかを選ぶことができ、選択したモードに「I」が表示されます。

③ 印字速度表示

印字速度を「低速」、「中速」、「高速」の中から選ぶことができ、選択した速度が表示されます。

H…高速

M…中速

L…低速

④ 半切りモード表示

複数ページの印字を一回の印刷操作で行うとき、ページ間のカットをどのように行うかについて選ぶことができます。選択した半切りモードがここに表示されます。なお、半切りモードは[カット設定]を押して選びます。

✂…半切りされます。

I…半切りされませんが、カットラインが実線で印刷されますので、カットラインに沿ってハサミなどで切り取ります。

⋮…半切りされませんが、カットラインが点線で印刷されますので、カットラインに沿ってハサミなどで切り取ります。

(無表示)…半切りされず、カットラインも印刷されません。

⑤ 電源表示

電源は、ACアダプターが正しく接続されているとACアダプターマークが表示されます。

⏻…ACアダプターマーク

⑥ カット長/文字配置/余白表示

チューブ1本分(ラベル1枚分)の長さを示す「カット長」、文字の位置がセンタリングなのか左寄せなのかを示す「文字配置」、チューブの左端から先頭の文字までを示す「余白」が表示されます。

⑦ 次ページ表示

現在表示されているページの後に別のページがある場合に表示されます。

⑧ 前ページ表示

現在表示されているページの前に別のページがある場合に表示されます。

⑨ ページ表示

現在何ページ目が表示されているのか数字で表示されます。

⑩ 印刷の向き表示

印刷の向きを「横向き/横書き」、「縦向き/縦書き」、「縦向き/横書き」の中から選ぶことができ、選択した印刷の向きが表示されます。

ヨ/ヨ…横向き/横書き

タ/タ…縦向き/縦書き

タ/ヨ…縦向き/横書き

⑪ 枠囲み表示

文字に枠を付けることができ、選んだ枠囲みの形が表示されます。

⑫ 文字サイズ表示

印字文字の大きさを選ぶことができ、選択した文字サイズが表示されます。

⑬ 行数表示

1行印字、2行印字または3行印字を選ぶことができ、選択した行数が表示されます。

⑭ 文字間隔表示

印字文字の間隔を選ぶことができ、選択した文字間隔が表示されます。

小…標準の文字間隔(文字間隔なし)

中…やや広い文字間隔(文字間隔0.5mm)

大…広い文字間隔(文字間隔1.0mm)

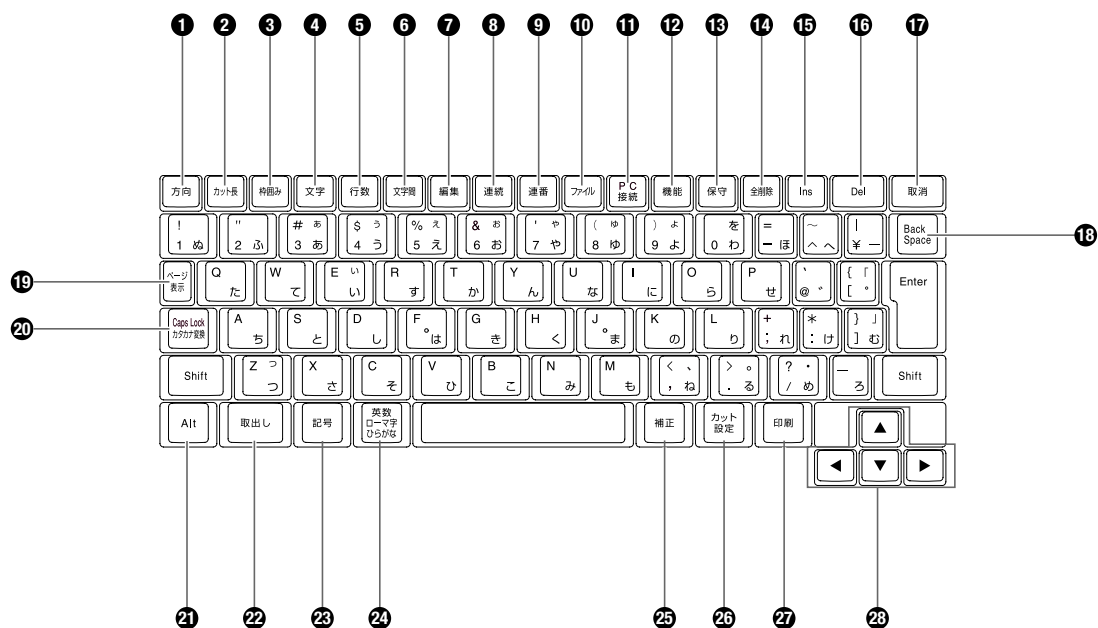
⑮ 連続印刷表示

印刷操作をしたときに、現在表示されている文字データが何回(何ページ)印刷されるかが表示されます。

⑯ カーソル

■で表示されているのがカーソルです。この位置に文字が入力されます。

■キーボード



① [方向] 112ページ

印刷の向きを変えるときに使用します。

② [カット長] 114ページ

カット長（チューブまたはラベルテープ1本分（1枚分）の長さ）、文字配置（左寄せ、またはセンタリング）、余白を変えるときに使用します。

③ [枠囲み] 85ページ

文字に枠を付けるときに使用します。

④ [文字] 82ページ

文字の大きさを変えるときに使用します。

⑤ [行数] 86ページ

行数を変えるときに使用します。

⑥ [文字間] 83ページ

文字と文字の間隔を変えるときに使用します。

⑦ [編集] 89～99ページ

ページの挿入、削除、コピー、カット、ペーストするときに使用します。

⑧ [連続] 117ページ

特定のページを複数印刷する（連続印刷）ときに使用します。

⑨ [連番] 119ページ

連番を持つ文字データを印刷する（連番印刷）ときに使用します。

⑩ [ファイル] 100～108ページ

入力した文字データを保存するとき、保存してある文字データを呼び出すときなどに使用します。

⑪ [PC接続]

PC接続キットの接続ケーブルで、パソコンと接続したときに使います。

⑫ [機能]

印字濃度の調整 (▶127ページ)、印字速度の選択 (▶128ページ)、操作音の設定 (▶135ページ) などをするときに使います。

⑬ [保守]

チューブやラベルの順送り/逆送り (▶141、142ページ)、カッター交換 (▶146ページ)、強制全切り (▶144ページ) などをするときに使います。

⑭ [全削除] ▶76、135ページ

現在表示されている文字データを消すときや設定値を初期状態に戻すときに使います。

⑮ [Ins] ▶77ページ

挿入モードと上書きモードを切り替えるときに使います。

⑯ [Del]

入力した文字データを削除するときに使います。このキーを押すとカーソル上の文字が削除されます。

⑰ [取消]

設定画面を一つ前のメニューに戻すときや、印刷を中断するときに使います。設定画面が表示されているときに、[Shift]を押しながら[取消]を押すと文字入力画面に戻ります。また、印刷中に「ピピピッ」音が鳴るまで[取消]を押すと、印字やカット操作が終わるのを待たずに緊急停止されます。

⑱ [Back Space]

入力した文字データを削除するときに使います。このキーを押すとカーソルの一つ手前の文字が削除されます。

⑲ [ページ表示]

現在表示されている文字データが何ページ目なのかを知りたいときに使います。メモリ残量も同時に表示されます。

⑳ [Caps Lock/カタカナ変換]

このキーを押してから英数字を入力すると大文字を連続して入力することができます。ひらがなをカタカナに変換するときにも使います。

㉑ [Alt]

区点コード入力や記号入力の際、文字を選択したり削除したりするときに使います。

㉒ [取出し] ▶132ページ

チューブやラベルテープを取り外すときに使います。

㉓ [記号] ▶73ページ

記号を入力するときに使います。

㉔ [英数/ローマ字/ひらがな]

文字の入力モードを変えるときに使います。

㉕ [補正]

印字開始位置や印字縦位置の調整 (▶122ページ)、半切りや全切りの深さ、強さの調整 (▶143、145ページ) をするときに使います。

㉖ [カット設定] ▶129、131ページ

半切りをするかしないか、全切りを本数設定ごにするかどうかを選択するときに使います。

㉗ [印刷]

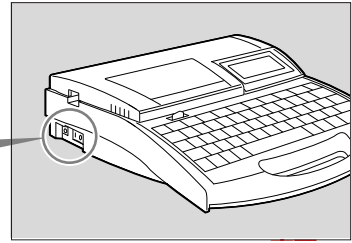
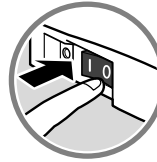
入力した文字データをチューブやラベルテープなどに印刷するときに使います。

㉘ 矢印キー

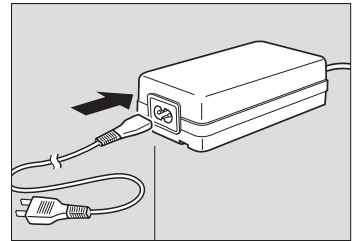
設定画面でメニューや選択肢を選ぶときに使います。また、文字入力画面でカーソルを移動させるときにも使います。文字入力画面で[Shift]を押しながら方向キーを押すと直接、前後のページにジャンプすることができます。

1-2 ACアダプターをセットする

- 1** 電源スイッチがOFFであることを確認する

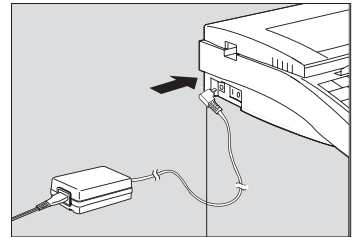


- 2** 電源コードをACアダプター (N14854) に接続する



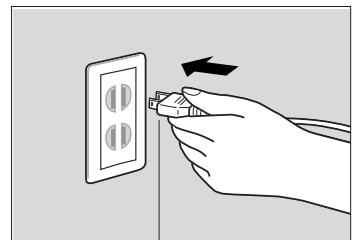
確実に差し込む。

- 3** ACアダプターのジャックを本体に接続する



確実に差し込む。

- 4** 電源コードのプラグを100Vコンセントに接続する



確実に差し込む。

**警告****濡れた手で触らないで**

手が濡れた状態で電源プラグなどを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

タコ足配線などをしないで

二股ソケットなどを使ってタコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

また電源コードを束ねたり、結んだりしたまま通電しないでください。火災や感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込んで

電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。電源プラグの歯に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

付属のACアダプター、コード以外は使わないで

付属のACアダプター・電源コード以外は使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。

また、付属のACアダプター・電源コードは本製品以外の製品に使用しないでください。火災や感電の原因になります。

AC100Vの電源を使って

表示された以外の電源電圧で使用しないでください。AC100Vの電源電圧でご使用ください。火災や感電、故障の原因になることがあります。また、本機は国内仕様です。日本国内でのみお使いください。

近くに雷が発生したときは電源プラグを抜いて

近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災や感電、故障の原因となります。

ACアダプター、コードは傷つけないで

ACアダプターや電源コードを傷つける、引っ張る、加工することなどはしないでください。また、ACアダプターや電源コードに重いものをのせないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因となります。

電源プラグの扱いはていねいに

電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持ってまっすぐに抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

**注意****電源プラグのそばに物を置かないで**

いつでもすぐに電源プラグが抜けるように、電源プラグのそばには物を置かないでください。異常時に電源プラグが抜けないと、火災や感電の原因になることがあります。

延長コードは使用しないで

延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

1-3 PC接続キットを使用する

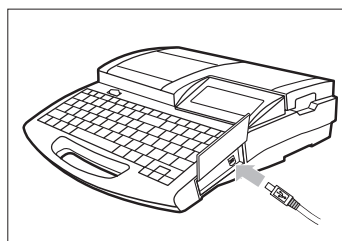
パソコンにはあらかじめプリンタードライバーとアプリケーションをインストールしてください。

PC接続キットの詳しい使いかたについては、付属のソフトウェアCDに収録されている「アプリケーションソフトウェア取扱説明書」をごらんください。

PC接続キットを使用するには、次のようにプリンターとパソコンと接続します。

1 プリンターとパソコンを付属のUSBケーブルで接続する

- USBケーブルのBタイプ（四角い）側をプリンター側面のUSBコネクタへ接続し、次にパソコン側を接続します。



※使用する印字媒体ごとに「長さの微調整」を行う場合があります。詳しくは参考「長さを微調整する」（ 116ページ）をごらんください。

Part 2

基本的な操作

ここでは、印字までの基本的な操作を説明します。

2-1 チューブ、透明チューブに印字する…26

準備1	カセットをセットする	26
準備2	チューブをセットする	28
準備3	電源スイッチをONにする	29
操作1	文字を入力する	30
操作2	印刷する	35

2-2 ラベルテープ、4mm I.D. Stripに印字する…36

準備1	カセットをセットする	36
準備2	電源スイッチをONにする	39
操作1	文字を入力する	40
操作2	印刷する	43

2-3 ラップアラウンドテープに印字する…44

準備1	カセットをセットする	44
準備2	ラップアラウンドテープ用 搬送補助ガイドをセットする	45
準備3	電源スイッチをONにする	46
操作1	文字を入力する	47
操作2	印刷する	48

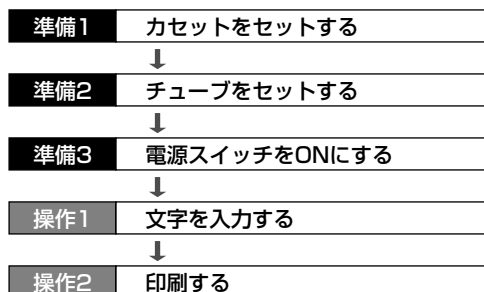
2-4 記名板に印字する…50

準備1	カセットをセットする	50
準備2	記名板をセットする	52
準備3	電源スイッチをONにする	53
操作1	文字を入力する	54
操作2	印刷する	57

2-1

チューブ、透明チューブに 印字する

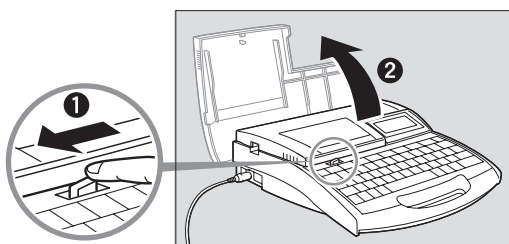
つぎのような操作の流れでチューブまたは透明チューブに文字を印字します。



準備1 カセットをセットする

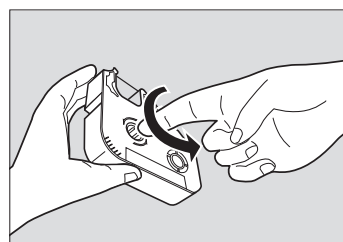
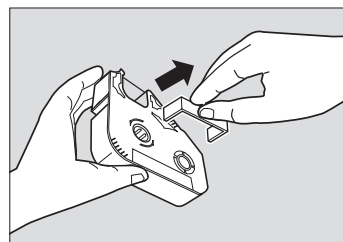
リボンカセットとチューブアタッチメントをセットします。リボンカセットとチューブアタッチメントについて、詳しくは次ページの参考「2つのカセット」をごらんください。

1 カバーを開ける



2 リボンのたるみを取る

- 新しいカセットをセットする場合はストッパーを外してから、リボンのたるみを取ります。



Memo

リボンがたるんでいるとリボン有無の判断ができません。必ず、たるみを取ってください。

Memo

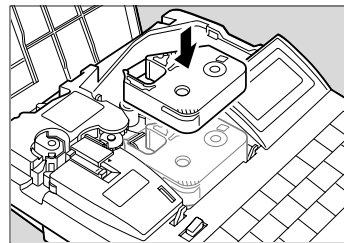
外したストッパーは、地域の条例にしたがって廃棄してください。

Memo

リボンカセットが浮いていると、リボン有無の判断ができません。カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

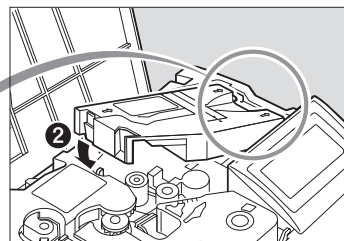
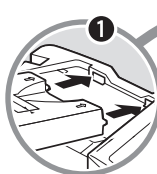
3 リボンカセットを本体にセットする

- カチッと音がするまでしっかりと押します。



4 チューブアタッチメントを本体にセットする

- チューブアタッチメントのつめを本体の穴に合わせ、カチッと音がするまでしっかりと押します。

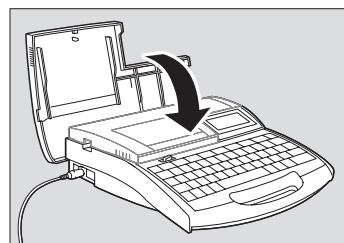


5 ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドを外す

- 16ページをごらんください。

6 カバーを閉める

- カチッと音がするまでしっかりと押します。



注意 ICチップには触らないで！

リボンカセットのICチップには触らないでください。リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。

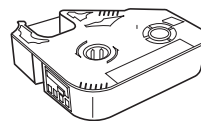


リボンカセットとチューブアタッチメント

本製品には以下のリボンカセットとチューブアタッチメントが入っています。

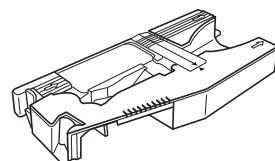
リボンカセット

リボンカセットの中には特殊なインクを塗ったリボンが入っています。リボンに熱を加えることでインクをチューブやラベルテープなどに印刷します。



チューブアタッチメント

チューブに文字を印字するときに使います。本体内部にチューブを送り込むはたらきをします。



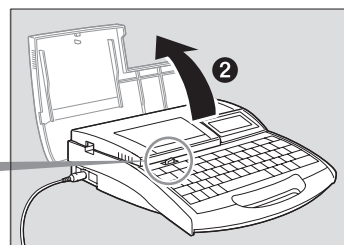
Memo

専用のICチップ付きカセットをご使用ください。

準備2 チューブをセットする

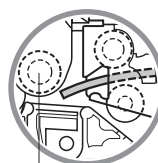
本製品にはチューブは含まれていませんので、別途で用意ください。使用できるチューブは内径がφ2.5～6.5mmのものです。チューブに凹凸や汚れがあったり、厚みが均等でなかったりすると正しく印字できませんのでご注意ください。

1 カバーを開ける

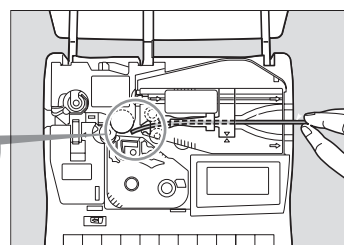


2 チューブをセットする

- チューブの先端を挿入口に差し込み、搬送ローラー2に突き当たるまで押し込みます。

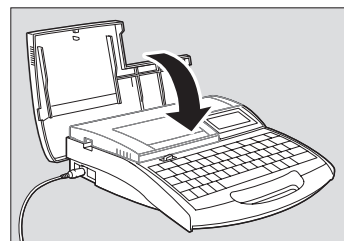


搬送ローラー2



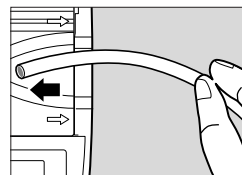
3 カバーを閉める

- カチッと音がするまでしっかりと押します。



重要 チューブの反りに注意！

反ったチューブは、図のような向きで挿入してください。向きが違っているとチューブが詰まり搬送エラーをおこす場合があります。



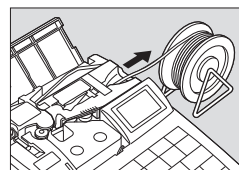
注意 チューブの有無が判断できないときは

チューブの種類によっては、チューブの有無を検知できない場合があります。このときは、透明チューブモードで印字してください。ただし、透明チューブモードではチューブがなくなったことを検知できません。このためチューブがなくなったら、[取消]を「ピピピッ」と音がするまで押し続けてください。



チューブリールをお使いになるときは

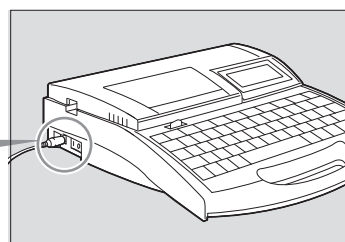
チューブリールの負荷が4.9N（500gf）以下になるように調整してください。負荷が大きすぎるとチューブが伸びてカット位置がずれてしまいます。



準備3 電源スイッチをONにする

電源スイッチをONにするまえにカセット類やチューブは正しくセットされているか、カバーが閉まっているか、ACアダプターが正しくセットされているか、もう一度確認してください。

1 電源スイッチの「I」側を押す



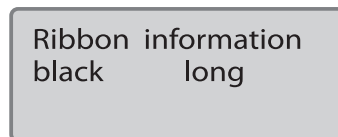
- 起動画面が表示されます。



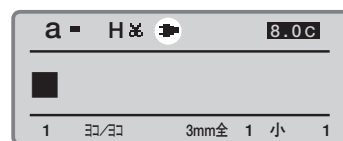
起動画面

- リボンカセット情報画面が表示された後、文字入力画面になります。

※何の画面表示もされない場合は「こんなときには」（P159ページ）をご覧ください。



リボンカセット情報画面



文字入力画面

Memo

リボンカセット未装着で電源を入れた場合は、リボンカセット情報画面は表示されません。

● 重要 電源スイッチは早押ししないで！

電源スイッチのON/OFFを早いスピードで繰り返すと、誤動作の原因となったり、保存データが消失するおそれがあります。

Memo

[英数/ローマ字/ひらがな]を押すたびに「英数字入力→ローマ字入力→かな入力」の順番で文字入力モードが変わります。

Memo

大文字を入力するときや、キーの上段に表示されている文字を入力するときは、[Shift]を押しながら目的のキーを押します。間違えて入力したときは、[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

Memo

ローマ字入力モードでは漢字、ひらがな、カタカナを入力できません。かな入力については「Part3 文字の入力」をごらんください。

Memo

間違えて入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

操作1 文字を入力する

【例】つぎのようなチューブを各4セット作ります。



使用するチューブ：チューブサイズ（内径）がφ3.0mmのチューブ

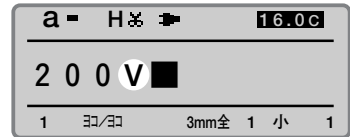
1 [英数/ローマ字/ひらがな]を押して英数字入力モードにする



「a」が表示されるまで[英数/ローマ字/ひらがな]を押す。

2 「200V」と入力する

- [2]、[0]、[0]、[Shift]+[V]の順番にキーボード入力します。



[V]を入力するときは[Shift]+[V]と押す。

3 [Enter]を押す

- 新しいページが用意され、つぎの文字データ入力待ちとなります。



現在表示されているページの前にも別のページが存在することを意味する。

4 [英数/ローマ字/ひらがな]を押してローマ字入力モードにする



「R」が表示されるまで[英数/ローマ字/ひらがな]を押す。

5 「ぼんぷ」と入力する

- [P]、[O]、[N]、[N]、[P]、[U]の順番にキーボード入力します。



6 [Caps Lock/カタカナ変換]を押す

- ひらがながカタカナに変換されます。



7 [Enter]を押す

- これで「ポンプ」が入力されました。



8 「しつ」と入力する

- [S]、[I]、[T]、[U]の順番にキーボード入力します。



9 [スペース]を押す

- ひらがなが漢字に変換されます。



候補がいくつか表示される。

10 [◀]または[▶]を押して「室」を選択する



11 [Enter]を押す

- これで「ポンプ室」が入力されました。



12 [Enter]を押す

- 新しいページが用意され、つぎの文字データ入力待ちとなります。



Memo

英数字入力モード（大文字）のときは[Shift]+[A]と押すと、小文字のaが入力されます。

13 [英数／ローマ字／ひらがな]を押してから[Caps Lock/カタカナ変換]を押して英数字入力モード（大文字）にする



14 「A1」と入力する

- [A]、[1]の順番にキーボード入力します。



Memo

[Del]の代わりに[Back Space]を押すと、カーソルの前の文字(この場合は「2」)が消えます。

Memo

文字のみを削除すると、「方向」や「文字」、「カット長」、「枠囲み」、「行数」、「文字間」、「連続」、「連番」などの各設定はそのまま残ります。

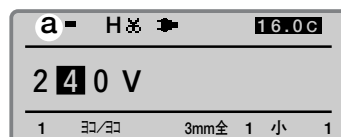


間違って文字入力したときは

間違って文字を入力したときはつぎのようにして訂正します。

【例】「200V」と入力するところを「240V」と入力してしまった場合。

1. [◀]または[▶]を押して■(カーソル)を「4」にあわせる

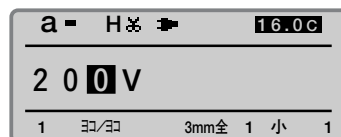


英数字入力モードになっていることを確認する。

2. [Del]を押して「4」を消す



3. [0]を押して正しい文字「0」を入力する



入力した文字をすべて消す

入力した全ページの文字をすべて消去するときにはつぎのようにします。

1. [全削除]を押す

- 全文削除の選択画面になります。

全文削除

文字のみ
文字+設定

2. [▲]または[▼]を押して「文字のみ」を選択し、[Enter]を押す

- 削除確認画面になります。

最終ページの設定を残し、
入力データを削除しますか？

はい いいえ

3. [◀]または[▶]を押して「はい」を選択し、[Enter]を押す

- 右のようなメッセージが表示された後、全ページの文字データが消去されます。

文字のみ削除中...



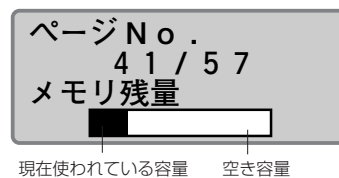


参考

入力できる文字量

本機には全ページ合計して約2,500文字分のデータを入力することができますが、これを超えると「空き容量不足 これ以上文字を入力できません。」と表示されます。このときは作成した文字データをいったん保存し（「文字データを保存する」 101ページ）、画面に表示されている文字をすべて消してから（前ページの参考「入力した文字をすべて消す」）、新たに入力を続けてください。

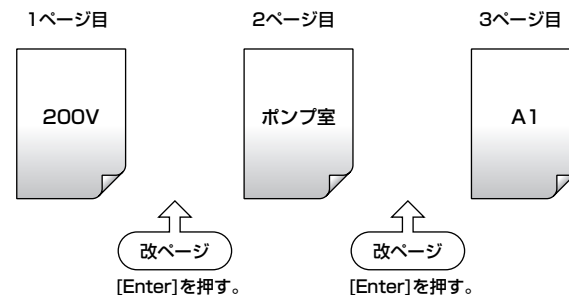
また、[ページ表示]を押すとつぎのような画面が表示され、あとどのくらいの空き容量があるのかを調べることができます。



参考

「ページ」について理解しよう！

本機には「ページ」という考えかたがあります。ここで入力した「200V」、「ポンプ室」、「A1」の文字データは3ページにわたってそれぞれ別々のページにインプットされます。文字を入力した後、[Enter]を押すと自動的に新しいページが追加されます。





前ページのデータを見る

現在表示されているページの前にも別のページが存在するときは画面の左上に◀が表示されます。このとき、[◀]を押してカーソルを文字の先頭よりも左に移動させると、前のページの文字データが表示されます。また、[Shift]+[◀]で直接前のページにジャンプすることもできます。

画面の右上に▶が表示されているときは、現在表示されているページの後にも別のページが存在することを示しています。このとき、[▶]を押してカーソルを最後の文字よりも右に移動させると、次のページの文字データが表示されます。また、[Shift]+[▶]で直接次のページにジャンプすることもできます。

現在表示されているページの前にも別のページが存在することを意味する。



現在表示されているページの後にも別のページが存在することを意味する。

Memo

印字媒体とは？

印刷を行う対象です。印字媒体には「チューブ」、「ラベルテープ」、「4mm I.D. Strip」、「透明チューブ」、「ラップアラウンドテープ」、「記名板」があります。

Memo

リボンカセット未装着で「印刷」を押すと、エラーメッセージが表示されます。リボンカセットを装着して再度操作してください。

また、リボンカセットの故障等により情報が読み取れなかった場合にもエラーメッセージが表示されます。何かキーを押して、あとに表示される画面の指示に従い操作してください。

Memo

チューブサイズは正確に

正しいチューブサイズを選択しないと正確に印字されません。

Memo

印刷本数と印刷範囲の設定画面では、リボンカセット残量の目安を表示します。（実際の残量とは多少の誤差があります。）残量が正しく読み取れなかったときは、残量は表示されません。

Memo

「印刷範囲：全ページ」となっていない場合は、[▲]または[▼]を押して「印刷範囲」を選択した上、[◀]または[▶]を押して「全ページ」を選択します。

Memo

印刷を中止する

[取消]を押すと、「印刷を中止します。」の表示がされ、印字が途中で中断されます。このとき、チューブはカット後、排出されます。

Memo

チューブが詰まったら

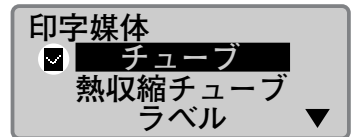
「ビビビッ」と音がするまで[取消]を押してください。すぐに動作が停止されます。この場合、チューブはカットも排出もされません。「チューブやラベルテープが詰まったら」（138ページ）を参考にして詰まったチューブを取り出します。

操作2 印刷する

文字入力が終わったら印刷です。

1 [印刷]を押す

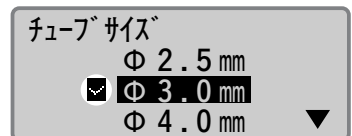
- 印字媒体の選択画面になります。



現在選択されている印字媒体の横に☑が表示される。

2 [▲]または[▼]を押して「チューブ」を選択し、[Enter]を押す

- チューブサイズ（内径）の選択画面になります。



現在選択されているチューブサイズの横に☑が表示される。

3 [▲]または[▼]を押して「Φ3mm」を選択し、[Enter]を押す

- 印刷本数と印刷範囲の設定画面になります。



4 [▲]または[▼]を押して「印刷本数」を選択し、[4]を押す

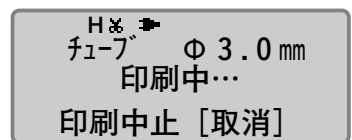
- この操作で3ページ分の文字データが4回印刷されます。



「印刷範囲：全ページ」と表示されていることを確認する。

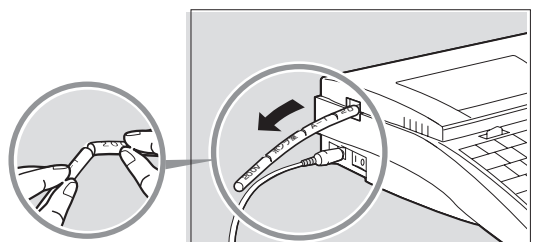
5 [Enter]を押す

- 印刷が始まります。



6 チューブを取り出す

- 半切り状態になったチューブが排出されます。



半切りなので手で簡単にカットできる。

2-2

ラベルテープ、4mm I.D. Stripに印字する

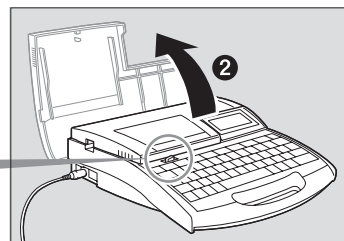
つぎのような操作の流れでラベルテープ、または4mm I.D. Stripに文字を印字します。ラベルテープに印字する場合はラベルテープカセット、4mm I.D. Stripに印字する場合は4mm I.D. Stripカセットを用意します。なお、本製品にはこれらのカセットは含まれていませんので、別途で用意ください。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

準備1	カセットをセットする
↓	
準備2	電源スイッチをONにする
↓	
操作1	文字を入力する
↓	
操作2	印刷する

準備1 カセットをセットする

リボンカセットとラベルテープカセットをセットします。なお、ここではラベルテープに印字する場合を例に説明しますので、他の媒体に印字する場合は、他のカセットと置き換えてお読みください。

1 カバーを開ける



Memo

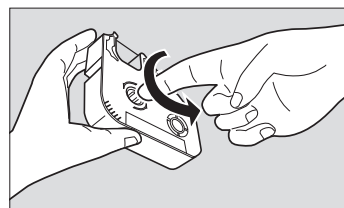
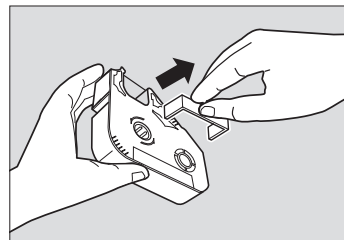
リボンがたるんでいるとリボン有無の判断ができません。必ず、たるみを取ってください。

Memo

外したストッパーは、地域の条例にしたがって廃棄してください。

2 リボンのたるみを取る

- 新しいカセットをセットする場合はストッパーを外してから、リボンのたるみを取ります。



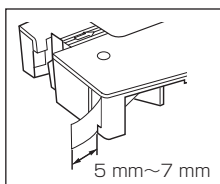
Memo

リボンカセットが浮いているとリボン有無の判断ができません。カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

Memo

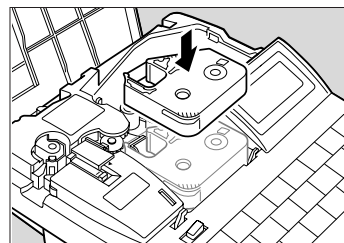
テープカセットを本体にセットする前に、以下を確認してください。

- 剥離紙が浮いていたり、先端がそろっていない部分はカットしてください。
- テープの先端を5mm～7mm程度引き出してください。



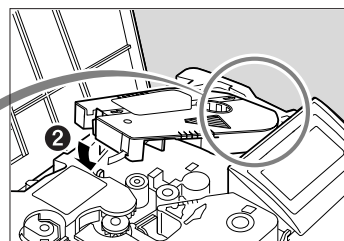
3 リボンカセットを本体にセットする

- カチッと音がするまでしっかりと押します。



4 ラベルテープカセットを本体にセットする

- ラベルテープカセットのつめを本体の穴に合わせ、カチッと音がするまでしっかりと押します。

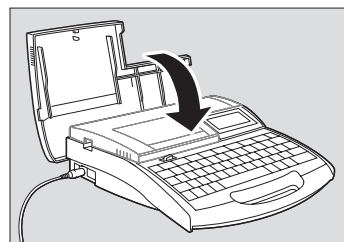


5 ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドを外す

- 16ページをごらんください。

6 カバーを閉める

- カチッと音がするまでしっかりと押します。



注意 ICチップには触らないで！

リボンカセットのICチップには触らないでください。リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。



いろいろなカセット

本製品にはこれらのカセットは含まれておりません。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

ラベルテープカセット

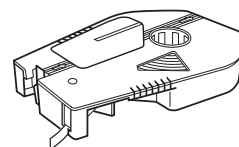
ラベルテープに文字を印字するときに使います。

ラップアラウンドカセット

ラップアラウンドテープに印字するときに使います。

4mmI.D.Stripカセット

4mmI.D.Stripに文字を印字するときに使います。





重要 セットするカセットを間違えないで！

本機はチューブ、透明チューブ、ラベルテープ、4mmI.D.Strip、ラップア라운드テープ、記名板への印字ができますが、いずれに印字するかによってセットするカセットが異なります。カセットを間違えると正しい印刷ができません。

チューブ、透明チューブ、記名板に印字するとき

リボンカセットとアタッチメントを本体にセットします。ラップア라운드テープ用搬送補助ガイドやラベルテープカセットなどがすでにセットされている場合は、先に取り外してください。なお、アタッチメントにはチューブや記名板はついていませんので、別途ご用意ください。

ラベルテープ、4mmI.D.Stripに印字するとき

リボンカセットとそれぞれのカセットを本体にセットします。ラップア라운드テープ用搬送補助ガイドやアタッチメントは使用しませんので、すでにセットされている場合は、先に取り外してください。

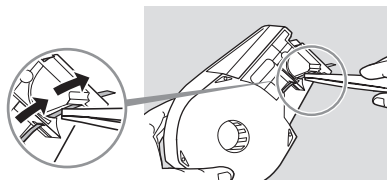
ラップア라운드テープに印字するとき

リボンカセットとラップア라운드テープカセットとラップア라운드テープ用搬送補助ガイドを本体にセットします。アタッチメントは使用しませんので、すでにセットしている場合は、先に取り外してください。



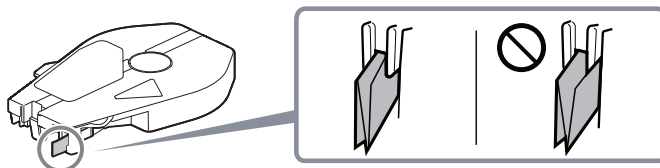
ラベルテープがカセットの中に入ってしまったら

テープがラベルカセットの中に入ってしまった場合は、図のようにピンセットなどでラベルテープを引き出してください。そのままでは「印字媒体の先端が検出できません。」のメッセージが表示され、印字することができません。なお、[取消]を押すとこのメッセージは消えます。



重要 ラベルテープ (9mm/12mm)、ラップア라운드テープの場合

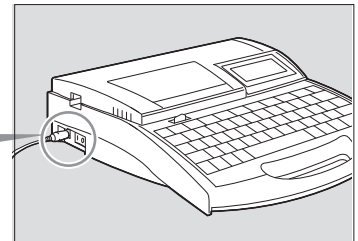
ラベルカセットの排出口が図のような形状の場合、テープはガイドの間を正しく通してください。テープがガイドに引っかかった状態で使用すると、搬送不良または印刷不良の原因になります。



準備2 電源スイッチをONにする

電源スイッチをONにするまえにカセット類は正しくセットされているか、カバーが閉まっているか、ACアダプターが正しくセットされているか、もう一度確認してください。

1 電源スイッチの「I」側を押す

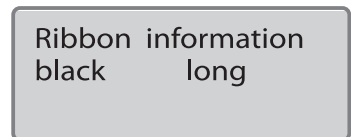


- 起動画面が表示されます。



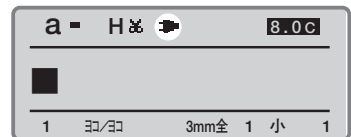
起動画面

- リボンカセット情報画面が表示された後、文字入力画面になります。



リボンカセット情報画面

※何の画面表示もされない場合は「こんなときには」(P.159ページ)をごらんください。



文字入力画面

Memo

リボンカセット未装着で電源を入れた場合は、リボンカセット情報画面は表示されません。

❗ 重要 電源スイッチは早押ししないで！

電源スイッチのON/OFFを早いスピードで繰り返すと、誤動作の原因となったり、保存データが消失するおそれがあります。

操作1 文字を入力する

【例】つぎのようなラベルテープを作ります。

10W	$\begin{matrix} +12V \\ -12V \end{matrix}$	リレー
-----	--	-----

使用するラベルテープ：9mmのラベルテープ

Memo

[英数／ローマ字／ひらがな]を押すたびに「英数字入力→ローマ字入力→かな入力」の順番で文字入力モードが変わります。

Memo

大文字を入力するときや、キーの上段に表示されている文字を入力するときは、[Shift]を押しながら目的のキーを押します。間違えて入力したときは、[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

Memo

選択できない行数の横には「×」が表示されます。

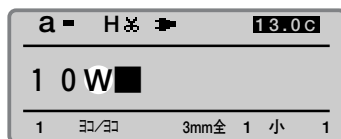
1 [英数／ローマ字／ひらがな]を押して英数字入力モードにする



「a」が表示されるまで[英数／ローマ字／ひらがな]を押す。

2 「10W」と入力する

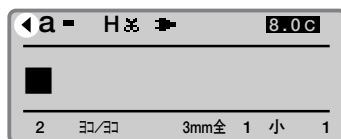
- [1]、[O]、[Shift]+[W]の順番にキーボード入力します。



「W」を入力するときは[Shift]+[W]を押す。

3 [Enter]を押す

- 新しいページが用意され、つぎの文字データ入力待ちとなります。



現在表示されているページの前にも別のページが存在することを意味する。

4 [行数]を押す

- まん中のラベルは2行にしなければならぬので[行数]を押します。



現在選択されている行数の横に☑が表示される。

5 [▲]または[▼]を押して「2行」を選択し、[Enter]を押す



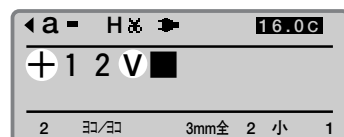
入力画面が2行になった。

Memo

[▼]または[▶]ではなく、[Enter]を押すと、改ページされてしまいます。

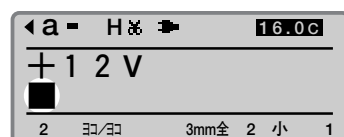
6 「+12V」と入力する

- [Shift]+[;:]、[1]、[2]、[Shift]+[V]の順番にキーボード入力します。



「+」を入力するときは[Shift]+[;:]を押す、[V]を入力するときは[Shift]+[V]を押す。

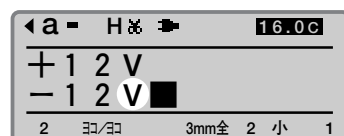
7 [▼]または[▶]を押す



カーソルが2行目に移動する。

8 「-12V」と入力する

- [-]、[1]、[2]、[Shift]+[V]の順番にキーボード入力します。



[V]を入力するときは[Shift]+[V]を押す。

9 [Enter]を押す

- 新しいページが用意され、つぎの文字データ入力待ちとなります。



現在表示されているページの前にも別のページが存在することを意味する。

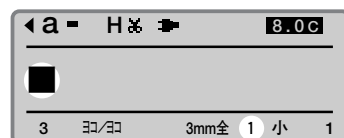
10 [行数]を押す

- 3つ目のラベルは1行に戻さなければならないので[行数]を押します。



現在選択されている行数の横に☑が表示される。

11 [▲]または[▼]を押して「1行」を選択し、[Enter]を押す



入力画面が1行になった。

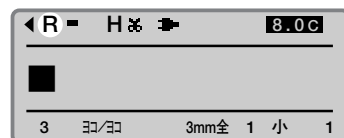
Memo

ローマ字入力モードでは漢字、ひらがな、カタカナを入力できません。かな入力については「Part3 文字の入力」をごらんください。

Memo

間違って入力したら[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

12 [英数／ローマ字／ひらがな]を押してローマ字入力モードにする



[R]が表示されるまで[英数／ローマ字／ひらがな]を押す。

13 「りれー」と入力する

- [R]、[I]、[R]、[E]、[-]の順番にキーボード入力します。



14 [Caps Lock/カタカナ変換]を押す

- ひらがながカタカナに変換されます。



15 [Enter]を押す

- これで「リレー」が入力されました。



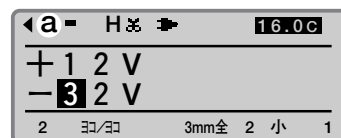
参考

間違っって文字入力したときは

間違っって文字を入力したときはつぎのようにして訂正します。

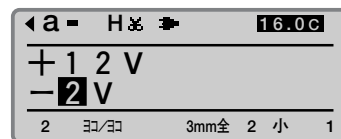
【例】「-12V」と入力するところを「-32V」と入力してしまった場合。

1. [◀], [▶], [▲], [▼]を押して
■ (カーソル) を「3」にあわせる

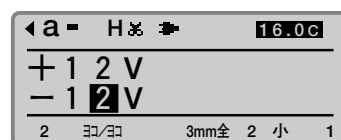


英数字入力モードになっていることを確認する。

2. [Del]を押して「3」を消す



3. [1]を押して正しい文字「1」を入力する



Memo

[Del]の代わりに[Back Space]を押すと、カーソルの前の文字（この場合は「+」）が消えます。

操作2 印刷する

文字入力が終わったら印刷です。

Memo

印字媒体とは？

印刷を行う対象です。印字媒体には「チューブ」、「ラベルテープ」、「4mm I.D. Strip」、「透明チューブ」、「ラップアラウンドテープ」、「記名板」があります。

Memo

リボンカセット未装着で[印刷]を押すと、エラーメッセージが表示されます。リボンカセットを装着して再度操作してください。

また、リボンカセットの故障等により情報が読み取れなかった場合にもエラーメッセージが表示されます。何かキーを押して、あとに表示される画面の指示に従い操作してください。

Memo

4mm I.D. Stripを印字媒体に選択している場合はサイズ画面は表示されません。

Memo

印刷本数と印刷範囲の設定画面では、リボンカセット残量の目安を表示します。(実際の残量とは多少の誤差があります。) 残量が正しく読み取れなかったときは、残量は表示されません。

Memo

印刷を中止する

[取消]を押すと、「印刷を中止します。」の表示がされ、印字が途中で中断されます。このとき、チューブはカット後、排出されます。

Memo

ラベルテープが詰まったら

「ビビビッ」と音がするまで[取消]を押してください。すぐに動作が停止されます。この場合、ラベルテープはカットも排出もされません。「チューブやラベルテープが詰まったら」(P. 138ページ)を参考にして詰まったラベルテープを取り出します。

1 [印刷]を押す

- 印字媒体の選択画面になります。

印字媒体

▼ チューブ
熱収縮チューブ
ラベル ▼

現在選択されている印字媒体の横に▼が表示される。

2 [▲]または[▼]を押して「ラベル」を選択し、[Enter]を押す

- ラベルテープサイズ(幅)の選択画面になります。

ラベルサイズ

6 mm
▼ 9 mm
1 2 mm

現在選択されているラベルサイズの横に▼が表示される。

3 [▲]または[▼]を押して「9mm」を選択し、[Enter]を押す

- 印刷本数と印刷範囲の設定画面になります。

印刷本数: 1 0 %
[1 ~ 1 0]
印刷範囲: 全ページ
残量

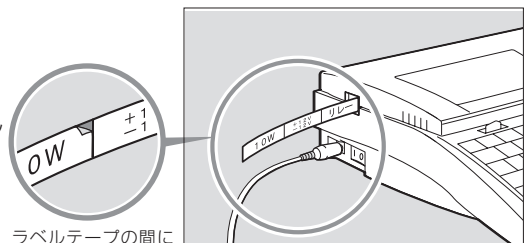
4 [Enter]を押す

- 印刷が始まります。

H&M
ラベルサイズ 9 mm
印刷中...
印刷中止 [取消]

5 ラベルテープを取り出す

- 半切りされたラベルが排出されます。

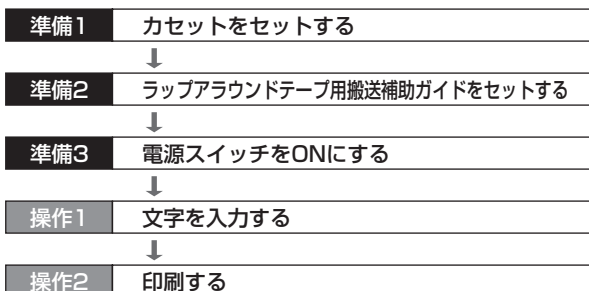


ラベルテープの間に切り込みが入るので、一枚一枚を簡単にはがすことができます。

2-3

ラップアラウンドテープに印字する

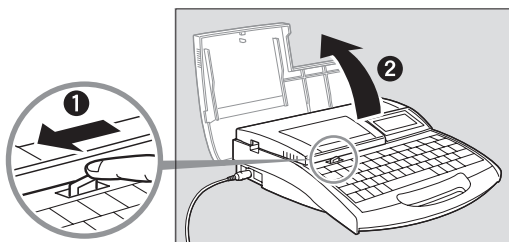
ラップアラウンドテープは、印字部と透明ラミネート部が一体化になったテープです。ラップアラウンドテープカセットを用意し、つぎのような操作の流れで文字を印字します。なお、本製品にはラップアラウンドテープカセットは含まれていないので、別途で用意ください。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。



準備1 カセットをセットする

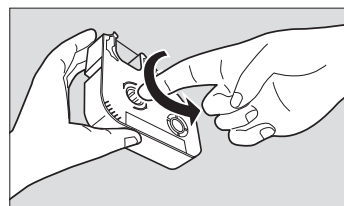
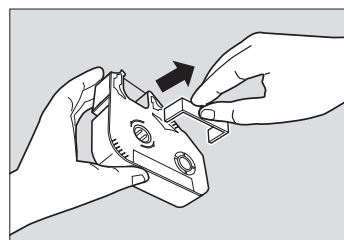
リボンカセットとラップアラウンドテープカセットをセットします。

1 カバーを開ける



2 リボンのたるみを取る

- 新しいカセットをセットする場合はストッパーを外してから、リボンのたるみを取ります。



Memo

リボンがたるんでいるとリボン有無の判断ができません。必ず、たるみを取ってください。

Memo

外したストッパーは、地域の条例にしたがって廃棄してください。

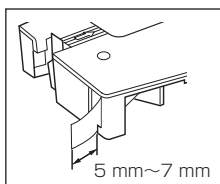
Memo

リボンカセットが浮いているとリボン有無の判断ができません。カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

Memo

テープカセットを本体にセットする前に、以下を確認してください。

- 剥離紙が浮いていたり、先端がそろっていない部分はカットしてください。
- テープの先端を5mm～7mm程度引き出してください。



Memo

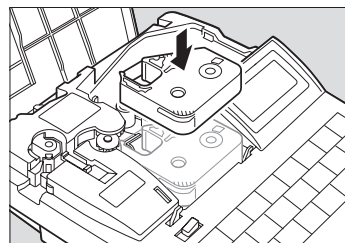
すでにラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドがセットされている場合には、正しくセットされていることを確認してください。

Memo

ラップアラウンドテープ（5064C001）を使用する際は、ラップアラウンドテープ搬送補助ガイド（3471A048（灰色）（別売））をご用意ください。プリンター本体に付属の搬送補助ガイド（黒色）を使用するとカッターにテープが貼り付いてしまい、エラー発生の原因になります。取り付け方は、本体に付属の搬送補助ガイドと同じです。

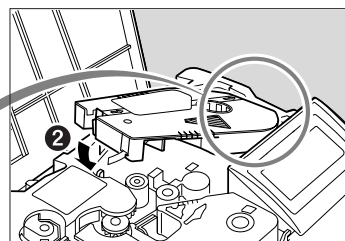
3 リボンカセットを本体にセットする

- カチッと音がするまでしっかりと押しします。



4 ラップアラウンドテープカセットを本体にセットする

- カセットのつめを本体の穴に合わせ、カチッと音がするまでしっかりと押しします。



注意 ICチップには触らないで！

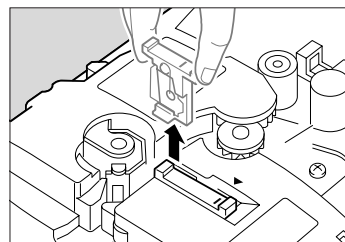
リボンカセットのICチップには触らないでください。リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。

- 重要** テープがカセットの中に入ってしまった場合は、「ラベルテープがカセットの中に入ってしまったら」（P.38ページ）を参考にしてテープを引き出してください。

準備2 ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドをセットする

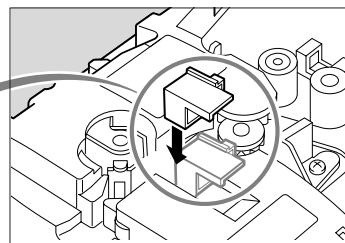
ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドをセットします。

1 カッターを引き出す



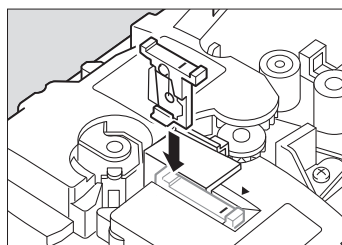
2 ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドを本体にセットする

- ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドのつめを確実に本体の段差にかけます。



3 カッターをセットし、カバーを閉める

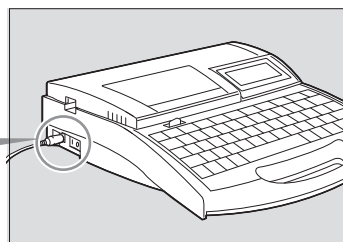
- 向きに注意して、カッターの－(ライン)を◀マークにあわせて、奥に突き当たるまで差し込みます。
- カバーを閉めます。



準備3 電源スイッチをONにする

電源スイッチをONにするまえにカセット類は正しくセットされているか、カバーが閉まっているか、ACアダプターが正しくセットされているか、もう一度確認してください。

1 電源スイッチの「I」側を押す



- 起動画面が数秒間表示された後、文字入力画面が表示されます。

CABLE ID PRINTER **Mk2600**

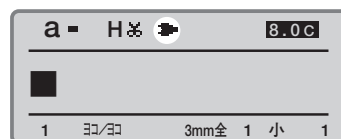
起動画面

- リボンカセット情報画面が表示された後、文字入力画面になります。

Ribbon information
black long

リボンカセット情報画面

- ※何の画面表示もされない場合は「こんなときには」(P.159ページ)をご覧ください。



文字入力画面

Memo

リボンカセット未装着で電源を入れた場合は、リボンカセット情報画面は表示されません。

重要 電源スイッチは早押ししないで！

電源スイッチのON/OFFを早いスピードで繰り返すと、誤動作の原因となったり、保存データが消失するおそれがあります。

操作1 文字を入力する

【例】 つぎのようなラップアラウンドテープを3枚作ります。



Memo

[英数／ローマ字／ひらがな]を押すたびに「英数字入力→ローマ字入力→かな入力」の順番で文字入力モードが変わります。

Memo

英数字入力モード（小文字）の「a」が表示されるときは、[CapsLock]を押すと入力モードが「A」になります。

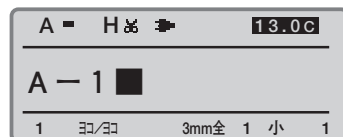
1 [英数／ローマ字／ひらがな]を押して英数字入力モードにする



「a」が表示されるまで[英数／ローマ字／ひらがな]を押す。

2 「A-1」と入力する

- [A]、[-]、[1]の順番にキーボード入力します。



参考

間違って文字入力したときは

間違って文字を入力したときはつぎのようにして訂正します。

【例】「A-1」と入力するところを「A=1」と入力してしまった場合。

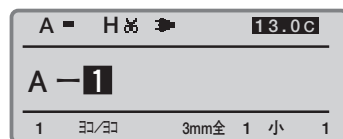
1. [◀]または[▶]を押して■（カーソル）を「=」にあわせる



2. [Del]を押して「=」を消す



3. [-]を押して正しい文字「-」を入力する



Memo

印字媒体とは？

印刷を行う対象です。印字媒体には「チューブ」、「ラベルテープ」、「4mm I.D. Strip」、「透明チューブ」、「ラップアラウンドテープ」、「記名板」があります。

Memo

リボンカセット未装着で[印刷]を押すと、エラーメッセージが表示されます。リボンカセットを装着して再度操作してください。

また、リボンカセットの故障等により情報が読み取れなかった場合にもエラーメッセージが表示されます。何かキーを押して、あとに表示される画面の指示に従い操作してください。

Memo

印刷本数と印刷範囲の設定画面では、リボンカセット残量の目安を表示します。(実際の残量とは多少の誤差があります。)残量が正しく読み取れなかったときは、残量は表示されません。

Memo

印刷を中止する

[取消]を押すと、「印刷を中止します。」の表示がされ、印字が途中で中断されます。このとき、チューブはカット後、排出されます。

Memo

ラップアラウンドテープが詰まったら

「ビビビッ」と音がするまで[取消]を押してください。すぐに動作が停止されます。この場合、テープはカットも排出もされません。「チューブやラベルテープが詰まったら」(P.138ページ)を参考にして詰まったテープを取り出します。

操作2 印刷する

文字入力が終わったら印刷です。

1 [印刷]を押す

- 印字媒体の選択画面になります。

印字媒体

☒ チューブ
熱収縮チューブ
ラベル ▼

現在選択されている印字媒体の横に ☒ が表示される。

2 [▲]または[▼]を押して「ラップアラウンドテープ」を選択し、[Enter]を押す

- 印刷本数と印刷範囲の設定画面になります。

印刷本数：1 0 %
[1 ~ 1 0]
印刷範囲：全ページ
残量 

3 [▲]または[▼]を押して「印刷本数」を選択し、[3]を押す

- この操作で3回印刷されます。

印刷本数：3 0 %
[1 ~ 1 0]
印刷範囲：全ページ
残量 

4 [Enter]を押す

- 印刷が始まります。

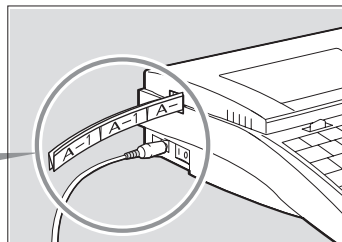
H&M
ラップアラウンド
印刷中...
印刷中止 [取消]

5 ラップアラウンドテープを取り出す

- 半切りされたラップアラウンドテープが排出されます。



テープの間に切り込みが入るので、一枚一枚を簡単にはがすことができます。



Memo

対応ケーブル外径：
φ3mm～φ7.6mm
(文字サイズ、行数、印刷位置(高さ)、枠の設定によっては印刷部にラミネートシールが十分に重ならない場合があります。)

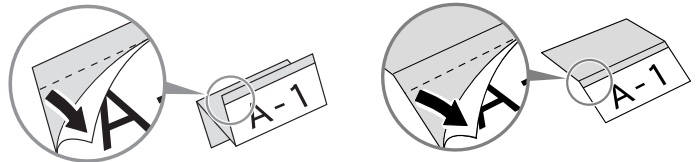
Memo

半切りが浅くカットされていると、正しくはがせない場合があります。

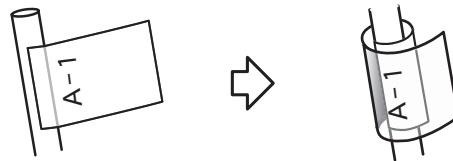


ラップアラウンドテープの貼りつけ

1. ラップアラウンドテープから剥離フィルムをはがす



2. ケーブルに図のように印字部から貼りつけ、印字部を覆うようにして、透明ラミネートシール部を巻きつける



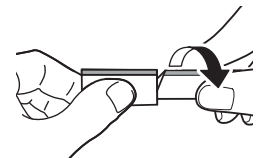
カット深さが浅かったら

テープの切り込みが深すぎる(または、浅すぎる)場合や、テープが切れない場合は、「カッターが切れにくくなったら」(P143ページ)を参考にして、カットの深さを調整してください。それでもカットされなかったら、新しいカッターと交換してください。(P146ページ)



テープ同士を切り離す

印刷したテープには切り込みが入ります。図のように、つながっている部分を切り離してください。



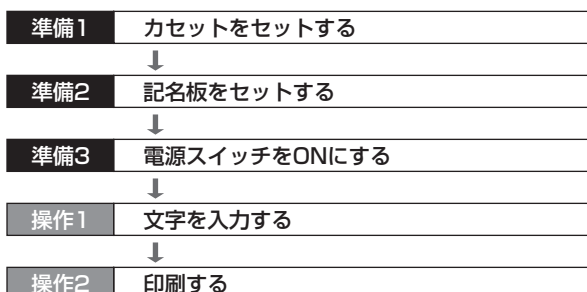
重要 テープに印字されていた内容の消失や、テープのはがれに伴う損害について、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

2-4 記名板に印字する

つぎのような操作の流れで記名板に文字を印字します。

Memo

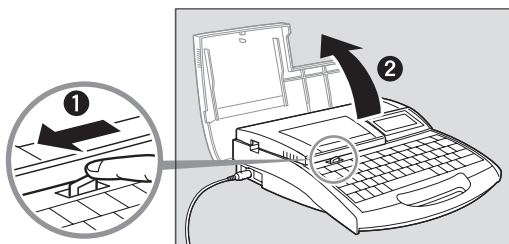
記名板の種類によっては本機で正しく印字できない場合があります。詳しくは販売店にお問い合わせください。



準備1 カセットをセットする

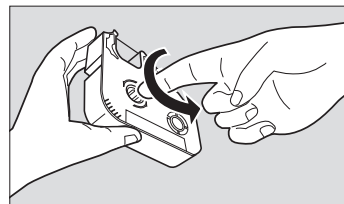
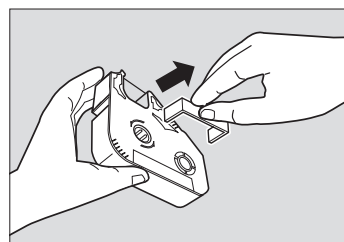
記名板専用リボンカセットと記名板アタッチメントをセットします。

1 カバーを開ける



2 リボンのたるみを取る

- 記名板専用のリボンカセットを使います。
- 新しいカセットをセットする場合はストッパーを外してから、リボンのたるみを取ります。



Memo

リボンがたるんでいるとリボン有無の判断ができません。必ず、たるみを取ってください。

Memo

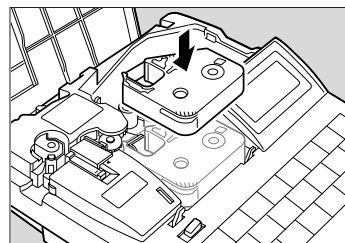
外したストッパーは、地域の条例にしたがって廃棄してください。

Memo

リボンカセットが浮いているとリボン有無の判断ができません。カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

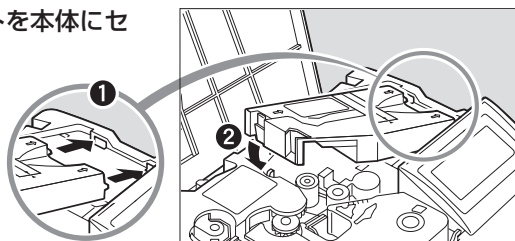
3 リボンカセットを本体にセットする

- カチッと音がするまでしっかりと押します。



4 記名板アタッチメントを本体にセットする

- 記名板アタッチメントのつめを本体の穴に合わせ、カチッと音がするまでしっかりと押します。

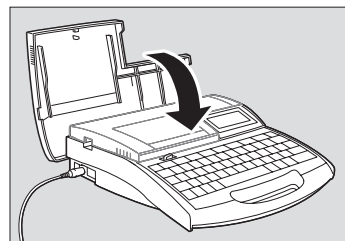


5 ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドを外す

- 16ページをごらんください。

6 カバーを閉める

- カチッと音がするまでしっかりと押します。



注意 ICチップには触らないで！

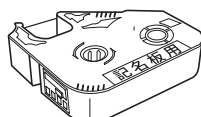
リボンカセットのICチップには触らないでください。リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。

重要 記名板専用インクリボンカセットを使用して！

記名板に印字する場合は、記名板専用のインクリボンカセットをお使いください。付属されているインクリボンカセットで記名板に印字すると、正しく印字できません。本製品には、このカセットは含まれておりません。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

Memo

専用のICチップ付きカセットをご使用ください。

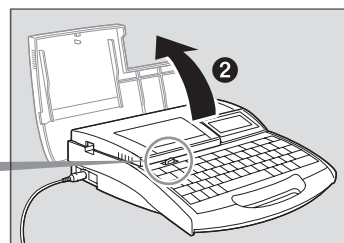


※記名板専用リボンは記名板に合わせたリボンテンションにしています。

準備2 記名板をセットする

本製品には記名板は含まれていませんので、別途ご用意ください。使用できる記名板は8mm、8.5mm、9.5mm、10mmの市販品です。記名板に凹凸や汚れがあったり、厚みが均等でなかったりすると正しく印字できませんのでご注意ください。

1 カバーを開ける

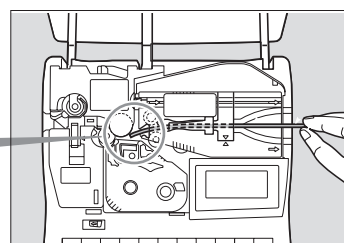


2 記名板をセットする

- 記名板の先端を挿入口に差し込み、搬送ローラー2に突き当たるまで押し込みます。

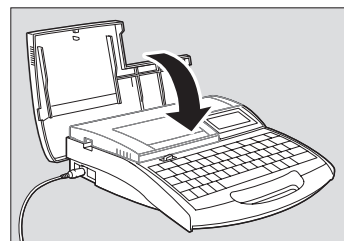


搬送ローラー2



3 カバーを閉める

- カチッと音がするまでしっかりと押します。

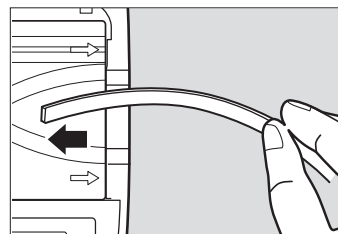


Memo

記名板の表面性により、正しく印字できない場合があります。

重要 記名板の反りに注意！

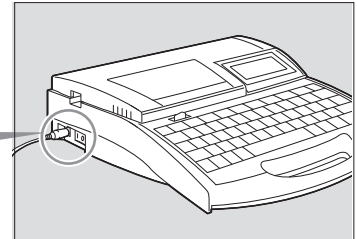
反った記名板は、図のような向きで挿入してください。向きが違っていると記名板が詰まり搬送エラーをおこす場合があります。



準備3 電源スイッチをONにする

電源スイッチをONにするまえにカセット類や記名板は正しくセットされているか、カバーが閉まっているか、アダプターが正しくセットされているか、もう一度確認してください。

1 電源スイッチの「I」側を押す

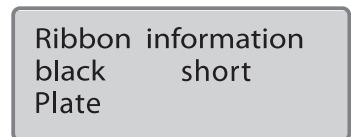


- 起動画面が数秒間表示された後、文字入力画面が表示されます。



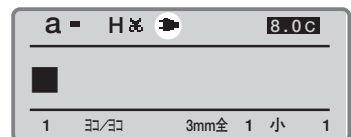
起動画面

- リボンカセット情報画面が表示された後、文字入力画面になります。



リボンカセット情報画面

※何の画面表示もされない場合は「こんなときには」(P.159ページ)をごらんください。



文字入力画面

Memo

リボンカセット未装着で電源を入れた場合は、リボンカセット情報画面は表示されません。

❗ 重要 電源スイッチは早押ししないで！

電源スイッチのON/OFFを早いスピードで繰り返すと、誤動作の原因となったり、保存データが消失するおそれがあります。

Memo

[英数／ローマ字／ひらがな]を押すたびに「英数字入力→ローマ字入力→かな入力」の順番で文字入力モードが変わります。

Memo

英数字入力モード（小文字）の「a」が表示されるときは、[CapsLock]を押すと入力モードが「A」になります。

Memo

選択できない行数の横には「×」が表示されます。

操作1 文字を入力する

【例】つぎのような記名板を作ります。

A-1	B-1	C-1
A-2		C-2

使用する記名板：8mmの記名板

1 [英数／ローマ字／ひらがな]を押して英数字入力モードにする



「a」が表示されるまで[英数／ローマ字／ひらがな]を押す。

2 [行数]を押す

- 1つ目の記名板は2行にしなければならぬので[行数]を押します。



現在選択されている行数の横に✓が表示される。

3 [▲]または[▼]を押して「2行」を選択し、[Enter]を押す



入力画面が2行になった。

4 「A-1」と入力する

- [A]、[-]、[1]の順番にキーボード入力します。



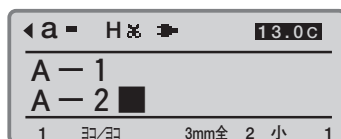
5 [▼]または[▶]を押す



カーソルが2行目に移動する。

6 「A-2」と入力する

- [A]、[-]、[2]の順番にキーボード入力します。



Memo

[▼]または[▶]ではなく、[Enter]を押すと、改ページされてしまいます。

7 [Enter]を押す

- 新しいページが用意され、つぎの文字データ入力待ちとなります。



現在表示されているページの前にも別のページが存在することを意味する。

8 [行数]を押す

- 2つ目の記名板は1行に戻さなければならないので[行数]を押します。



現在選択されている行数の横に✓が表示される。

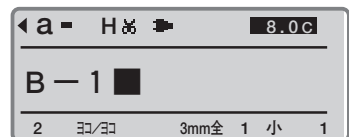
9 [▲]または[▼]を押して「1行」を選択し、[Enter]を押す



入力画面が1行になった。

10 「B-1」と入力する

- [B]、[-]、[1]の順番にキーボード入力します。



11 [Enter]を押す

- 新しいページが用意され、つぎの文字データ入力待ちとなります。



現在表示されているページの前にも別のページが存在することを意味する。

12 [行数]を押す

- 3つ目の記名板は2行にしなければならないので[行数]を押します。



現在選択されている行数の横に✓が表示される。

13 [▲]または[▼]を押して「2行」を選択し、[Enter]を押す



入力画面が2行になった。

14 「C-1」と入力する

- [C]、[-]、[1]の順番にキーボード入力します。



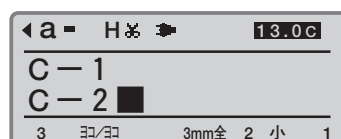
15 [▼]または[▶]を押す



カーソルが2行目に移動する。

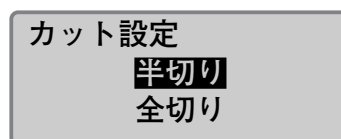
16 「C-2」と入力する

- [C]、[-]、[2]の順番にキーボード入力します。



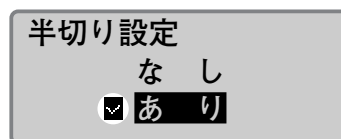
17 [カット設定]を押す

- カット設定の選択画面になります。



18 [▲]または[▼]を押して「半切り」を選択し、[Enter]を押す

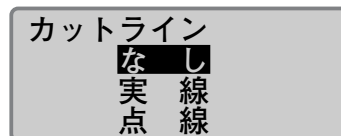
- 半切りの選択画面になります。



お買い上げ時は、半切りをする設定「あり」が選択されている。

19 [▲]または[▼]を押して「なし」を選択し、[Enter]を押す

- カットラインの選択画面になります。



20 [▲]または[▼]を押して「点線」を選択し、[Enter]を押す

- これでカットラインが点線で印字されます。

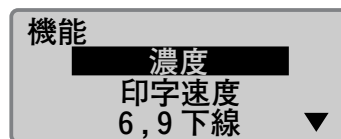
記名板モードはカットできません。



カットライン（点線）が表示される。

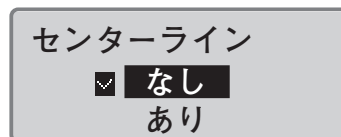
21 [機能]を押す

- 機能の選択画面になります。



22 [▲]または[▼]を押して「センターライン」を選択し、[Enter]を押す

- センターラインの選択画面になります。



23 [▲]または[▼]を押して「あり」を選択し、[Enter]を押す

- 文字入力画面に戻ります。

Memo

印字媒体とは？

印刷を行う対象です。印字媒体には「チューブ」、「ラベルテープ」、「4mm I.D. Strip」、「透明チューブ」、「ラップアラウンドテープ」、「記名板」があります。

Memo

リボンカセット未装着で[印刷]を押すと、エラーメッセージが表示されます。リボンカセットを装着して再度操作してください。

また、リボンカセットの故障等により情報が読み取れなかった場合にもエラーメッセージが表示されます。何かキーを押して、あとに表示される画面の指示に従い操作してください。

Memo

記名板サイズは正確に
正しい記名板サイズを選択しないと正確に印字されません。

Memo

印刷本数の設定画面では、リボンカセット残量の目安を表示します。（実際の残量とは多少の誤差があります。）残量が正しく読み取れなかったときは、残量は表示されません。

Memo

「印刷範囲：全ページ」となっていない場合は、[▲]または[▼]を押して「印刷範囲」を選択した上、[◀]または[▶]を押して「全ページ」を選択します。

Memo

印刷を中止する

[取消]を押すと、「印刷を中止します。」の表示がされ、印字が途中で中断されます。

Memo

記名板が詰まったら

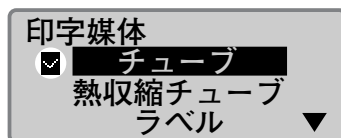
「ビビビッ」と音がするまで[取消]を押してください。すぐに動作が停止されます。「チューブやラベルテープが詰まったら」（▶138ページ）を参考に、詰まった記名板を取り出します。

操作2 印刷する

文字入力が終わったら印刷です。

1 [印刷]を押す

- 印字媒体の選択画面になります。



現在選択されている印字媒体の横に ☒ が表示される。

2 [▲]または[▼]を押して「記名板」を選択し、[Enter]を押す

- 記名板（幅）の選択画面になります。



現在選択されている記名板サイズの横に ☒ が表示される。

3 [▲]または[▼]を押して「8.0mm」を選択し、[Enter]を押す

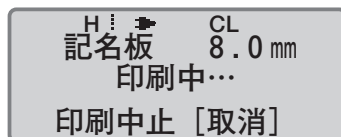
- 印刷本数と印刷範囲の設定画面となります。



CLが表示されている場合は、センターラインが印刷される。

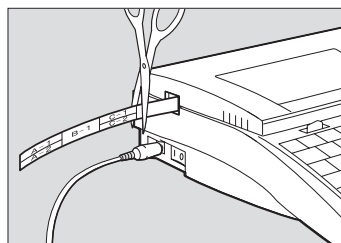
4 [Enter]を押す

- 印刷が始まります。



5 記名板を取り出す

- 記名板をはさみでカットします。



記名板モードでは、半切りも全切りも行いません。半切り設定を「あり」で記名板に印刷すると、実線のカットラインが自動で印字されます。



連続印刷した場合、設定した長さとは異なる場合があります。できあがりの長さを調整したい場合は、参考「長さを微調整する」（▶116ページ）をごらんください。



記名板への印刷について、「短いピッチ幅で印刷する」（▶125ページ）をごらんください。

Part 3

文字の入力

ここでは、いろいろな文字入力、漢字変換、記号入力、文字削除・変更のしかたについて説明します。

3-1	文字入力のまえに	60
	■入力モードを理解しよう	60
	■入力モードを切り換える	60
	■[Shift]のはたらき	61
3-2	ひらがなを入力する	62
	■ローマ字入力するとき	62
	■かな入力するとき	63
3-3	カタカナを入力する	64
	■ローマ字入力するとき	64
	■かな入力するとき	65
3-4	英数字を入力する	66
	■英数字を入力する	66
3-5	漢字を入力する	67
	■ローマ字入力するとき	67
	■かな入力するとき	69
	■区点コード入力するとき	71
3-6	記号を入力する	73
	■記号を入力する	73
3-7	文字の削除、新規ページ作成、カーソルの移動 ...	75
	■文字を削除、変更する	75
	■入力した文字データをすべて消去する	76
	■挿入モードと上書きモード	77
	■新規ページ作成	78
	■カーソルの移動	79

3-1

文字入力のまえに

実際に文字を入力するまえにお読みください。

■ 入力モードを理解しよう

本機には「英数字入力モード」、「ローマ字入力モード」、「かな入力モード」の3つの入力モードがあり、入力したい文字に合わせてこれらのモードを切り換える必要があります。入力モードは[英数／ローマ字／ひらがな]を押して切り換えます。

● ひらがな、カタカナ、漢字を入力するとき

「ローマ字入力モード」または「かな入力モード」に切り換える

● 英数字を入力するとき

「英数字入力モード」に切り換える

■ 入力モードを切り換える

現在の入力モードは何であるかを知りたいときはディスプレイの左上端の表示を見ます。それぞれの表示が持つ意味はつぎの通りです。

「a」または「A」…英数字入力モード
「R」……………ローマ字入力モード
「ひ」または「カ」…かな入力モード



[英数／ローマ字／ひらがな]を何回か押してみましょう。「a→R→ひ」または「A→R→カ」のように表示が切り変わりましたね？このようにして入力モードを切り換えます。



大文字固定の英数字入力モードとカタカナ入力モード

上の操作で[英数／ローマ字／ひらがな]を押したときに「a→R→ひ」と表示された場合は[Caps Lock/カタカナ変換]を押してからもう一度[英数／ローマ字／ひらがな]を押してみてください。今度は「A→R→カ」のように表示されるはず。 「A」が表示されているときは「大文字固定の英数字入力モード」で、通常の英数字入力モードで[Shift]を押しながらキーを押したのと同じ結果を得ることができます。また、「カ」が表示されているときは「カタカナ入力モード」です。キーを押すとすべてカタカナで入力されます。大文字だけの英字やカタカナだけの文字を打つときに便利な機能です。

■ [Shift]のはたらき

英数字入力モードのとき、例えば[Shift]を押しながら[A]を押すと大文字の「A」が入力されます。このように[Shift]は通常「大文字を入力するとき」に使いますが、押したキーやそのとき選択している入力モードによって必ずしもそうならない場合もあります。つぎの表を参考にしてください。

押すキー	入力モード	入力文字	[Shift]を押しながら 入力した場合
! ぬ	英数字入力	1	!
	英数字入力（大文字固定）	1	!
	ローマ字入力	1	!
	ひらがな入力	ぬ	ぬ
	カタカナ入力	ヌ	ヌ
# あ	英数字入力	3	#
	英数字入力（大文字固定）	3	#
	ローマ字入力	3	#
	ひらがな入力	あ	あ
	カタカナ入力	ア	ア
E い	英数字入力	e	E
	英数字入力（大文字固定）	E	e
	ローマ字入力	え	え
	ひらがな入力	い	い
	カタカナ入力	イ	イ
A ち	英数字入力	a	A
	英数字入力（大文字固定）	A	a
	ローマ字入力	あ	あ
	ひらがな入力	ち	ち
	カタカナ入力	チ	チ

3-2 ひらがなを入力する

Memo

「a」は英数字入力モード、「R」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。なお、[英数／ローマ字／ひらがな]を押しても「a→R→ひ」ではなく「A→R→カ」と表示される場合は、いったん[Caps Lock/カタカナ変換]を押してから操作してください。

Memo

文字サイズが1.3mm角のときは、ローマ字入力モードは選択できません。

Memo

[K]、[A]、[S]、[S]、[H]、[O]、[K]、[U]と入力してもかまいません。詳しくは「ローマ字/かな入力表」(P161ページ)をご覧ください。

Memo

間違って入力したら

[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

■ ローマ字入力するとき

ローマ字入力でつぎのひらがなを入力します。

【例】 かっしょく

1 [英数／ローマ字／ひらがな]を押してローマ字入力モードにする



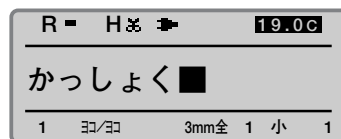
[英数／ローマ字／ひらがな]を押すたびに「a→R→ひ」の順に表示される。「R」がローマ字入力モードなので「R」を表示する。

2 「かっしょく」と入力する

- [K]、[A]、[S]、[S]、[Y]、[O]、[K]、[U]の順番にキーボード入力します。



3 [Enter]を押す



■ かな入力するとき

かな入力でつぎのひらがなを入力します。

【例】 かっしょく

Memo

「a」は英数字入力モード、「R」はローマ字入力モード、「ひ」はひらがな入力モードを示します。なお、「英数／ローマ字／ひらがな」を押しても「a→R→ひ」ではなく「A→R→カ」と表示される場合は、いったん[Caps Lock/カタカナ変換]を押してから操作してください。

Memo

文字サイズが1.3mm角のときは、かな入力モードは選択できません。

Memo

間違えて入力したら

[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

1 [英数／ローマ字／ひらがな]を押してかな入力モードにする



[英数／ローマ字／ひらがな]を押すたびに「a→R→ひ」の順に表示される。「ひ」がかな入力モードなので「ひ」を表示する。

2 「かっしょく」と入力する

- [か]、[Shift]+[つ]、[し]、[Shift]+[よ]、[<]の順番にキーボード入力します。



3 [Enter]を押す



3-3 カタカナを入力する

Memo

「a」は英数字入力モード、「R」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。なお、「英数／ローマ字／ひらがな」を押しても「a→R→ひ」ではなく「A→R→カ」と表示される場合は、いったん[Caps Lock/カタカナ変換]を押してから操作してください。

Memo

文字サイズが1.3mm角のときは、ローマ字入力モードは選択できません。

Memo

[A]、[S]、[S]、[H]、[U]と入力してもかまいません。詳しくは「ローマ字/かな入力表」(P161ページ)をごらんください。

Memo

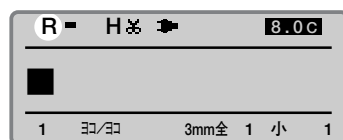
間違えて入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

■ ローマ字入力するとき

ローマ字入力でつぎのカタカナを入力します。

【例】 アッシュ

1 [英数／ローマ字／ひらがな]を押してローマ字入力モードにする



[英数／ローマ字／ひらがな]を押すたびに「a→R→ひ」の順に表示される。「R」がローマ字入力モードなので「R」を表示する。

2 「あっしゅ」と入力する

- [A]、[S]、[S]、[Y]、[U]の順番にキーボード入力します。



3 [Caps Lock/カタカナ変換]を押す

- ひらがながカタカナに変換されます。



4 [Enter]を押す



Memo

「a」は英数字入力モード、「R」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。なお、[英数／ローマ字／ひらがな]を押しても「a→R→ひ」ではなく「A→R→カ」と表示される場合は、いったん[Caps Lock/カタカナ変換]を押してから操作してください。

Memo

文字サイズが1.3mm角のときは、かな入力モードは選択できません。

Memo

間違って入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

■ かな入力するとき

かな入力でつぎのカタカナを入力します。

【例】ヴァイオレット

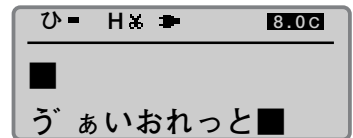
1 [英数／ローマ字／ひらがな]を押してかな入力モードにする



[英数／ローマ字／ひらがな]を押すたびに「a→R→ひ」の順に表示される。「ひ」がかな入力モードなので「ひ」を表示する。

2 「う あ い お れ っ と」と入力する

- [う]、[あ]、[い]、[お]、[れ]、[Shift]+[つ]、[と]の順番にキーボード入力します。



3 [Caps Lock/カタカナ変換]を押す

- ひらがながカタカナに変換されます。



4 [Enter]を押す



カタカナ変換とカタカナ入力モード

上の例では「ヴァイオレット」がカタカナだけの文字であるにもかかわらず、「カタカナ入力モード」を使わずに、「かな入力モード」を使ってひらがなをカタカナ変換する方法を説明しましたが、もちろん「カタカナ入力モード」で入力することもできます。「カタカナ入力モード」を使う場合は「ひ」が表示されるまで[英数／ローマ字／ひらがな]を押してから[Caps Lock/カタカナ変換]を押して文字を入力してください。

3-4 英数字を入力する

Memo

「a」は英数字入力モード、「R」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。なお、「英数／ローマ字／ひらがな」を押しても「a→R→ひ」ではなく「A→R→カ」と表示される場合は、いったん[Caps Lock/カタカナ変換]を押してから操作してください。

Memo

大文字を入力するときや、キーの上段に表示されている文字を入力するときは、[Shift]を押しながら目的のキーを押します。

Memo

間違って入力したら

[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

■ 英数字を入力する

つぎの英数字を入力します。

【例】Res 7-1

1 [英数／ローマ字／ひらがな]を押して英数字入力モードにする



[英数／ローマ字／ひらがな]を押すたびに「a→R→ひ」の順に表示される。「a」が英数字入力モードなので「a」を表示する。

2 「Res 7-1」と入力する

- [Shift]+[R]、[E]、[S]、[7]、[-]、[1]の順番にキーボード入力します。



[R]を入力するときは[Shift]+[R]を押す。



大文字だけの英字を入力するとき

例えば、「SYSTEM」のように大文字のみの英字を入力するとき、いちいち[Shift]を押しながら文字を入力するのは面倒です。こんなときは「英数字入力モード（大文字）」を使いましょう。操作1でディスプレイに「a」を表示して「英数字入力モード」にしましたが、この状態で[Caps Lock/カタカナ変換]を押すと、表示が「A」に変わり「大文字固定の英数字入力モード」になります。この状態で[Shift]を押しながら文字を入力すると小文字が入力されます。

3-5 漢字を入力する

Memo

文字の大きさが2mm以下のときは漢字は入力できません。

Memo

「a」は英数字入力モード、「R」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。

Memo

文字サイズが1.3mm角のときは、ローマ字入力はできません。

Memo

間違って入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

Memo

変換を中止する
[取消]を押してください。変換された漢字がひらがなに戻ります。

■ ローマ字入力するとき

ローマ字入力でつぎの文字を入力します。

【例】回線ノイズFx

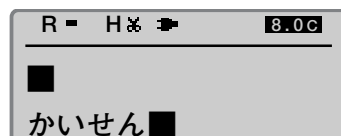
1 [英数／ローマ字／ひらがな]を押してローマ字入力モードにする



[英数／ローマ字／ひらがな]を押すたびに「a→R→ひ」の順に表示される。「R」がローマ字入力モードなので「R」を表示する。

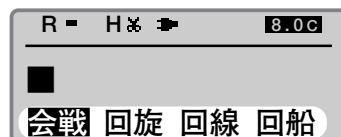
2 「かいせん」と入力する

- [K]、[A]、[I]、[S]、[E]、[N]、[N]の順番にキーボード入力します。



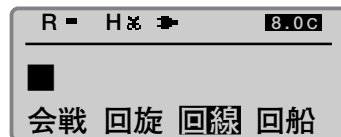
3 [スペース]を押す

- ひらがなが漢字に変換されます。



候補がいくつか表示される。

4 [◀]または[▶]を押して「回線」を選択する



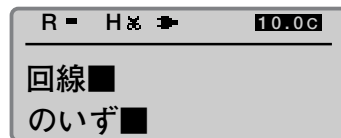
5 [Enter]を押す

- これで「回線」までが入力されます。



6 「のいず」と入力する

- [N]、[O]、[I]、[Z]、[U]の順番にキーボード入力します。



7 [Caps Lock/カタカナ変換]を押す

- ひらがながカタカナに変換されます。



8 [Enter]を押す

- これで「回線ノイズ」までが入力されます。



9 [英数/ローマ字/ひらがな]を押して [Caps Lock/カタカナ変換]を押して英数字入力モード(大文字)にする



「英数/ローマ字/ひらがな」を押すたびに「A→R→カ」の順に表示される。「A」が英数字入力モード(大文字)なので「A」を表示する。

10 「F」と入力する

- [F]を押します。



11 [Caps Lock/カタカナ変換]を押して英数字入力モード(小文字)にする



「A」に代わって「a」が表示される。この状態が通常の英数字入力モード。

12 「x」と入力する

- [X]を押します。



単漢字変換

例えば、「単漢字」という文字を入力するとしましょう。「たんかんじ」と入力して[スペース]を押しても変換されません。こんなときは、「単漢字」を「単」と「漢字」の2つに分けて変換します。まず、「たん」と入力して[スペース]で変換。候補から「単」を選んで、[Enter]を押します(これを単漢字変換といいます)。つぎに、「かんじ」と入力して[スペース]で変換。候補から「漢字」を選んで、[Enter]を押します。

Memo

「a」は英数字入力モード、「R」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。なお、[英数／ローマ字／ひらがな]を押しても「a→R→ひ」ではなく「A→R→力」と表示される場合は、いったん[Caps Lock/カタカナ変換]を押してから操作してください。

Memo

文字サイズが1.3mm角のときは、かな入力はできません。

Memo

間違って入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

Memo

変換を中止する
[取消]を押してください。変換された漢字がひらがなに戻ります。

■ かな入力するとき

かな入力でつぎの文字を入力します。

【例】回線ノイズFx

1 [英数／ローマ字／ひらがな]を押してかな入力モードにする



[英数／ローマ字／ひらがな]を押すたびに「a→R→ひ」の順に表示される。「ひ」がかな入力モードなので「ひ」を表示する。

2 「かいせん」と入力する

- [か]、[い]、[せ]、[ん]の順番にキーボード入力します。



3 [スペース]を押す

- ひらがなが漢字に変換されます。



候補がいくつか表示される。

4 [◀]または[▶]を押して「回線」を選択する



5 [Enter]を押す

- これで「回線」までが入力されます。



6 「のいず」と入力する

- [の]、[い]、[ず]の順番にキーボード入力します。



7 [Caps Lock/カタカナ変換]を押す

- ひらがながカタカナに変換されます。



8 [Enter]を押す

- これで「回線ノイズ」までが入力されます。



9 [英数/ローマ字/ひらがな]を押して [Caps Lock/カタカナ変換]を押して英数字入力モード(大文字)にする



[英数/ローマ字/ひらがな]を押すたびに「A→R→カ」の順に表示される。「A」が英数字入力モード(大文字)なので「A」を表示する。

10 「F」と入力する

- [F]を押します。



11 [Caps Lock/カタカナ変換]を押して英数字入力モード(小文字)にする



「A」に代わって「a」が表示される。

12 「x」と入力する

- [X]を押します。



Memo

文字サイズが1.3mm角のときは、区点コード入力できません。

Memo

間違って入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい数字を再入力してください。

Memo

間違って入力したら
[Alt]を押しながら[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。
なお、[Alt]を押しながら[◀]または[▶]を押すとカーソルを動かすことができます。

■ 区点コード入力するとき

読み方のわからない漢字や変換されない漢字は区点コード（4桁）によって入力することができます。つぎの文字を区点コード入力を使って入力します。

【例】塑性

1 [記号]を押す

- 記号入力の選択画面になります。

記号入力

記号
区点コード入力

2 [▲]または[▼]を押して「区点コード入力」を選択し、[Enter]を押す

- 区点コードの入力画面になります。

区点コード入力

[0101～9494]
▶▶■

3 「塑」の区点コードを探す

- 巻末の「区点コード表」（▶▶163ページ）を使って調べます。
- 「塑」の区点コードは3326。

4 区点コードを入力する

- この場合は「3326」と入力します。

区点コード入力

3 3 2 6 ■
[0101～9494]
▶▶■

5 [Enter]を押す

区点コード入力

■
[0101～9494]
▶▶塑■

「塑」が表示された。

6 「性」の区点コードを探す

- 巻末の「区点コード表」（▶▶163ページ）を使って調べます。
- 「性」の区点コードは3213。

7 区点コードを入力する

- この場合は「3213」と入力します。

区点コード入力
3 2 1 3 ■
[0101～9494]
▶▶塑性■

8 [Enter]を押す

区点コード入力
■
[0101～9494]
▶▶塑性■

「性」が表示された。

9 [Alt]を押しながら[Enter]を押す

- これで「塑性」が入力されました。

a ■ H% ■ 10.0C
塑性■
1 30/30 3mm全 1 小 1

3-6 記号を入力する

Memo

文字サイズが1.3mm角のときは、記号入力できません。

■ 記号を入力する

つぎの文字を入力します。

【例】→ 250kΩ

1 [記号]を押す

- 記号入力の選択画面になります。

記号入力

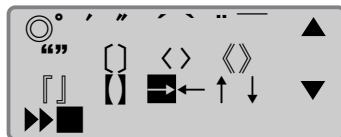
記号
区点コード入力

2 [▲]または[▼]を押して「記号」を選択し、[Enter]を押す

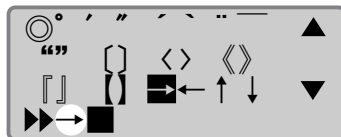
- 記号の選択画面になります。

☒ ÷ \ ± ≠ ≤ ≥ ※
... ∅ £ 〒 @ampm
No.K.K.TELFax(社)(株)(有)(代) ▼
▶▶■

3 [◀]、[▲]、[▶]、[▼]を押して「→」を選択する



4 [Enter]を押す



「→」が表示された。

5 [Alt]を押しながら[Enter]を押す

- これで「→」が入力されました。



Memo

「a」は英数字入力モード、「R」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。

6 [英数／ローマ字／ひらがな]を押して英数字入力モードにする



[英数／ローマ字／ひらがな]を押すたびに「a→R→ひ」の順に表示される。「a」が英数字入力モードなので「a」を表示する。

Memo

間違って入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

7 「250」と入力する

- [2]、[5]、[0]の順番にキーボード入力します。



8 [記号]を押す

●記号入力を選択画面になります。

記号入力

記号
区点コード入力

9 [▲]または[▼]を押して「記号」を選択し、[Enter]を押す

●記号の選択画面になります。

☒ ÷ \ ± ≠ ≤ ≥ ※
..... ¢ £ 〒 @ampm
No.KK.TEL Fax (社)(株)(有)(代)
▶▶■

10 [Shift] + [▶]を押して画面を切り替える

mm cm kmm m² m³ km m²
cm³ m³ cc ml dl l mg kg
Hz mA kΩ kW cal Å °C °K
▶▶■

11 [◀]、[▲]、[▶]、[▼]を押して「kΩ」を選択する

mm cm kmm m² m³ km m²
cm³ m³ cc ml dl l mg kg
Hz mA **kΩ** kW cal Å °C °K
▶▶■

12 [Enter]を押す

mm cm kmm m² m³ km m²
cm³ m³ cc ml dl l mg kg
Hz mA **kΩ** kW cal Å °C °K
▶▶kΩ■

「kΩ」が表示された。

13 [Alt]を押しながら[Enter]を押す

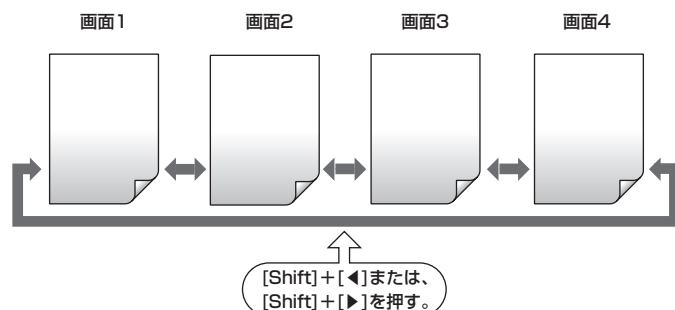
●これで「kΩ」が入力されました。

a - H% 19.0C
→ 2 5 0 kΩ
1 30/30 3mm全 1 小 1



4つある記号画面

多くの記号の中から目的の記号を検索しやすくするために、記号の画面が4つに分れています。これらを切り替えるときは[Shift] + [◀]または[Shift] + [▶]を押します。



3-7

文字の削除、新規ページ作成、カーソルの移動

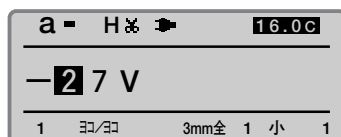
■ 文字を削除、変更する

文字を削除する方法は[Back Space]を使う方法と、[Del]を使う方法があります。

【例】「-27V」を「+24V」に変更する

1 「-」のつぎの文字「2」に■（カーソル）を移動する

- [◀]または[▶]を押してカーソルを移動します。

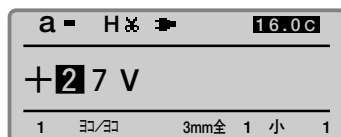


2 [Back Space]を押して「-」を消す

- [Back Space]はカーソルの1つ左にある文字を消します。

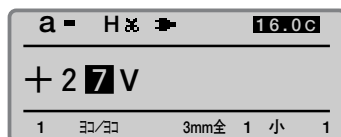


3 [+]を押す



4 「7」に■（カーソル）を移動する

- [◀]または[▶]を押してカーソルを移動します。



5 [Del]を押して「7」を消す

- [Del]はカーソル位置にある文字を消します。



6 [4]を押す



■ 入力した文字データをすべて消去する

入力した文字データを全ページにわたって一括消去することができます。
消去には「文字のみ」と「文字+設定」の2つあります。

文字のみ

最終ページの設定だけを残して、全ページのデータを消去します。

文字+設定

文字の大きさや文字と文字の間隔などの設定を初期値に戻し、全ページの文字データを消去します。

【例】入力した文字を全ページにわたって消去し、文字の大きさなどの設定も初期状態にする。

1 [全削除]を押す

- 全文削除の選択画面になります。

全文削除

文字のみ
文字+設定

2 [▲]または[▼]を押して「文字+設定」を選択し、[Enter]を押す

- 削除確認画面になります。

入力データを全て削除し、設定も初期化しますか？

はい いいえ

3 [◀]または[▶]を押して「はい」を選択し、[Enter]を押す

- 右の画面が表示されたあと、文字入力画面に戻ります。

文字+設定削除中…



■ 挿入モードと上書きモード

「挿入モード」と「上書きモード」は[Ins]を押して切り換えます。どちらのモードなのかを知りたいときはディスプレイの左上の表示を見ます。



挿入モード



上書きモード

挿入モードと上書きモードの違い

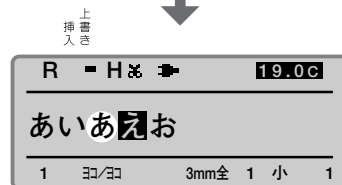
下の図のように「う」にカーソルをあわせ「あ」を入力したとき、挿入モードでは、入力した「あ」はカーソルの左に挿入され「あいあうえお」のようになります。一方、上書きモードで同じ操作をすると「う」が「あ」に上書きされ「あいあえお」になります。

●挿入モードのとき



文字はカーソルの左に挿入される。

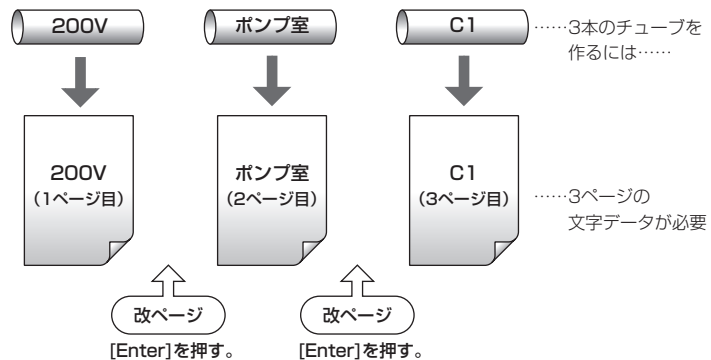
●上書きモードのとき



文字は上書きされる。

■ 新規ページ作成

例えば、つぎのような3本のチューブを作るときは各ページにそれぞれの文字を入力して、合計3ページ分の文字データを作成する必要があります。このとき、ページとページの間で改ページの操作を行うと新しいページが自動的に作成されます。



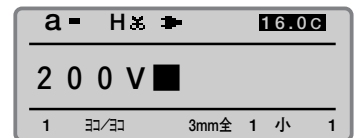
1 [英数／ローマ字／ひらがな]を押して英数字入力モードにする



「a」が表示されるまで[英数／ローマ字／ひらがな]を押す。

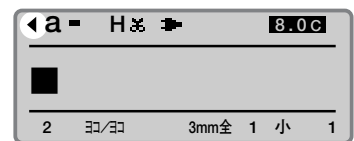
2 「200V」と入力する

- [2]、[0]、[0]、[Shift]+[V]の順番にキーボード入力します。



3 [Enter]を押す

- この操作が改ページです。新しいページが用意され、つぎの文字データ入力待ちとなります。



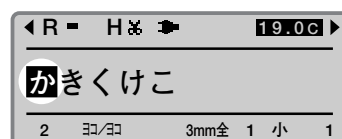
表示されているページの前にも別のページが存在することを意味する。改ページされたことが確認できる。

■ カーソルの移動

カーソルを文頭、文末に移動したり、前後のページに移動したりすることができます。

ページ内文頭への移動

- [Shift] + [▲]を押します。



カーソルが文章の先頭に移動する。

ページ内文末への移動

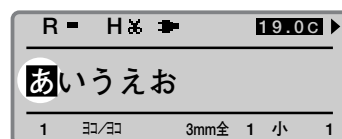
- [Shift] + [▼]を押します。



カーソルが文章の末尾に移動する。

前ページへの移動

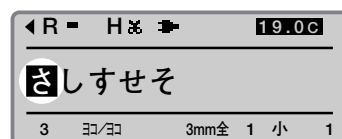
- [Shift] + [◀]を押します。



カーソルが前ページの先頭に移動する。

次ページへの移動

- [Shift] + [▶]を押します。



カーソルが次ページの先頭に移動する。

Part 4

一歩進んだ操作

ここでは、文字や行の変更、ページ編集、文字データの保存、さまざまな印刷について説明します。

4-1 文字や行数を変える	82
■文字の大きさを変える	82
■文字と文字の間隔を変える	83
■6と9に下線をつける	84
■文字に枠をつける	85
■2行または3行で印字する	86
4-2 ページを編集する	89
■ページについて	89
■ページをコピーして貼り付ける	90
■ページをカットして貼り付ける	92
■ページを挿入する	94
■ページを削除する	95
■ページを分割する	96
■ページを結合する	98
4-3 文字データの保存、呼び出し、削除	100
■ファイルとフォルダー	100
■文字データを保存する	101
■文字データを呼び出す	103
■文字データを削除する	105
■フォルダー名を変更する	107
4-4 いろいろな印刷	109
■印刷本数（枚数）と印刷範囲	109
■印刷の向きを変える	112
■カット長や文字配置を変える	114
■特定のページを複数印刷する （連続印刷）	117
■連番を持つ文字データを印刷する （連番印刷）	119
■印字開始位置と縦位置を微調整する	122
■センターラインを印刷する	124
■短いピッチ幅で印刷する	125
■文字配置と複数行センタリングを 設定しての印字結果	126
■印字濃度を調整する	127
■印字速度を変更する	128
4-5 カットのしかたを変える	129
■半切りと全切り	129
■半切りをしない	129
■印刷本数（枚数）ごとに全切りする	131
4-6 その他の操作	132
■印字媒体を取り出す	132
■ディスプレイの表示濃度を変える	134
■操作音を消す	135
■透明チューブの頭出しをおこなわない	135
■すべての設定を初期値に戻す	135

4-1

文字や行数を変える

印字文字の大きさを変える、文字と文字の間隔を広くする、2行で印字するなど、ここでは文字や行についてのさまざまな機能を説明します。

Memo

印字文字の大きさはページごとに変えることができます。

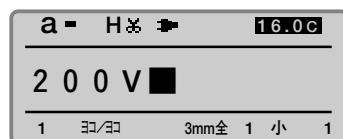
■ 文字の大きさを考える

印字文字の大きさや幅を変えることができます。印字できる文字の大きさと幅はつぎの7通りです。お買い上げ時は「3mm全角」文字になっています。

200V	1. 3mm全角	200V	3mm半角
200V	2mm半角	200V	3mm全角
200V	2mm全角	200V	6mm半角
		200V	6mm全角

【例】文字を「3mm半角」にする。

1 文字を入力する



2 [文字]を押す

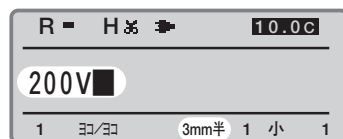
- 文字サイズの選択画面になります。



現在選択されている文字サイズの横に ☒ が表示される。

3 [▲]または[▼]を押して「3mm半角」を選択し、[Enter]を押す

- 文字入力画面に戻るの、このあと印刷します。



選択した文字サイズが表示される。
「半角」を選択したときは表示も半角になる。



選択（印字）できない文字サイズ

- 「1.3mm」の文字サイズは、英数字のみの対応となります。
- 文中に漢字があるときは「1.3mm」、「2mm」の文字サイズは選択できません。
- 「半角」を選択しても漢字や記号は全角で印字されます。
- 行数が2行のときは「6mm」の文字サイズは選択できません。
- 「1.3mm」の文字サイズのみ3行印字に対応しています。
- カット長を自分で指定した場合、入力した文字データによっては文字サイズが選択できないことがあります。

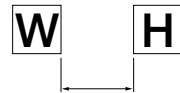
Memo

印字文字の間隔はページごとに変えることができます。

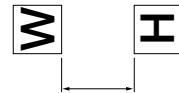
■ 文字と文字の間隔を変える

印字文字の間隔を変えることができます。印字できる文字間隔はつぎの3通りです。お買いあげ時は「小（標準）」になっています。

ポンプ室	小（標準）……………文字間なし
ポンプ室	中（やや広い）…文字間0.5mm
ポンプ室	大（広い）……………文字間1.0mm



横書きの場合の文字間隔



縦書きの場合の文字間隔

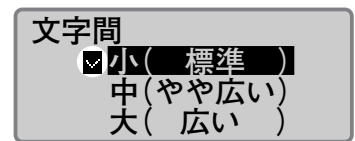
【例】文字と文字の間隔を「大（広い）」にする。

1 文字を入力する



2 [文字間]を押す

- 文字間の選択画面になります。



現在選択されている文字間隔の横に ☒ が表示される。

3 [▲]または[▼]を押して「大（広い）」を選択し、[Enter]を押す

- 文字入力画面に戻るので、このあと印刷します。



選択した文字間隔が表示される。



参考

選択（印字）できない文字間隔

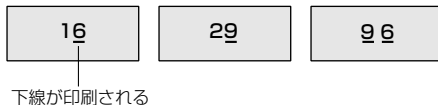
- カット長を自分で指定した場合、入力した文字データによっては文字間隔が選択できないことがあります。

Memo

この機能はページごとに変えることはできません。

■ 6と9に下線をつける

数字の6と9は見る方向によっては、上下の区別が付きにくいことがあります。こうした見まちがいを防ぐために、6と9の下にアンダーラインを印刷することができます。お買いあげ時はアンダーラインを付けないようになっています。

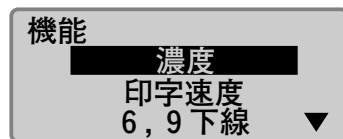


1 文字を入力する



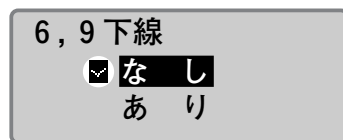
2 [機能]を押す

- 機能の選択画面になります。



3 [▲]または[▼]を押して「6,9下線」を選択し、[Enter]を押す

- 6,9下線の選択画面になります。



現在選択されている設定の横に ☒ が表示される。

4 [▲]または[▼]を押して「あり」を選択し、[Enter]を押す

- 文字入力画面に戻るので、このあと印刷します。



Memo

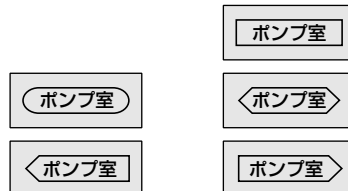
枠はページごとに別々の種類のものをつけることができます。

Memo

カット長6mm未満のときは、枠を設定できません。

■ 文字に枠をつける

下の図のようにさまざまな枠を文字に付けることができます。お買いあげ時は枠を付けないようになっています。



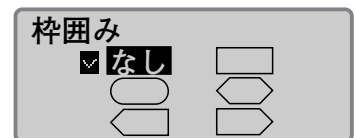
【例】文字に を付ける。

1 文字を入力する



2 [枠囲み]を押す

- 枠囲みの選択画面になります。



3 [▲]、[▼]、[◀]、[▶]を押して を選択し、[Enter]を押す

- 文字入力画面に戻るので、このあと印刷します。



選択した枠が表示される。



参考

2行または3行設定時の枠囲み

2行または3行の文字（次ページ参照）に枠をつけると、文字サイズやカット長の設定などによっては枠が正しく印刷されないことがあります。また、1行であっても大きな文字サイズの文字に枠を付けたり、印字媒体の種類によっても枠が正しく印刷されない場合があります。

Memo

行数はページごとに変えることができます。

Memo

選択できない行数の横には「×」が表示されます。

Memo

「a」は英数字入力モード、「R」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。なお、[英数/ローマ字/ひらがな]を押しても「a→R→ひ」ではなく「A→R→カ」と表示される場合は、いったん[Caps Lock/カタカナ変換]を押してから操作してください。

■ 2行または3行で印字する

つぎのように文字を2行または3行で印字することができます。お買いあげ時は1行で印字するようになっています。

ご注意

チューブ、6mmラベル、4mmI.D.Stripに2行または3行で印字すると正しく印字できないことがあります。また、文字の大きさによっても正しく印字できないことがあります。

【例】 つぎのようなラベルを作成する。

2行での印字

+ 1 2 V
- 1 2 V

3行での印字

A-1
A-2
A-3

1 [行数]を押す

- 行数の選択画面になります。



現在選択されている行数の横に☑が表示される。

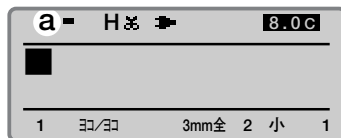
2 [▲]または[▼]を押して「2行」を選択し、[Enter]を押す

- 文字入力画面が2行になりました。



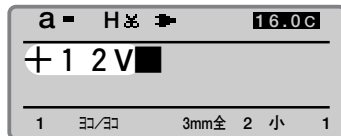
選択した行数が表示される

3 [英数/ローマ字/ひらがな]を押して英数字入力モードにする



[英数/ローマ字/ひらがな]を押すたびに「a→R→ひ」の順に表示される。「a」が英数字入力モードなので「a」を表示する。

4 「+12V」と入力する



1行目に文字が入力される。



2行または3行で印字ができない

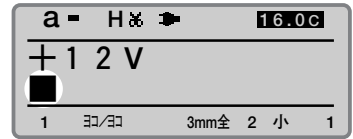
選択している文字サイズによっては、2行または3行印字が選択できないことがあります。

Memo

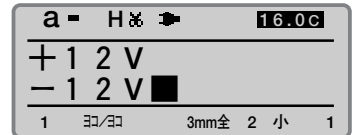
「▼」または「▶」ではなく「Enter」を押すと改ページされてしまいます。

5 「▼」または「▶」を押す

- カーソルが2行目に移動します。



6 「- 12V」と入力する



7 「Enter」を押す

- 新しいページが用意され、つぎの文字データ入力待ちとなります。



表示されているページの前にページが存在すると◀が表示される。

8 「文字」を押す

- 文字サイズの選択画面になります。



9 「▲」を押して「1.3mm全角」を選択し、「Enter」を押す

- 文字入力画面に戻ります。



10 「行数」を押す



現在選択されている行数の横に☑が表示される。

11 「▼」を押して「3行」を選択し、「Enter」を押す

- 文字入力画面が3行になりました。

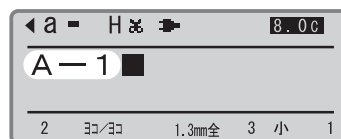


選択した行数が表示される。

Memo

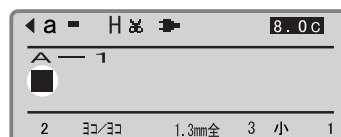
3行で印字するときは、「行数」を選択する前に文字サイズを「1.3mm」に設定してください。「1.3mm」のみ3行印字に対応しています。

12 [A-1] と入力する

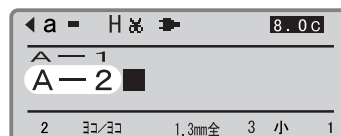


13 [▼] または [▶] を押す

- カーソルが2行目に移動します。

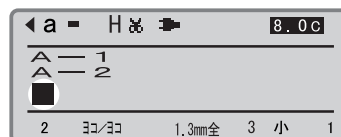


14 [A-2] と入力する



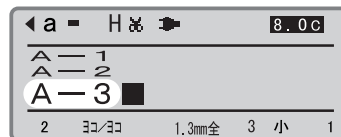
15 [▼] または [▶] を押す

- カーソルが3行目に移動します。



16 [A-3] と入力する

- これで入力されたので、このあと印刷します。



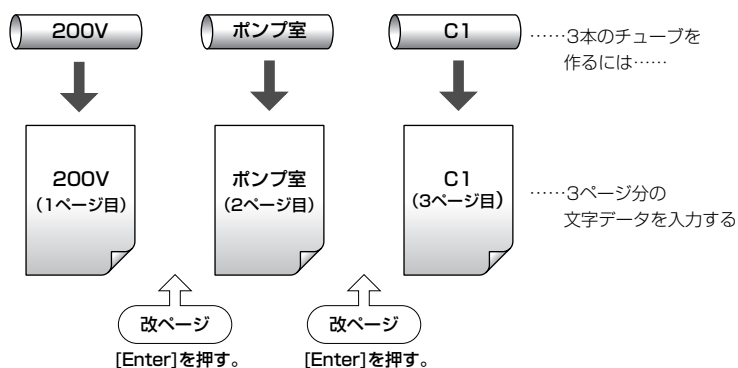
文字入力したあとに行数を変更する

文字入力をしたあとに2行を1行または3行を2行や1行に変更したいときは、作成データを変更したい行数に修正してから「行数」で設定しなおしてください。たとえば、2行を1行にしたいときは、2行目の文字をすべて削除してから「行数」を「1行」にします。

4-2 ページを編集する

■ ページについて

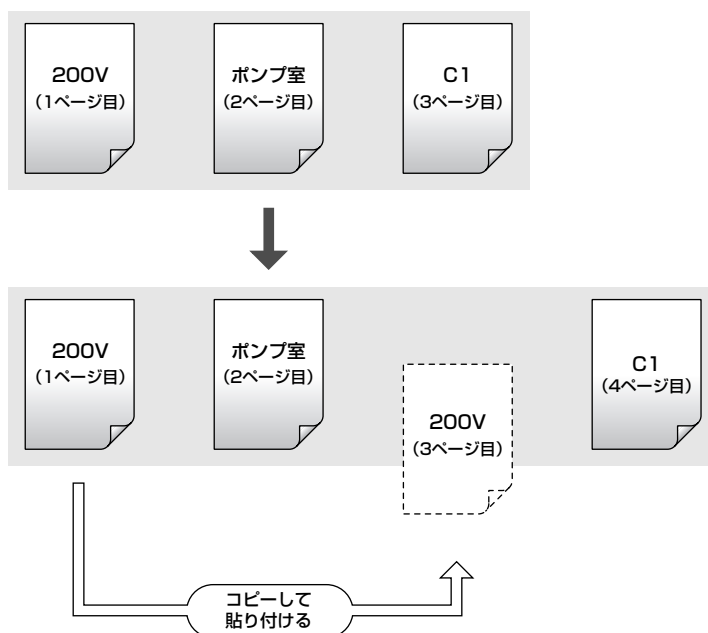
例えば、つぎのような3本のチューブを作るとしましょう。まず、文字入力画面に「200V」と入力しますが、この「200V」という文字データは自動的に1ページ目にインプットされます。入力後、[Enter]を押すと新たに2ページ目が用意され、つぎの「ポンプ室」という文字を入力することができますようになります。この[Enter]を押す操作を改ページといいます。改ページ操作をすることで新しいページが用意されるわけです。このようにして、3ページにわたって文字データを入力してはじめて3本のチューブに印字することができます。



■ ページをコピーして貼り付ける

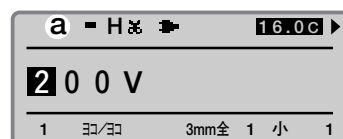
文字データを1ページ分まるごとコピーして他のページの前後に貼り付けることができます。

【例】1ページ目の文字データ「200V」を2ページ目の後に貼り付ける。



1 [Shift]+[◀]を押してコピー元となるページを表示する

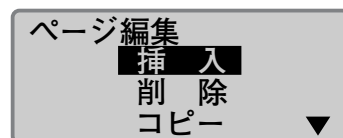
- 1ページ目の文字データを表示させます。



◀が表示されなくなるまで[Shift]+[◀]を押す。

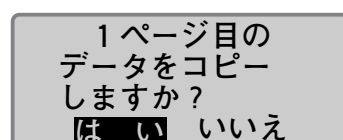
2 [編集]を押す

- ページ編集の選択画面になります。



3 [▲]または[▼]を押して「コピー」を選択し、[Enter]を押す

- コピー確認画面になります。



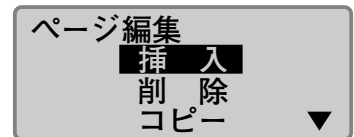
4 [◀]または[▶]を押して「はい」を選択し、[Enter]を押す

- 右の画面が表示されたあと、文字入力画面に戻ります。これで1ページ目の文字データがコピーされました。



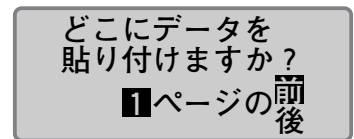
5 [編集]を押す

- ページ編集の選択画面になります。

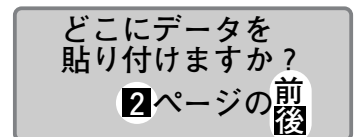


6 [▲]または[▼]を押して「ページ1」を選択し、[Enter]を押す

- コピーした文字データを何ページ目に貼り付けるのか問い合わせの画面になります。



7 文字データを貼り付ける場所（コピー先）を指定する



[◀]または[▶]でページを選択し、[▲]または[▼]を押して貼り付ける位置（前後）を選択する。

8 [Enter]を押す

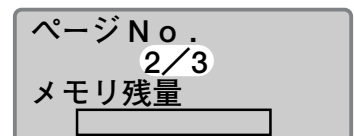
- 右の画面が表示されたあと、文字入力画面に戻ります。これで1ページ目の文字データが2ページ目の後に貼り付けられました。



参考

ページを調べる

表示されている文字データが何ページ目になるのかを知りたいときは[ページ表示]を押してください。何かのキーを押すと文字入力画面に戻ります。

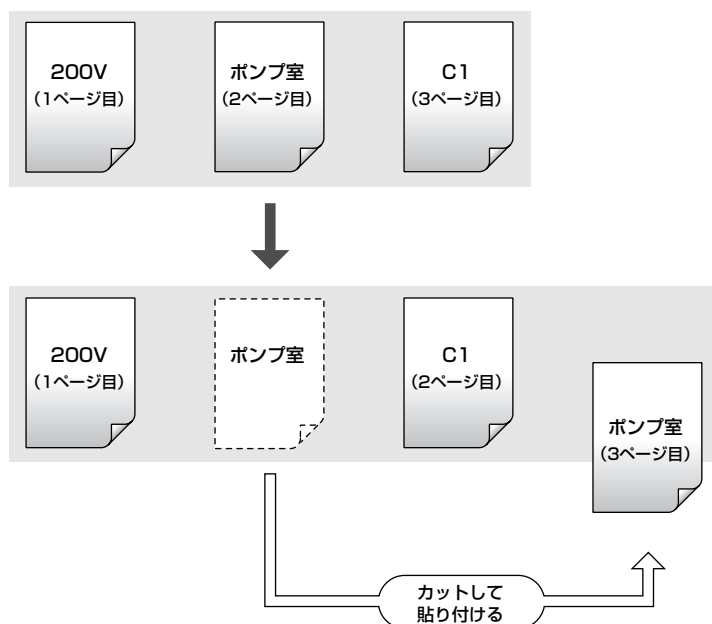


ページは全部で3ページあり、2ページ目が表示されていることを示す。

■ ページをカットして貼り付ける

文字データを1ページ分まるごとカットして他のページの前後に貼り付けることができます。ページを移動したいときにお使いください。

【例】2ページ目の文字データ「ポンプ室」をカットし、最終ページの後
に貼り付ける（移動する）。



Memo

[ページ表示]を押すと、何ページ目が表示されているのかを一目で知ることができます。何かキーを押すと文字入力画面に戻ります。

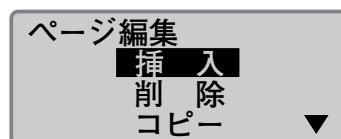
1 [Shift] + [◀]または[Shift] + [▶]を押してカットするページを表示する

- 2ページ目の文字データを表示させます。



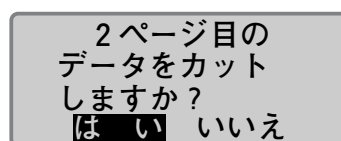
2 [編集]を押す

- ページ編集の選択画面になります。



3 [▲]または[▼]を押して「カット」を選択し、[Enter]を押す

- カット確認画面になります。



4 [◀]または[▶]を押して「はい」を選択し、[Enter]を押す

- 右の画面が表示されたあと、文字入力画面に戻ります。これで2ページ目がカットされました。

ページカット中…



5 [編集]を押す

- ページ編集の選択画面になります。

ページ編集

挿入
削除
コピー



6 [▲]または[▼]を押して「ペースト」を選択し、[Enter]を押す

- カットしたページを何ページ目に貼り付ける（移動する）のか問い合わせの画面になります。

どこにデータを
貼り付けますか？

2ページの前後

7 文字データを貼り付ける場所を指定する

どこにデータを
貼り付けますか？

2ページの前後

[◀]または[▶]でページを選択し、[▲]または[▼]を押して貼り付ける位置（前後）を選択する。

8 [Enter]を押す

- 右の画面が表示されたあと、文字入力画面に戻ります。これで2ページ目の文字データが最後のページに移動されました。

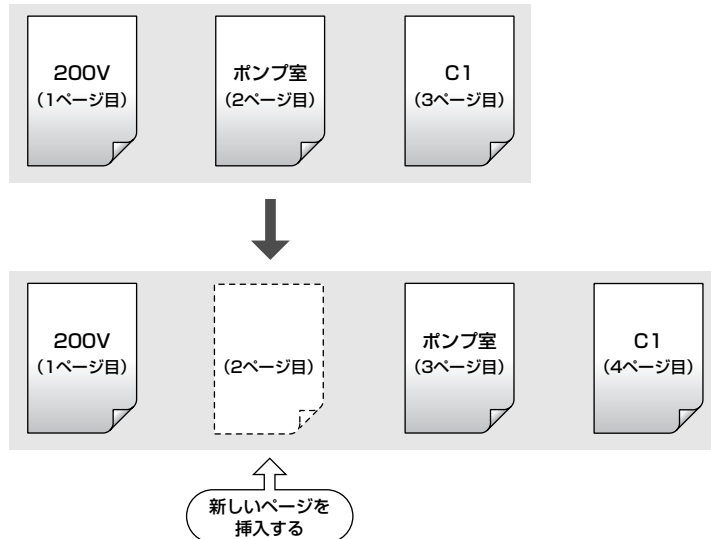
ページペースト中…



■ ページを挿入する

空白のページを挿入することができます。数ページにわたって文字データを入力したあと、特定の場所に新しいページを挿入したいときにお使いください。

【例】1ページ目と2ページ目の間に新しい空白ページを挿入する。



Memo

[ページ表示]を押すと、何ページ目が表示されているのかを一目で知ることができます。何かキーを押すと文字入力画面に戻ります。

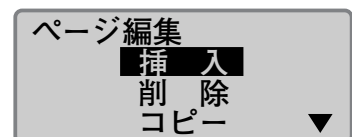
1 [Shift]+[◀]または[Shift]+[▶]を押して2ページ目を表示する

- 空白ページは、表示ページの前に挿入されるので、空白ページのつぎに来るページを表示しておきます。



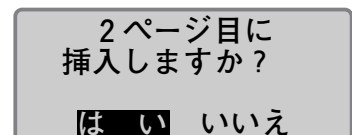
2 [編集]を押す

- ページ編集の選択画面になります。



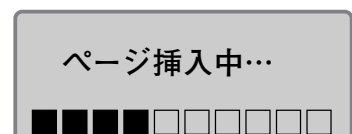
3 [▲]または[▼]を押して「挿入」を選択し、[Enter]を押す

- 挿入確認画面になります。



4 [◀]または[▶]を押して「はい」を選択し、[Enter]を押す

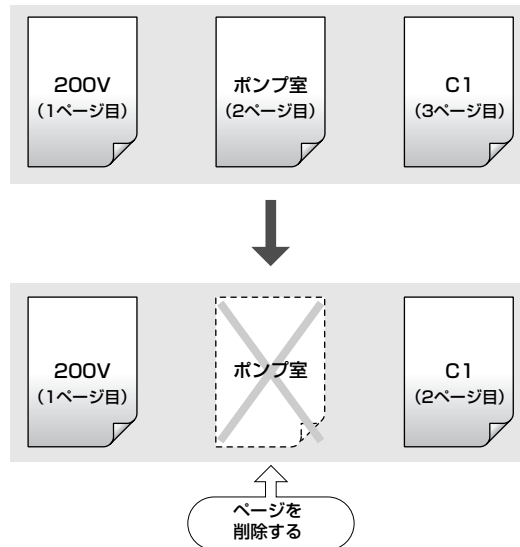
- 右の画面が表示されたあと、挿入された新しいページが表示されます。これで1ページ目と2ページ目の間に新しいページができました。



■ ページを削除する

特定のページを削除することができます。ページを削除するとそのページに入力されていた文字データも削除されます。

【例】2ページ目を削除する。



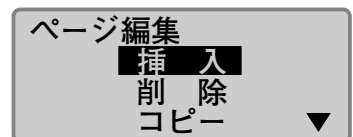
Memo

[ページ表示]を押すと、何ページ目が表示されているのかを一目で知ることができます。何かキーを押すと文字入力画面に戻ります。

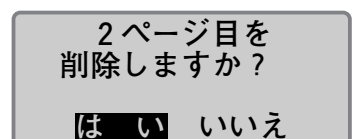
- 1 [Shift]+[◀]または[Shift]+[▶]を押して削除するページを表示する
 - 2ページ目の文字データを表示させます。



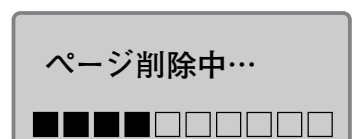
- 2 [編集]を押す
 - ページ編集の選択画面になります。



- 3 [▲]または[▼]を押して「削除」を選択し、[Enter]を押す
 - 削除確認画面になります。



- 4 [◀]または[▶]を押して「はい」を選択し、[Enter]を押す
 - 右の画面が表示されたあと、削除ページの次のページが表示されます。



Memo

1行目が前ページに、2行目が後のページに分割されます。

■ ページを分割する

1ページに2行入力したデータを2ページに分割することができます。

【例】2行で入力したデータを一括でページ分割する。

A-1	B-1	C-1
A-2		C-2



A-1	A-2	B-1	B-1	C-1	C-2
-----	-----	-----	-----	-----	-----

1 [編集]を押す

- ページ編集の選択画面になります。

ページ編集
挿入
削除
コピー ▼

2 [▲]または[▼]を押して「分割」を選択し、[Enter]を押す

- 分割設定の選択画面になります。

ページ分割
一括
ページ指定

3 [▲]または[▼]を押して「一括」を選択し、[Enter]を押す

- 分割確認画面になります。

すべてのページを
分割しますか？

はい いいえ

4 [◀]または[▶]を押して「はい」を選択し、[Enter]を押す

- 右の画面が表示されたあと、分割された最終ページが表示されます。

ページ分割中…





参考

ページ指定で分割する

[例] 3ページ目だけをページ分割する。

A-1	B-1	C-1
A-2		C-2



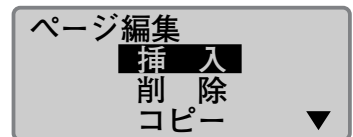
A-1	B-1	C-1	C-2
A-2			

- 1.分割したいページに■（カーソル）を移動する



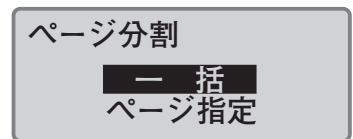
- 2.[編集]を押す

- ページ編集の選択画面になります。

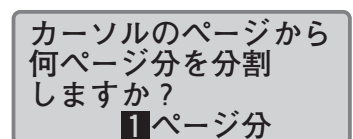


- 3.[▲]または[▼]を押して「分割」を選択し、[Enter]を押す

- 分割設定の選択画面になります。



- 4.[▲]または[▼]を押して「ページ指定」を選択し、[Enter]を押す



- 5.指定ページ分 [1] を入力し、[Enter]を押す

- 右の画面が表示されたあと、分割された最終ページが表示されます。



参考

ページ分割

- 1行入力のページを分割すると、同じデータが2ページ分作成されます。
- 3行入力のページは分割できません。
- データに連番が設定されている場合、ページ分割はできません。
- ページを分割すると、つぎの設定は標準設定に変更されます。

印刷方向: 横向き／横書き、文字サイズ: 3mm全角、文字間: 小、長さ: 自動、連続: 1

文字サイズが3mm全角になることにより、カット長が変更される場合があります。カット長が150mmを超えた分のデータは削除されます。分割前にファイル保存しておくことをおすすめします。

Memo

前のページが1行目に、後ろのページが2行目に結合されます。

■ ページを結合する

2ページ分のデータを1ページの2行に結合することができます。

【例】6ページ分のデータを一括でページ結合する。

A-1	A-2	B-1	B-2	C-1	C-2
-----	-----	-----	-----	-----	-----

↓

A-1	B-1	C-1
A-2	B-2	C-2

1 [編集]を押す

- ページ編集の選択画面になります。

ページ編集
挿入
削除
コピー ▼

2 [▲]または[▼]を押して「結合」を選択し、[Enter]を押す

- 結合設定の選択画面になります。

ページ結合
一括
ページ指定

3 [▲]または[▼]を押して「一括」を選択し、[Enter]を押す

- 結合確認画面になります。

すべてのページを
結合しますか？
はい いいえ

4 [◀]または[▶]を押して「はい」を選択し、[Enter]を押す

- 右の画面が表示されたあと、結合された最終ページが表示されます。

ページ結合中…





参考

ページ指定で結合する

[例] 3ページ目から6ページ目をページ結合する。

A-1	A-2	B-1	B-2	C-1	C-2	D-1	D-2
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

↓

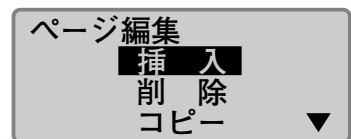
A-1	A-2	B-1 B-2	C-1 C-2	D-1	D-2
-----	-----	------------	------------	-----	-----

- 1.結合したいページに■（カーソル）を移動する



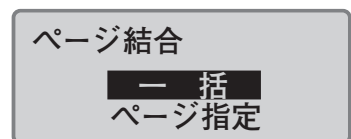
- 2.[編集]を押す

- ページ編集の選択画面になります。

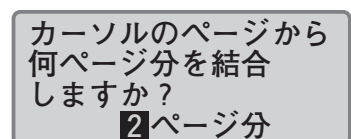


- 3.[▲]または[▼]を押して「結合」を選択し、[Enter]を押す

- 結合設定の選択画面になります。



- 4.[▲]または[▼]を押して「ページ指定」を選択し、[Enter]を押す



- 5.指定ページ分 [4] を入力し、[Enter]を押す

- 右の画面が表示されたあと、結合された最終ページが表示されます。



参考

ページ結合

- 連番設定または2行／3行の入力がされているページは、結合できません。
- ページを結合すると、つぎの設定は標準設定に変更されます。
印刷方向: 横向き／横書き、文字サイズ: 3mm全角、文字間: 小、長さ: 自動、連続: 1

文字サイズが3mm全角になることにより、カット長が変更される場合があります。カット長が150mmを超えた分のデータは削除されます。結合前にファイル保存しておくことをおすすめします。

4-3

文字データの保存、呼び出し、削除

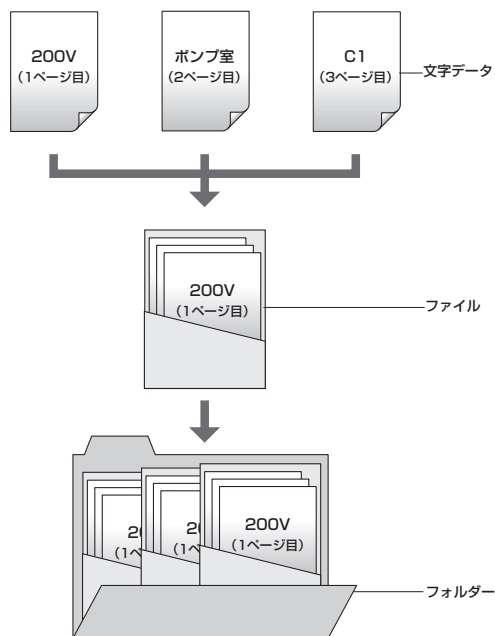
■ ファイルとフォルダー

作成した文字データは本体内部のメモリに「ファイル」という形で保存することができます。ファイルを保存するときは保存したいデータにファイル名をつけて保存します。

また、本機にはあらかじめ10個の「フォルダー」が用意されており、ファイルを保存するときにこのフォルダーの中から好きなものを一つ選んでその中に保存します。つまり、フォルダーはファイルを収めておく「入れもの」ということになります。もちろん、1つのフォルダーには複数のファイルを保存することができます*。

ファイルは削除することができますが、フォルダーは削除できません。お買い上げ時、フォルダーの名称は「フォルダー1」～「フォルダー10」となっていますが、自分で好きな名前に変えることもできます。

*1つのフォルダーには99ファイルまで保存できます。ただし、1ファイルに約60文字の文字データがある場合。



Memo

文字データは合計して約60,000文字まで保存することができます。例えば、50文字のデータを持つファイルをすでに1つ保存している場合は、残り約59,950文字の文字データを保存できるということになります。

Memo

ファイル名は8文字まで入力できます。

Memo

間違って入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

■ 文字データを保存する

作成した文字データをファイルの形で保存します。

【例】作成した文字データを「スイッチ1」というファイル名で「フォルダー2」の中に保存する。

1 [ファイル]を押す

- ファイル操作の選択画面になります。

ファイル操作
保 存
呼出し
削 除

2 [▲]または[▼]を押して「保存」を選択し、[Enter]を押す

- フォルダーの選択画面になります。

フォルダー選択
フォルダー 1
フォルダー 2
フォルダー 3 ▼

3 [▲]または[▼]を押して「フォルダ2」を選択し、[Enter]を押す

- ファイル名の入力画面になります。

a =
ファイル名入力
■

4 [英数/ローマ字/ひらがな]を押してローマ字入力モードにする

R =
ファイル名入力
■

「R」が表示されるまで[英数/ローマ字/ひらがな]を押す。

5 「すいっち1」と入力する

- [S]、[U]、[I]、[T]、[T]、[I]、[1]の順番にキーボード入力します。

R =
ファイル名入力
■
すいっち 1 ■

6 [Caps Lock/カタカナ変換]を押す

- ひらがながカタカナに変換されます。

R =
ファイル名入力
■
スイッチ 1

7 [Enter]を押す

- これで「スイッチ1」と入力されました。

R-
ファイル名入力
スイッチ1 ■

8 [Enter]を押す

- 保存確認画面になります。

スイッチ1
で保存しますか？
は ☒ いいえ

9 [◀]または[▶]を押して「はい」を選択し、[Enter]を押す

- 右の画面が表示されたあと、文字入力画面に戻ります。

保存中…



重要 保存中は電源を切らない！

ファイルの保存中に電源が切られるとデータが破壊するおそれがあります。



参考 最大99ファイルまで保存できる

一つのフォルダーには最大99ファイルまで保存できます。これを超えて保存しようすると「空き容量不足 これ以上保存できません」と表示されます。

参考 ファイルの上書き

すでに保存されているファイル名と同じ名前でファイルを保存しようすると「同一ファイル名が存在します。上書きしますか？」と表示されます。上書きしてよいときは「はい」を選択し、上書きせずに別の名前にするときは「いいえ」を選択してください。

参考 ファイル名の変更

ファイル名の変更はできません。変更したい場合は、「文字データを呼び出す」( 103ページ) を行い、新しい名前でも保存を行ってください。保存後に「文字データを削除する」( 105ページ) の操作で不要なファイルを削除してください。

■ 文字データを呼び出す

保存した文字データ（ファイル）の呼び出しには「新規呼び出し」と「追加呼び出し」の2種類があります。

新規呼び出し

文字データ（ファイル）を呼び出すと、現在作成中のデータは消去され、呼び出した文字データと入れ替わります。

追加呼び出し

呼び出した文字データ（ファイル）は、現在作成中のデータの最後に追加されます。

また、文字だけでなく、設定もいっしょに呼び出すことができます。たとえば、保存した文字データに「文字間は広め」の設定がされている場合、それぞれつぎのようになります。

「文字のみ」で呼び出した場合

文字データだけが呼び出されます。例えば、現在表示されている文字データの文字間が「標準」の場合、呼び出した文字データがもともと持っている広めの文字間設定は無視され、標準の文字間に変更されます。

「文字+設定」で呼び出した場合

文字データだけでなく、設定されている内容もいっしょに呼び出されます。例えば、現在表示されている文字データの文字間が「標準」であっても、呼び出した文字データはもとの設定（つまり「文字間は広め」）で表示されます。ただし、「追加呼び出し」をした場合は、すでに入力されている文字データの設定内容は変更されません。

【例】「フォルダー2」の中に入っている「スイッチ1」というファイル名で保存されている文字データを、現在表示されている文字データに追加する（設定内容もいっしょに呼び出す）。

1 [ファイル]を押す

- ファイル操作の選択画面になります。

ファイル操作
保存
呼び出し
削除

2 [▲]または[▼]を押して「呼び出し」を選択し、[Enter]を押す

- 呼び出しの選択画面になります。

呼び出し
新規呼び出し
追加呼び出し

Memo

ファイルが1つも保存されていないときは、「ファイルがありません」と表示され、文字入力画面に戻ります。データの大きさにより、追加呼び出しできないファイルには、ファイル名の後に※が表示されます。

- 追加呼び出しの選択画面になります。

追加呼出し
文字のみ
文字+設定

●フォルダーの選択画面になります。

フォルダー選択
フォルダー 1
フォルダー 2
フォルダー 3 ▼

●ファイルの選択画面になります。

ファイル選択 スイッチ 1

●追加呼び出し確認画面になります。

スイッチ1
の文字+設定を
追加呼出ししますか？
は い いいえ

- 右の画面が表示されたあと、呼び出した文字データの最終ページが表示されます。

呼出し中...

選択したフォルダー内にファイルが1つも保存されていないときは、「選択したフォルダー内にファイルはありません」と表示され、フォルダー選択画面に戻ります。

■ 文字データを削除する

保存した文字データ（ファイル）を削除します。削除には「1ファイル」、「フォルダー内」、「全ファイル」の3種類があります。

1ファイル

フォルダーの中の1ファイルのみを削除します。

フォルダー内

フォルダーの中にあるすべてのファイルを削除します。

全ファイル

すべてのフォルダーの中にあるファイルを全部削除します。

【例】「フォルダー2」の中に入っている「スイッチ1」というファイルを削除する。

1 [ファイル]を押す

- ファイル操作の選択画面になります。

ファイル操作
保存
呼出し
削除

2 [▲]または[▼]を押して「削除」を選択し、[Enter]を押す

- 削除の選択画面になります。

削除
1ファイル
フォルダー内
全ファイル

3 [▲]または[▼]を押して「1ファイル」を選択し、[Enter]を押す

- フォルダーの選択画面になります。

フォルダー選択
フォルダー1
フォルダー2
フォルダー3 ▼

4 [▲]または[▼]を押して「フォルダー2」を選択し、[Enter]を押す

- ファイルの選択画面になります。

ファイル選択
スイッチ1

Memo

ファイルが1つも保存されていないときは、「ファイルがありません」と表示され、文字入力画面に戻ります。

Memo

「全ファイル」を選択したときは、「全てのファイルを削除しますか?」と表示されますので、「はい」を選択して、[Enter]を押します。「フォルダー内」を選択したときは、操作4に進んでフォルダーを選択の上、「はい」を選択して、[Enter]を押します。

Memo

選択したフォルダー内にファイルが1つも保存されていないときは、「選択したフォルダー内にファイルはありません」と表示され、フォルダー選択画面に戻ります。

5 [▲]または[▼]を押して「スイッチ1」を選択し、[Enter]を押す

- 削除確認画面になります。

スイッチ1
を削除しますか？

は い いいえ

6 [◀]または[▶]を押して「はい」を選択し、[Enter]を押す

- 右の画面が表示されたあと、文字入力画面に戻ります。

削除中…



■ フォルダー名を変更する

本機にはあらかじめ「フォルダー1」～「フォルダー10」の10個のフォルダーが用意されていますが、これらを好きな名前に変えることができます。

【例】「フォルダー2」の名前を「配電盤」に変更する。

1 [ファイル]を押す

- ファイル操作の選択画面になります。

ファイル操作
保 存
呼出し
削 除

2 [▲]または[▼]を押して「保存」を選択し、[Enter]を押す

- フォルダーの選択画面になります。

フォルダー選択
フォルダー 1
フォルダー 2
フォルダー 3 ▼

3 [▲]または[▼]を押して「フォルダー2」を選択し、[スペース]を押す

- フォルダー名の入力画面になります。

R =
フォルダー名入力
フォルダー 2

4 [英数/ローマ字/ひらがな]を押してローマ字入力モードにする

- [Del]を押して「フォルダー2」の文字をすべて削除します。

R =
フォルダー名入力
■

[R]が表示されるまで[入力]を押す。

5 「配電盤」と入力する

- [H]、[A]、[I]、[D]、[E]、[N]、[N]、[B]、[A]、[N]、[N]の順番にキーボード入力します。

R =
フォルダー名入力
■
はいでんばん■

6 [スペース]を押す

- 漢字に変換されます。

R =
フォルダー名入力
■
配電盤

7 [Enter]を押す

- これで「配電盤」と入力されました。

R =
フォルダー名入力
配電盤■

Memo

フォルダー名は8文字まで入力できます。

Memo

間違って入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

8 [Enter]を押す

- フォルダ-の選択画面に戻ります。

フォルダ-選択
フォルダ-1
配電盤
フォルダ-3 ▼

9 [Shift] + [取消]を押す

- 文字入力画面に戻ります。



参考

フォルダ-名をもとに戻す

変更したフォルダ-名を「フォルダ-1」～「フォルダ-10」のもの
との名前に戻すときはつぎのようにします。

【例】「配電盤」のフォルダ-名を「フォルダ-2」に戻す。

1. [ファイル]を押す

- ファイル操作の選択画面になります。

ファイル操作
保存
呼出し
削除

2. [▲]または[▼]を押して「保存」 を選択し、[Enter]を押す

- フォルダ-の選択画面になります。

フォルダ-選択
フォルダ-1
配電盤
フォルダ-3 ▼

3. [▲]または[▼]を押して「配電 盤」を選択し、[スペース]を押す

- フォルダ-名が表示されます。

R =
フォルダ-名入力
配電盤

4. [Del]を押してすべての文字を消す

R =
フォルダ-名入力
■

5. [Enter]を押す

- これでもとのファイル名に戻りました。

フォルダ-選択
フォルダ-1
フォルダ-2
フォルダ-3 ▼

6. [Shift] + [取消]を押す

- 文字入力画面に戻ります。

4-4

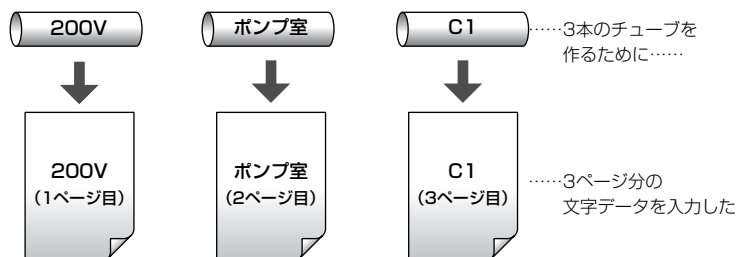
いろいろな印刷

Memo

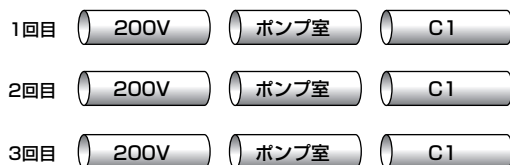
印刷本数は最大10本(枚)です。

■ 印刷本数（枚数）と印刷範囲

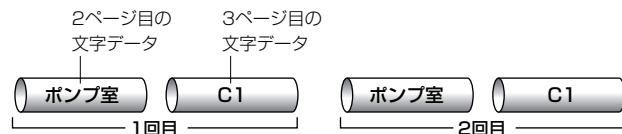
例えば、3本のチューブを作るためにつぎのような文字データを入力したとします。



このとき印刷本数（枚数）を「3」にセットするとつぎのようなチューブが作成されます。つまり、3ページ分の文字データが3回にわたって印刷され、合計9本のチューブが作成されます。



また、印刷本数（枚数）を「2」にセットし、印刷範囲を「開始ページ:2 終了ページ:3」とセットすると、つぎのようなチューブが作成されます。



印刷本数（枚数）は1～10本（枚）を指定でき、印刷範囲は「全ページ」、「カーソルページ」、「指定ページ」のいずれかを選択できます。

全ページ

全ページの文字データが印刷対象となります。

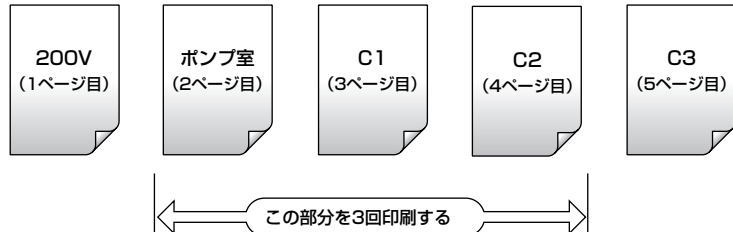
カーソルページ

カーソルのあるページの文字データだけが印刷の対象となります。

指定ページ

「開始ページ」と「終了ページ」で指定したページ範囲だけを印刷することができます。例えば、5ページ目から12ページ目までを印刷したいときは「開始ページ:5」、「終了ページ:12」とセットします。

【例】つぎの文字データを作成し、2ページ目から4ページ目までの文字データを3回印刷して作例のようなチューブ(内径3.0mm)を作る。



作例



1 [印刷]を押す

- 印字媒体の選択画面になります。

印字媒体

☒ チューブ
熱収縮チューブ
ラベル ▼

現在選択されている印字媒体の横に ☒ が表示される。

2 [▲]または[▼]を押して「チューブ」を選択し、[Enter]を押す

- チューブサイズ(内径)の選択画面になります。

チューブサイズ

Φ 2.5 mm
☒ Φ 3.0 mm
Φ 4.0 mm ▼

現在選択されているチューブサイズの横に ☒ が表示される。

3 [▲]または[▼]を押して「Φ3mm」を選択し、[Enter]を押す

- 印刷本数と印刷範囲の設定画面になります。

印刷本数: 1 0 %

[1 ~ 10]

印刷範囲: 全ページ

残量

4 [▲]または[▼]を押して「印刷本数」を選択し、[3]を押す

印刷本数: 3 0 %

[1 ~ 10]

印刷範囲: 全ページ

残量

Memo

間違えて入力したら
[Back Space]を押して数字を
入力しなおします。

5 [▲]または[▼]を押して「印刷範囲」を選択する

印刷本数：3 0 %
[1 ~ 10]
印刷範囲：全ページ

6 [◀]または[▶]を押して「指定ページ」を選択する

印刷本数：3 0 %
印刷範囲：指定ページ
開始ページ：1
終了ページ：1

7 [▲]または[▼]を押して「開始ページ」を選択し、[2]を押す

印刷本数：3 0 %
印刷範囲：指定ページ
開始ページ：2
終了ページ：1

8 [▲]または[▼]を押して「終了ページ」を選択し、[4]を押す

印刷本数：3 0 %
印刷範囲：指定ページ
開始ページ：2
終了ページ：4

Memo

間違えて入力したら
[Back Space]を押して数字を入力しなおします。

Memo

印刷を中止する
[取消]を押すと、「印刷を中止します。」の表示がされ、印字が途中で中断されます。このとき、チューブはカット後、排出されます。

Memo

チューブが詰まったときは？
「ビビビッ」と音がするまで[取消]を押してください。すぐに動作が停止されます。この場合、チューブはカットも排出もされません。「チューブやラベルテープが詰まったら」(P. 138ページ)を参考にして詰まったチューブを取り出します。

9 [Enter]を押す

●印刷が始まります。

Hx
チューブ Φ 3.0 mm
印刷中...
印刷中止 [取消]

■ 印刷の向きを変える

文字の向きをつぎのように変えて印刷することができます。入力が済んだ後に、ページ単位または全ページ一括で向きを変えることもできます。



Memo

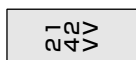
文字を入力してから、「縦向き/横書き」を選択することはできません。いったん、文字データをすべて削除してから、はじめに「縦向き/横書き」を選択し、その後文字を入力してください。

Memo

セットする印字媒体のサイズや印字文字の大きさによっては正しく印字できないことがあります。

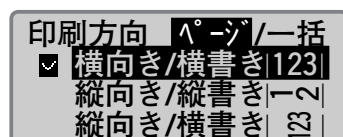
ただし、入力後にページ単位で向きを切替えるとき、切替え後にページ内に入りきらない文字がある場合は、「ページ」選択時に向きの選択ができません。また、入力後に「縦向き/横書き」に変更することはできません。

【例】 つぎのようなラベルテープ（幅12mm）を作る。



1 [方向]を押す

- 印刷方向の選択画面になります。



「ページ」が選択されていることを確認する。

2 [▲]または[▼]を押して「縦向き/縦書き」を選択し、[Enter]を押す

- 文字入力画面になります。



3 [行数]を押す

- 行数の選択画面になります。



現在選択されている行数の横に☑が表示される。

4 [▲]または[▼]を押して「2行」を選択し、[Enter]を押す

- 文字入力画面が2行になりました。



「a」が表示されるまで [英数/ローマ字/ひらがな] を押す。

Memo

[▼]または[▶]でなく[Enter]を押すと改ページされてしまいます。

5 「12V」と入力する

- [1]、[2]、[Shift]+[V]の順番にキーボード入力します。



入力した文字が横に倒れて表示されることを確認する。

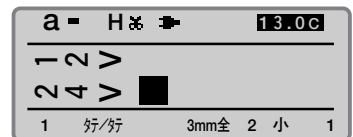
6 [▼]または[▶]を押す

- カーソルが2行目に移動します。



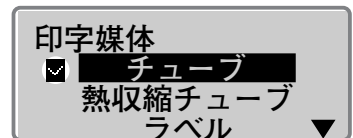
7 「24V」と入力する

- [2]、[4]、[Shift]+[V]の順番にキーボード入力します。



8 [印刷]を押す

- 印字媒体の選択画面になります。



現在選択されている印字媒体の横に☑が表示される。

9 [▲]または[▼]を押して「ラベル」を選択し、[Enter]を押す

- ラベルテープサイズ（幅）の選択画面になります。



現在選択されているラベルテープサイズの横に☑が表示される。

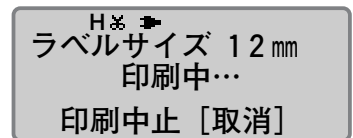
10 [▲]または[▼]を押して「12mm」を選択し、[Enter]を押す

- 印刷本数と印刷範囲の設定画面になります。



11 [Enter]を押す

- 印刷が始まります。



参考

印刷の向きを一括で変えるときのご注意

印刷方向の設定を「横向き/横書き」と「縦向き/縦書き」とに切替えるとき、ページ内に入りきれない文字は削除されます。特に、複数ページのデータを「一括」で切替えるときは、全ページの入りきらない文字が一括ですべて削除されてしまいますので、ご注意ください。印刷の向きを変更する前にファイル保存しておくことをおすすめします。

Memo

カット長や文字配置はページごとに変えることができます。

Memo

使用する印字媒体の材質や使用環境などによって、カット長や余白はセットした数値から多少ズれることがありますので、あくまでも目安としてください。特に、チューブの場合は材質によって大きくズれることがあります。なお、ズレを調整するときは「印字開始位置と縦位置を微調整する」(▶122ページ)をごらんください。

Memo

文字サイズによっては、指定できないカット長があります。

■ カット長や文字配置を変える

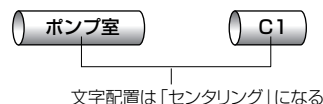
お買いあげ時の設定では、チューブやラベルテープは印字が終わると、1本(枚)ごとに「半切り」の状態で排出されます。半切りされた1本分の長さを「カット長」といい、カット長の設定は「自動」と「指定」のいずれかを選ぶことができます。一方、チューブやラベルテープに印字される文字の位置を「文字配置」といい、中央に印字する「センタリング」と左端から詰めて印字する「左寄せ」があります。



自動

入力した文字数、文字の大きさ、文字の間隔から最適のカット長が自動的に選択されます。文字配置は「センタリング」となります。お買いあげ時の設定です。

文字数、文字の大きさ、文字間によってチューブの長さが自動的に決まるため、文字数が異なると長さも変わる。



指定

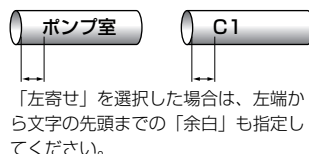
カット長を自分で指定します。カット長の指定は、2～150mmの範囲を0.25mm単位で設定することができます。例えば、文字数が4文字のチューブと2文字のチューブを作成する場合、「自動」の設定では2文字チューブの方が短くカットされてしまいます(上図)。このような場合、「指定」を選んで4文字チューブのカット長をセットしておけば、2文字チューブも4文字チューブも同じ長さにできます。文字配置は「センタリング」と「左寄せ」のいずれかを選択します。

カット長を指定すれば文字数が変わってもチューブの長さを同じにできる。

●文字配置が「センタリング」の場合



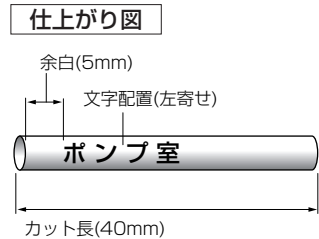
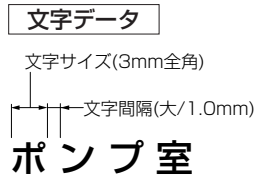
●文字配置が「左寄せ」の場合



カット長の指定での印刷

カット長を8.5mm未満に設定した印刷では、印字媒体によって仕様が異なります。「機能一覧」(▶175ページ)をごらんください。

【例】つぎの文字データをカット長を40mm、記名板印字エリアは「標準」、文字配置は「左寄せ」、余白は5mmで印字する。



Memo

カット長を8.5mm未満に設定した印刷では、印字媒体によって仕様が異なります。「機能一覧（175ページ）」をご覧ください。

Memo

文字サイズによっては、指定できないカット長があります。

Memo

文字を入力してから全ページのカット長を変更する場合は、[▲]または[▼]を押して「一括」を選択してください。

Memo

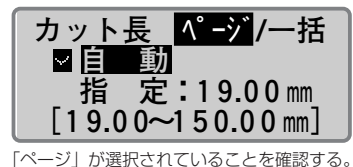
記名板印字エリア「標準」では、左寄せの余白は2～5mmまで設定できます。「拡張」では、左寄せの余白は設定できません。0mmとなります。

Memo

記名板印字エリア「拡張」では、印字媒体は「記名板」のみとなります。

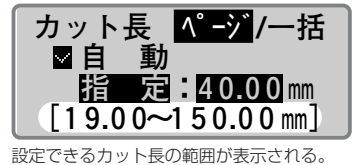
1 [カット長]を押す

- カット長の選択画面になります。



「ページ」が選択されていることを確認する。

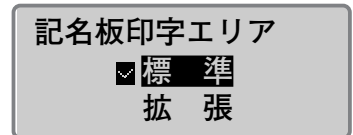
2 [▲]または[▼]を押して「指定」を選択し、「40」(カット長)を入力する



設定できるカット長の範囲が表示される。

3 [Enter]を押す

- 記名板印字エリアの設定画面になります。

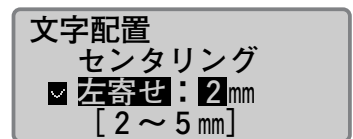


4 [▲]または[▼]を押して「標準」を選択し、[Enter]を押す

- 文字配置の選択画面になります。

5 [▲]または[▼]を押して「左寄せ」を選択し、「5」(余白)を入力して[Enter]を押す

- 文字入力画面に戻ります。



6 文字データを入力し、印刷操作をする



注意 カット長を一括で変える

カット長を一括で変更すると、指定したカット長を超えた文字は削除されます。また6mm全角のページが混在していても、2.00mmなどの設定をすると、文字がすべて削除されます。そしてこのページは一時的にカット長2.00mmで文字サイズ6mm全角の設定となってしまう、文字が入力できません。カット長を「自動」に設定するか、文字サイズを変更してから文字を入力してください。

カット長を一括で変更する場合は、変更前にファイル保存しておくことをおすすめします。

Memo

チューブは微調整してもあまり効果が得られない場合があります。

Memo

マイナスの補正では、補正値の入力はできても、補正のスペース(文字以外の部分)がなくなった場合は、それ以上の補正がからなくなります。

Memo

内部的に扱われる補正最小単位は0.085mmです。

Memo

間違えて入力したら
[Back Space]を押して数字を入力しなおします。



記名板印字エリアを拡張する

記名板印字エリア「拡張」での操作は、「短いピッチ幅で印刷する」(P125ページ)をごらんください。

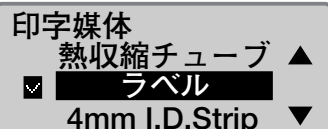


長さを微調整する

設定した長さに対して±5%の調整ができます。

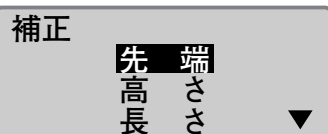
1.[補正]を押す

- 印字媒体の選択画面になります。



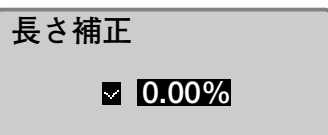
2.[▲]または[▼]を押して印字媒体を選択し、[Enter]を押す

- [Enter]を押すと、補正の選択画面になります。



3.[▲]または[▼]を押して「長さ」を選択し、[Enter]を押す

- 長さ補正の選択画面になります。



4.[◀]または[▶]を押して補正値を選択し、[Enter]を押す

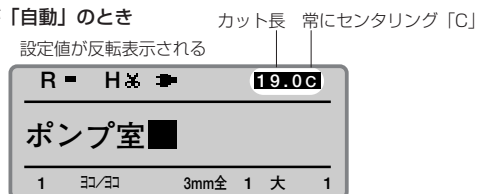
- 補正値は、[+]、[-] キーや数字キーでも設定できます。



カット長と文字配置の画面表示

カット長や文字配置の設定値は画面で確認することができます。

- カット長が「自動」のとき



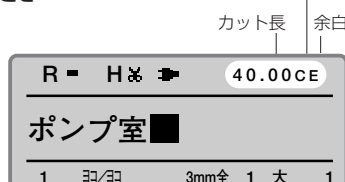
- カット長が「指定」で記名板印字エリア「標準」のとき

センタリングのときは「C」、
左寄せのときは「L」



- カット長が「指定」で記名板印字エリア「拡張」のとき

センタリングのときは「C」、
左寄せのときは「L」



Memo

連続印刷はページごとに2～100本(枚)まで設定できます。

■ 特定のページを複数印刷する（連続印刷）

例えば、つぎのようなチューブを作るとします。



図1

このとき、以下のような文字データを作成すればよいのですが、もし「ポンプ室」のチューブが3本ではなく20本だとしたらどうでしょう？「ポンプ室」の文字データを20ページにわたって作成するのは大変ですし、メモリ容量もその分少なくなってしまう。



図2

このようなときは、つぎのような文字データを作成して2ページ目「ポンプ室」の文字データだけを3本（3回）印刷します。このように、特定のページを複数回印刷することを「連続印刷」といいます。

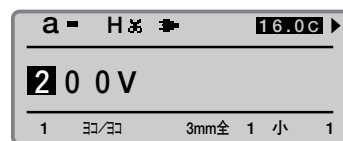


図3

このページを3回印刷する

【例】図1のチューブを作成する。

1 図3の文字データを入力する



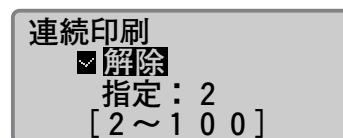
2 連続印刷したいページを表示する

- [Shift] + [◀] または [Shift] + [▶] を押して「ポンプ室」が入力されている画面を表示します。

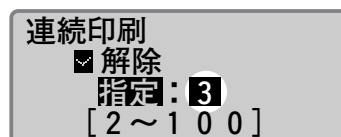


3 [連続]を押す

- 連続印刷の選択画面になります。



4 [▲]または[▼]を押して「指定」を選択し、「3」(連続印刷回数)を入力する



設定できる連続印刷の回数

5 [Enter]を押す

- 文字入力画面に戻ります。



設定した連続印刷の回数が表示される

6 印刷操作をする



参考

連続印刷をやめる

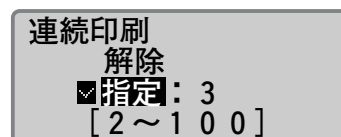
連続印刷を解除するときはつぎのようにします。

1. 連続印刷をやめたいページを表示する



2. [連続]を押す

- 連続印刷の選択画面になります。



3. [▲]または[▼]を押して「解除」を選択し、[Enter]を押す

- 文字入力画面に戻ります。



「1」(連続印刷の回数)が表示されたことを確認する



参考

連続印刷の設定は新規ページにも適用される

前ページの図3を見てください。「ポンプ室」のページではなく、「C1」のページに連続印刷の設定をしたとします。その後、「C1」ページのあとにページを作ると、新しくできたページには自動的に「C1」ページと同じ連続印刷設定が適用されます。

Memo

連番は1ページに1カ所のみ設定できます。

■ 連番を持つ文字データを印刷する（連番印刷）

例えば、つぎのようなチューブを作るとします。



図1

このように、文字データ中で1つずつ増加（減少）している部分（1～10の数字部分）を「連番部」といいます。一方、文字データの中で共通している部分を「共通部」といいます（図2）。

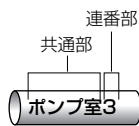


図2

図1のように連番部を持つチューブを印字するときは、わざわざ「ポンプ室1」～「ポンプ室10」のデータを10ページにわたって作成する（図3）のではなく、図4のように共通部と連番部に分かれた文字データを1ページだけ作成して印刷します。これを「連番印刷」といいます。



図3

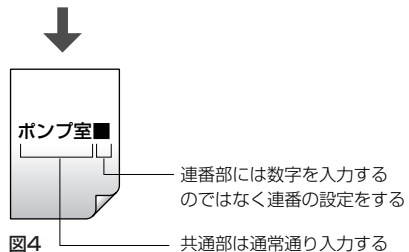


図4

【例】図1のチューブを作成する。

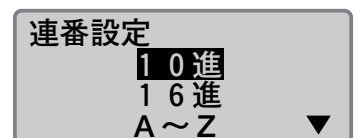
1 「ポンプ室」と入力する

- 共通部の入力ができました。



2 [連番]を押す

- 連番設定の画面になります。



Memo

「10進数」の連番のほかに「16進数」やアルファベットによる連番を設定することもできます。詳しくは、参考「いろいろな連番印刷」（次ページ）をご覧ください。

Memo

間違えて入力したら

[Back Space]を押して数字を入力しなおします。

Memo

降順の連番設定

例えば「開始値」に「10」を入力し、「終了値」に「5」を入力すると、10、9、8、…6、5のような降順の連番を設定できます。

Memo

「桁合わせ」については参考「桁合わせ」（次ページ）をご覧ください。

Memo

連番をやめたいときは、連番部を[Back Space]で消します。

3 [▲]または[▼]を押して「10進」を選択し、[Enter]を押す

- 10進数の連番設定画面になります。
- 連番の開始値と終了値の設定画面になります。

連番設定（10進）

開始値：0

終了値：0

[0～9 9 9 9]

4 [▲]または[▼]を押して「開始値」を選択し、「1」を入力する

連番設定（10進）

開始値：1

終了値：0

[0～9 9 9 9]

設定できる連番の範囲

5 [▲]または[▼]を押して「終了値」を選択し、「10」を入力する

連番設定（10進）

開始値：1

終了値：10

[0～9 9 9 9]

6 [Enter]を押す

- 桁合わせの設定画面になります。

桁合わせ

しない

ゼロ

空白

7 [▲]または[▼]を押して「しない」を選択し、[Enter]を押す

- 連番部の入力できました。

R H% 22.0C

ポンプ室 1 1

1 30/30 3mm全 1 小 1

連番部は 1 で示される

8 印刷操作をする

- 作成した文字データは1ページだけですが、「ポンプ室1」～「ポンプ室10」の文字データが印字されます。



複数ページの印刷

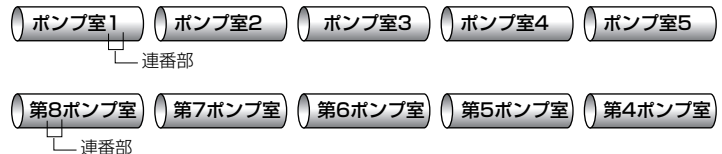
入力データが複数ページにわたり、文字を消したなどにより未入力のパージがある場合は、未入力のパージは空送り（空白を印字）します。



いろいろな連番印刷

つぎのようないろいろな連番印刷をすることができます。連番印刷の方法は前ページの操作3で選択します。

連番部が10進数の場合 → 操作3で「10進」を選択する。



連番部が16進数の場合 → 操作3で「16進」を選択する。



連番部がアルファベットの場合 → 操作3で「A～Z」または「a～z」を選択する。



桁合わせ

連番部が「8～12」の文字データの場合「8～9」と「10～12」では桁数が異なります。このとき、「8～9」の数字に0や空白を挿入して2桁にし、「10～12」の文字データと桁を合わせることが出来ます。これを「桁合わせ」といいます。なお、連番の桁数が全部同じ場合や連番にアルファベットを選んだ場合は、桁合わせの設定画面（前ページの操作7）はスキップされます。

「桁合わせ」をしない場合



「桁合わせ」をした場合

●「0」を挿入したとき



●空白を挿入したとき



Memo

印字開始位置は印字媒体ごとに設定することができます。

■ 印字開始位置と縦位置を微調整する

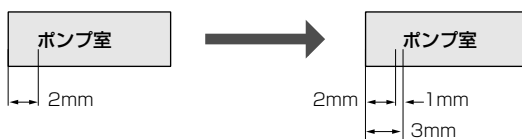
印刷時、印字媒体の種類やサイズを正しく選択しているにもかかわらず、使用環境や印字媒体の材質、サイズによっては、以下のケースのように、印字開始位置や縦位置がずれて、文字を正しい位置に印字できない場合があります。このようなとき、印字位置をわずかに上下・左右にずらすことができます。

ケース1

文字配置を「左寄せ」、余白3mmで設定したが、印字すると余白が2mmになる。

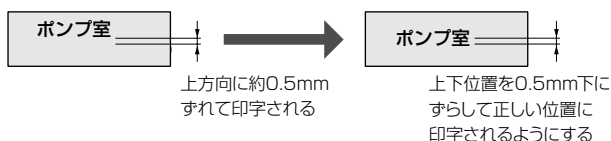
印字開始位置が左にずれ、
余白が2mmになってしまう

印字開始位置を1mm右にずらして
余白が3mmになるようにする



ケース2

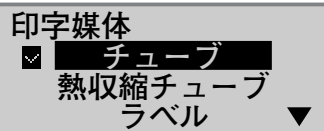
縦位置が上方向に約0.5mmずれてしまう。



【例】ラベルテープ（幅12mm）印字のとき、上記の「ケース1」「ケース2」の現象が同時に発生した。これを調整する。

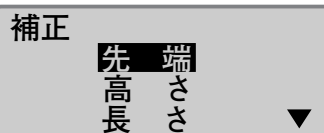
1 [補正]を押す

- 印字媒体の選択画面になります。まず、印字開始位置を1mm右にずらす設定をします。



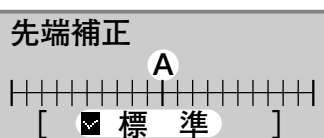
2 [▲]または[▼]を押して「ラベル」を選択し、[Enter]を押す

- 調整の対象となる印字媒体を選択します。
- [Enter]を押すと、補正の選択画面になります。



3 [▲]または[▼]を押して「先端」を選択し、[Enter]を押す

- 先端補正の選択画面になります。



印字開始位置が標準設定（調整なし）であることが表示される。

Memo

[◀]を押すと印字開始位置を左方向に調整できます。印字開始位置は左右に2.5mmまで調整できます。

Memo

縦位置も印字媒体ごとに設定することができます。高さは上下に0.5mmまで調整できます。

Memo

印字媒体が4mmI.D.Stripとラップアラウンドテープのときはサイズの選択はスキップされます。

Memo

[▲]を押すと縦位置を上方向に調整できます。

4 [▶]を4回押して、「右 1.0mm」を表示する

- [▶]を押すたびに0.25mmずつ数値が上がります。



印字開始位置が「右 1.0mm」であることを確認する。

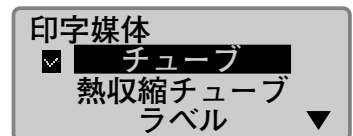
5 [Enter]を押す

- 文字入力画面に戻ります。これで印字開始位置が右に1mmずれました。つぎに、縦位置を下に0.5mmずらす設定をします。



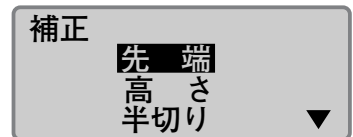
6 [補正]を押す

- 印字媒体の選択画面になります。



7 [▲]または[▼]を押して「ラベル」を選択し、[Enter]を押す

- 補正の選択画面になります。



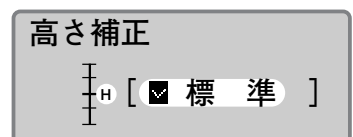
8 [▲]または[▼]を押して「高さ」を選択し、[Enter]を押す

- 印字媒体のサイズ選択画面になります。



9 [▲]または[▼]を押して「12mm」を選択し、[Enter]を押す

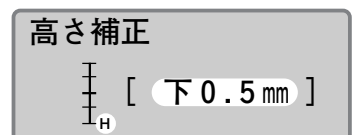
- 調整の対象となる印字媒体のサイズを選択します。
- [Enter]を押すと、高さ補正の選択画面になります。



縦位置が標準設定（調整なし）であることが表示される。

10 [▼]を2回押して、「下 0.5mm」を表示する

- [▼]を押すたびに0.25mmずつ数値が下がります。



縦位置が「下0.5mm」であることを確認する。

11 [Enter]を押す

- 文字入力画面に戻る。これで縦位置が下に0.5mmずれました。

Memo

この機能はページごとに変えることはできません。1行設定または3行設定のページにはセンターラインは印刷されません。

■ センターラインを印刷する

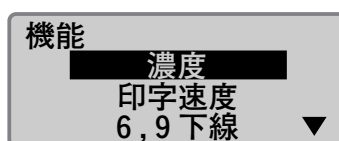
2行で印字するときに、1行目と2行目の間にセンターライン（実線）を印刷することができます。

【例】 つぎのようなセンターラインを印刷する。

+12V
-12V

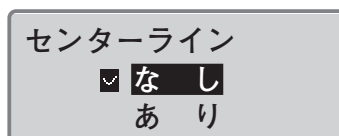
1 [機能]を押す

- 機能の選択画面になります。



2 [▲]または[▼]を押して「センターライン」を選択し、[Enter]を押す

- センターラインの選択画面になります。



3 [▲]または[▼]を押して「あり」を選択し、[Enter]を押す

- 文字入力画面に戻ります。これでセンターラインが設定されました。

Memo

記名板印字エリア「拡張」では、
印字媒体は「記名板」のみとな
ります。

■ 短いピッチ幅で印刷する

記名板印字エリア「拡張」を使用し、文字サイズや行数の設定を行うこと
により、短いピッチ幅に文字を多く挿入できます。

- ピッチ幅の短い端子台向けの記名板に印字する

【例】ピッチ幅5mmの端子台用に次のような記名板を作成します。

- 5mmピッチ内に5文字を印字する



1 [文字]を押す

- [▲]または[▼]を押して「2mm
半角」を選択します。



2 [行数]を押す

- [▲]または[▼]を押して「2行」
を選択します。



現在選択されている行数の横に▼が表示さ
れる。

3 [カット長]を押す

- [▲]または[▼]を押して「指定」
を選択します。

[5] と押し、[5] mmとカット長を入
力します。

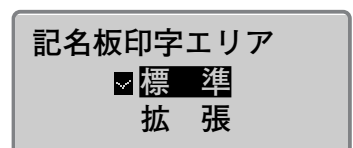
[Enter] を押します。



設定できるカット長の範囲が表示される。

記名板印字エリア

- [▲]または[▼]を押して「拡張」を
選択します。[Enter] を押します。

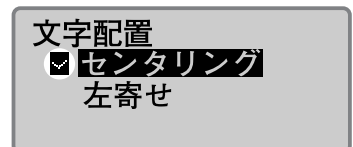


- [メッセージが表示されます。
[Enter] を押します。

記名板印字エリア「拡張」では、印字媒体
は記名板のみとなります。

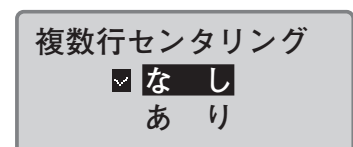
文字配置

- [▲]または[▼]を押して「センタリ
ング」を選択します。[Enter] を
押します。



複数行センタリング

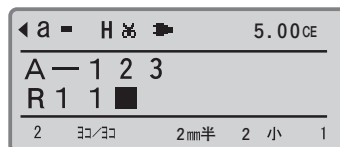
- [▲]または[▼]を押して「あり」を
選択します。[Enter] を押します。



4 文字を入力する

- [A-123]、[▼]、「R11」

これで入力されたので、このあと印刷します。



- 1.3mm全角文字のみ、3行の設定ができます。
- 設定されるカット長により文字数に制限があります。



文字数を増やしたい

記名板印字エリアで「標準」を選択した場合、印字の左右に自動的に余白が挿入されます。「拡張」を選択した場合、余白が挿入されず、カット長のすべてが印字エリアとなります。



印字結果を微調整したい

記印字結果を微調整したい場合は、「長さを微調整する」(P116ページ)をごらんください。

■ 文字配置と複数行センタリングを設定しての印字結果

文字配置のセンタリングと複数行センタリングでは、設定により次のような印字結果となります。

入力文字

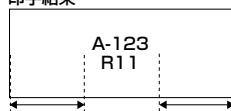
1 行目 : A-123
2 行目 : R11



ケース1

カット長「30mm」、記名板印字エリア「標準」、文字サイズ「2mm半角」、行数「2行」、文字配置「センタリング」、複数行センタリング「あり」

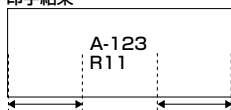
印字結果



ケース2

カット長「30mm」、記名板印字エリア「標準」、文字サイズ「2mm半角」、行数「2行」、文字配置「センタリング」、複数行センタリング「なし」

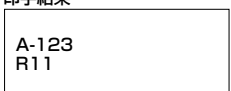
印字結果



ケース3

カット長「30mm」、記名板印字エリア「標準」、文字サイズ「2mm半角」、行数「2行」、文字配置「左寄せ2mm」

印字結果



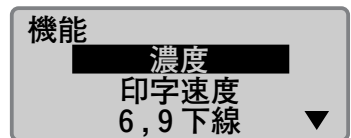
■ 印字濃度を調整する

使用環境や印字媒体の材質によって、印字が薄すぎたり濃すぎたりする場合があります。このようなときは印字濃度を調整してください。印字濃度は5段階に調整できます。

【例】チューブの印字が薄いので印字濃度が最も濃くなるように調整する。

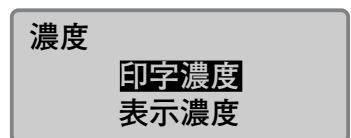
1 [機能]を押す

- 機能の選択画面になります。



2 [▲]または[▼]を押して「濃度」を選択し、[Enter]を押す

- 濃度の選択画面になります。



3 [▲]または[▼]を押して「印字濃度」を選択し、[Enter]を押す

- 印字濃度の選択画面になります。



▲は現在の印字濃度。濃度が「3」（標準）であることがわかる。

4 [▶]を2回押して、「5」を選択する

- 印字濃度「1」を選択すると印字は最も薄くなり、「5」を選択すると最も濃くなります。



5 [Enter]を押す

- 文字入力画面に戻ります。これで印字濃度が最も濃くなりました。

Memo

[◀]を押すと印字濃度が薄くなります。

Memo

20℃以下の環境で印字速度を「高速」にし印字がかすれる場合は、印字速度の設定を落としてください。

■ 印字速度を変更する

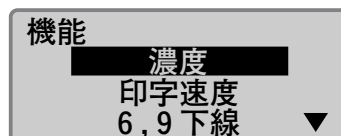
印字速度を変更することができます。ただし、印字速度が速すぎると使用環境や材質によっては、文字がかすれたりするなど、正しく印字できない場合があります。印字速度は「低速*」、「中速*」、「高速*」の3段階に調整できます。

*「低速」で30本/分、「中速」で35本/分、「高速」で42本/分（カット長が20mm、3mm全角文字を5文字入力し、半切りする場合。チューブ印字のみ）。

【例】印字速度を低速にする。

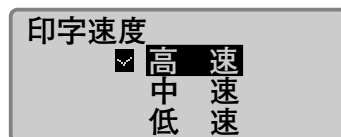
1 [機能]を押す

- 機能の選択画面になります。



2 [▲]または[▼]を押して「印字速度」を選択し、[Enter]を押す

- 速度の選択画面になります。



3 [▲]または[▼]を押して「低速」を選択し、[Enter]を押す

- 文字入力画面に戻ります。これで印字速度が低速になりました。



「L」が表示され印字速度が「低速」にセットされた。「中速」のときは「M」、高速のときは「H」が表示される。



印字速度

印字速度設定は、低速、中速、高速が選択できますが、実際の印字速度は印字媒体ごとに異なります。

mm/ 秒

印字媒体	印字速度	カットあり	カットなし
チューブ 透明チューブ	低速	18.5	
	中速	25	20
	高速	40	
熱収縮チューブ 4mmI.D.Strip ラベル ラップアラウンドテープ	低速	25	20
	中速	40	
	高速	40	
記名板	低速	カット不可	18.5
	中速		40
	高速		

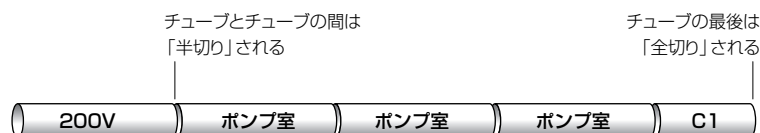
4-5 カットのしかたを変える

■ 半切りと全切り

印字が終わって排出されたチューブを見るとひとつひとつに切り込みが入っているのがわかります。手でちぎって簡単にバラバラにすることができるので大変便利。もちろん、ラベルテープの場合でも同じです。切り込み部から一枚一枚きれいにはがすことができます。この切り込みを「半切り」といいます。また、チューブやラベルテープの最後は完全に切断されます。これを「全切り」といいます。

Memo

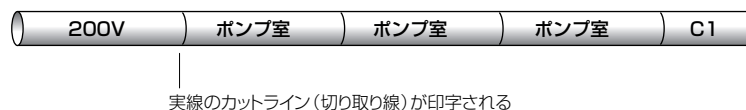
記名板はカットできません。



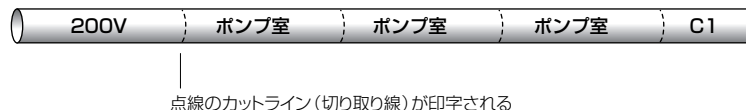
■ 半切りをしない

半切りをやめて、そのかわりにカットライン（切り取り線）を印字することができます。カットラインは「実線」と「点線」のいずれかを選択することができます。また、「半切りもしない、カットラインも印字しない」という設定も可能です。

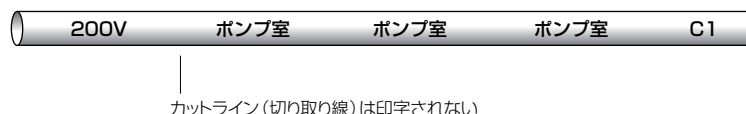
「半切りなし、カットライン実線」の場合



「半切りなし、カットライン点線」の場合



「半切りなし、カットラインなし」の場合



【例】半切りをせず、カットライン（点線）を印字する。

1 [カット設定]を押す

- カット設定の選択画面になります。

カット設定
半切り
全切り

2 [▲]または[▼]を押して「半切り」を選択し、[Enter]を押す

- 半切りの選択画面になります。

半切り設定
なし
あり

お買いあげ時は、半切りをする設定「あり」が選択されている。

3 [▲]または[▼]を押して「なし」を選択し、[Enter]を押す

- カットラインの選択画面となります。

カットライン
なし
実線
点線

4 [▲]または[▼]を押して「点線」を選択し、[Enter]を押す

- 文字入力画面に戻ります。これでカットラインが点線になりました。

a = H i 8.0C
1 30/30 3mm全 1 小 1

カットライン（点線）が表示される。

Memo

記名板印刷モードでは、この機能はできません。

■ 印刷本数（枚数）ごとに全切りする

例えば、図1のような文字データを入力して、印刷本数（枚数）を「3」にセットすると図2のようなチューブが作成されます。



図1



図2

お買い上げ時、すべての印刷が終わった時点で1回全切りをする設定になっていますが、図3のように印刷本数（枚数）ごとに全切りするように設定を変更することができます。



図3

【例】印刷本数（枚数）ごとに全切りする。

1 [カット設定]を押す

- カット設定の選択画面になります。

カット設定

半切り
全切り

2 [▲]または[▼]を押して「全切り」を選択し、[Enter]を押す

- 全切りの選択画面になります。

全切り設定

☒ **最後のみ**
本数設定毎

お買い上げ時は、すべての印刷が終わった時点で1回全切りをする設定「最後のみ」が選択されている。

3 [▲]または[▼]を押して「本数設定毎」を選択し、[Enter]を押す

- 文字入力画面に戻ります。

4-6 その他の操作

Memo

どの印字媒体でも操作は全く同じです。

Memo

印字媒体がすでに取り外されている場合も動作します。

Memo

[Enter]を押した後、プリンターの動作が止まっても、印字媒体が搬送ローラーから開放されない（取り出せない）場合は、フィード機能を使います（「チューブやラベルテープが排出/搬送されないとき」（p.142ページ））。

■ 印字媒体を取り出す

チューブからラベルテープに、ラベルテープからチューブに印字媒体を交換するときは、いったんセットされているものを取り出してください。しかし、そのままの状態ではチューブやラベルテープが搬送ローラーまで送り出されていて取り出すことはできません。まず、つぎの操作をし、送り出されているチューブやラベルテープを搬送ローラーから解放してください。

1 [取出し]を押す

- 確認画面が表示されます。

印字媒体を取り出しますか？

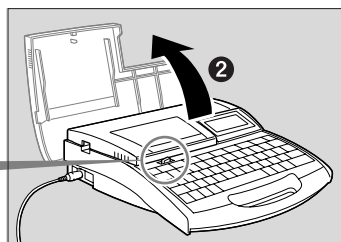
はい いいえ

2 [◀]または[▶]を押して「はい」を選択し、[Enter]を押す

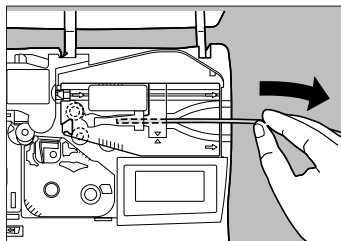
- 右の表示がされ、チューブまたはラベルテープが搬送ローラーから解放されます。

取出し中…

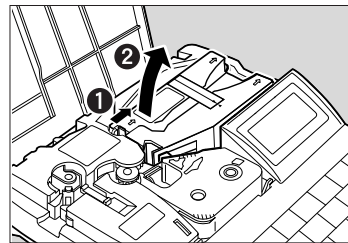
3 カバーを開ける



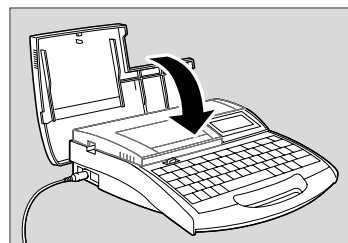
4 チューブまたは記名板を取り出す場合は、アタッチメントから媒体を引き抜く



5 アタッチメントまたはラベルテープ カセットなどを本体から取り外す



6 カバーを閉める

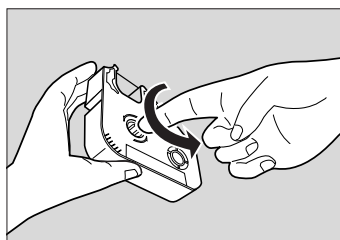


7 印字するための準備を行う

- 印字媒体のセットのしかたについては「Part2 基本的な操作」をごらんください。

❗ 重要 リボンがたるんでいないことを確認してください！

チューブまたはラベルテープ、記名板を取り出すとき、リボンカセットのリボンが巻き込まれてたるんでいる場合は、リボンのたるみを取ってください。



Memo

バックライトの明るさを変えることはできません。

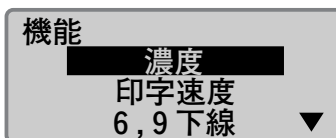
■ ディスプレイの表示濃度を変える

ディスプレイは周囲の明るさや見る角度によって見えにくい場合があります。このような場合は、ディスプレイの表示濃度を調整してください。表示濃度は9段階に調整できます。

【例】表示が薄いので表示濃度を2段階濃くする。

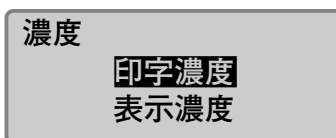
1 [機能]を押す

- 機能の選択画面になります。



2 [▲]または[▼]を押して「濃度」を選択し、[Enter]を押す

- 濃度の選択画面になります。



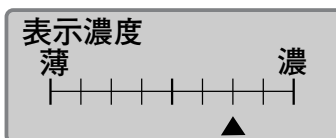
3 [▲]または[▼]を押して「表示濃度」を選択し、[Enter]を押す

- 表示濃度の選択画面になります。



▲は現在の印字濃度。

4 [▶]を2回押す



5 [Enter]を押す

- 文字入力画面に戻ります。これで表示濃度が濃くなりました。

Memo

表示濃度を薄くする
[◀]を押すと表示濃度が薄くなります。

Part 5

メンテナンス

ここでは、チューブやラベルテープなどの印字媒体が詰まった場合の処理方法、カッターが切れなくなったときの対処法などについて説明します。

5-1 チューブやラベルテープが詰まったら … 138

- 搬送エラーの対処
(搬送エラーメッセージ表示あり) … 138
- その他の詰まり対処
(搬送エラーメッセージ表示なし) … 140
- チューブやラベルテープが
排出/搬送されないとき …… 142

5-2 カッターが切れにくくなったら … 143

- カットの深さを変える …… 143
- カットの強さを強くする …… 145

5-3 カッターを交換する …… 146

5-4 カセットを交換する …… 149

- リボンカセットを交換する …… 149
- チューブやラベルテープカセットを交換する … 150


5-5 お手入れ …… 151

- 本体の清掃 …… 151
- 搬送ローラーの清掃 …… 151
- 印字ヘッドの清掃 …… 152
- クリーナーの清掃/交換 …… 152

5-1

チューブやラベルテープが詰まったら


印字中にチューブやテープが詰まると、ディスプレイに「搬送エラー」メッセージが表示され、プリンターの動作が止まります。メッセージにしたがって、詰まったチューブやテープを取り除いてください。

また、詰まっているのに「搬送エラー」メッセージが表示されなかったり、表示された後に電源を切るなどして、メッセージにしたがって操作することができない場合は、プリンターのフィード機能を使い、詰まった印字媒体を取り除きます。「その他の詰まり対処（搬送エラーメッセージ表示なし）」（ 140ページ）

■ 搬送エラーの対処（搬送エラーメッセージ表示あり）

チューブやテープが詰まって印字動作が止まり、「搬送エラー」メッセージが表示されたときは、つぎの手順にしたがって取り除きます。

1 ディスプレイに「搬送エラー」メッセージが表示されていることを確認する

- メッセージが表示されていないとき、または電源を切るなどして搬送エラーメッセージが消えてしまった場合は、「その他の詰まり対処（搬送エラーメッセージ表示なし）」（ 140ページ）をごらんください。

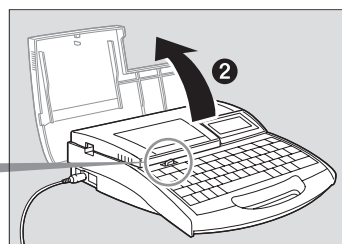
搬送エラー
搬送路内に媒体が
詰まっていませんか？
[取消] [Enter]

2 [Enter]を押す

- フィードの画面が表示されます。

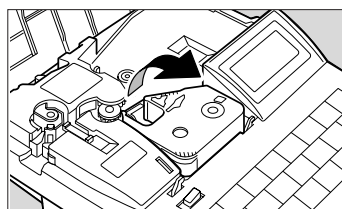
フィード
順送り：[◀] [▶]
逆送り：[▶] [▶]

3 カバーを開ける




4 リボンカセットを本体から取り外す

リボンが巻きついて取り外せない場合は無理に外さないで、手順5へ進む

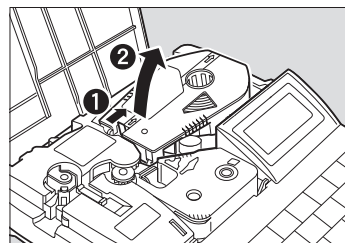


Memo

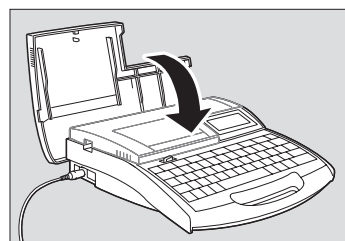
「取消」を選択すると、搬送エラーメッセージが消えて入力画面に戻り、詰まった印字媒体を取り除くための一連操作から抜けてしまいます。

この場合は「その他の詰まり対処（搬送エラーメッセージ表示なし）」（ 140ページ）をごらんください。

- 5** ラベルテープをセットしている場合は、取り外す
テープがからみついて取り外せない場合は無理に外さないで、手順6へ進む

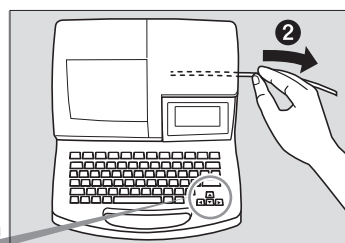
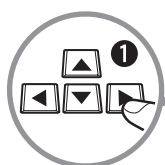


- 6** カバーを閉める



- 7** [▶]を押し続け、チューブを逆送りしながら、印字媒体を引き抜く
逆送りしても引き抜けないようであれば、[◀]を押して順送りする

- [▶]や[◀]を押し続けている間は連続して逆送り／順送りされます。

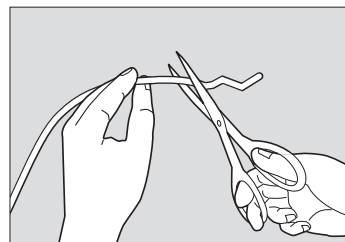


手順4でリボンカセットを取り外せなかった場合、および手順5でラベルテープを取り外せなかった場合は、カバーを開け、取り外せるかを確認します。外せるときは取り外して、カバーを閉じます。外せない場合はいったんカバーを閉じます。[▶]や[◀]を押し続け、再びカセットを取り出せることを確認します。取り出せるようになるまで、カバーを開／閉および[▶]や[◀]押し下げを繰り返します。

- 8** [▶]逆送りと[◀]順送りを繰り返
し、印字媒体を完全に引き抜く

- 9** 詰まって折れ曲がったり傷ついたりした部分、印字済みの部分がある場合は切り取る

- 詰まった印字媒体を取り除く処理が終了しました。



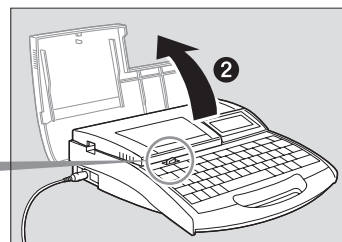
- 10** 印字するための準備を行う（「Part2 基本的な操作」）
カバーを開け、取り外したリボンカセットやチューブまたはラベルテープカセットをセットし、カバーを閉じる
[取消]を押し、文字入力画面に戻る

■ その他の詰まり対処 (搬送エラーメッセージ表示なし)

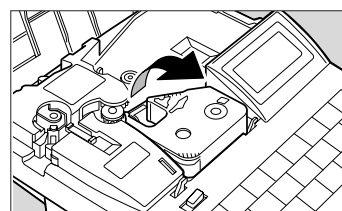
印字したチューブやテープが排出されなかったり、チューブやテープの交換時にうまく搬送されないとき、プリンター内部のローラーに巻きついて詰まっている場合があります。また「搬送エラー」メッセージの表示後に電源を切るなどして（メッセージが消えます）、メッセージにしたがって詰まりを解除できなくなったときは、プリンターのメンテナンスのフィード機能を使い、詰まった印字媒体を取り除くことができます。

- 1 印字中など、プリンターが動作している場合は、「ピピピッ」と音がするまで[取消]を押す
プリンターの電源が切れている場合は、電源を入れておく

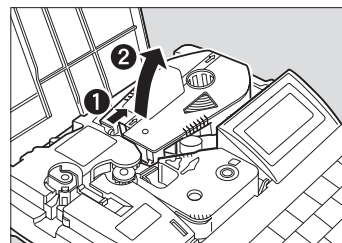
- 2 カバーを開ける



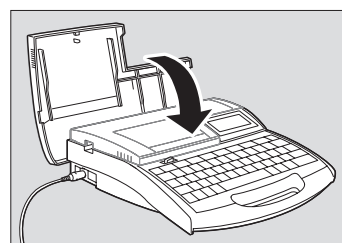
- 3 リボンカセットを本体から取り外す
リボンが巻きついて取り外せない場合は無理に外さないで、手順4へ進む



- 4 ラベルテープをセットしている場合は、取り外す
テープがからみついて取り外せない場合は無理に外さないで、手順5へ進む



- 5 カバーを閉める



6 [保守]を押す

- 保守の選択画面になります。

保守

クリーニング
強制全切り
フィード ▼

7 [▲]または[▼]を押して「フィード」を選択し、[Enter]を押す

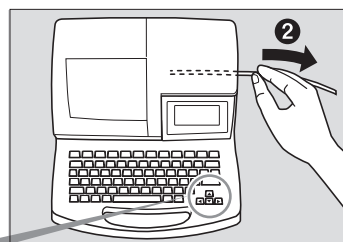
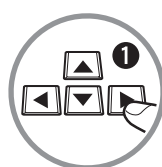
- 「順送り」と「逆送り」の操作方法が表示されます。

フィード

順送り：[◀]
逆送り：[▶]

8 [▶]を押し続け、チューブを逆送りしながら、印字媒体を引き抜く 逆送りしても引き抜けないようであれば、[◀]を押して順送りする

- [▶]や[◀]を押し続けている間は連続して逆送り／順送りされます。

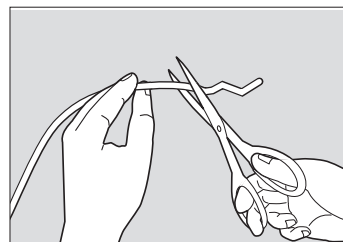


手順3でリボンカセットを取り外せなかった場合、および手順4でラベルテープを取り外せなかった場合は、カバーを開け、取り外せるかを確認します。外せるときは取り外して、カバーを閉じます。外せない場合はいったんカバーを閉じます。[▶]や[◀]を押し続け、再びカセットを取り出せることを確認します。取り出せるようになるまで、カバーを開／閉および[▶]や[◀]押し下げを繰り返します。

9 [▶]逆送りと[◀]順送りを繰り返し、印字媒体を完全に引き抜く

10 詰まって折れ曲がったり傷ついた部分、印字済みの部分がある場合は切り取る

- 詰まった印字媒体を取り除く処理が終了しました。




11 印字するための準備を行う（「Part2 基本的な操作」） カバーを開け、取り外したリボンカセットやチューブまたはラベルテープカセットをセットし、カバーを閉じる [取消]を押し、文字入力画面に戻る

Memo

例えば、次のようなときに、フィード機能を使います。

【例】

- 印字媒体を交換するとき、「取り出し」を実行しても、搬送ローラーから印字媒体から解放されず取り出せないときに使う。
- 印字実行し、プリンターが動作しているのに印字物が搬送出口から出てこないときに使う。

この場合は、チューブやラベルテープがプリンター内部で詰まっている可能性があるため、カバーを開けて詰まっているかを確認し、詰まっているときの対処に使う。「その他の詰まり対処（搬送エラーメッセージ表示なし）」（ 140ページ）をごらんください。

■ チューブやラベルテープが排出／搬送されないとき

保守の「フィード」機能を使うと、プリンターにセットしたチューブやラベルテープを任意に搬送することができます。

ただし、この機能は、チューブやラベルテープが思った通りに排出／搬送されないなどの場合にお使いください。フィードし続けると、印字媒体を傷つけたり、リボンカセットのリボンを巻き込んで詰まりの原因になったりすることがあります。

1 印字中など、プリンターが動作している場合は、「ピピピッ」と音がするまで[取消]を押す

プリンターの電源が切れている場合は、電源を入れておく

2 [保守]を押す

- 保守の選択画面になります。

保守
クリーニング
強制全切り
フィード ▼

3 [▲]または[▼]を押して「フィード」を選択し、[Enter]を押す

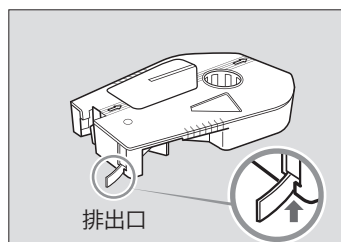
- 「順送り」と「逆送り」の操作方法が表示されます。

フィード
順送り：[◀]
逆送り：[▶]


4 [◀]または[▶]を押し続け、任意の位置まで搬送する

重要 ラベルテープの排出口にのりが付着していないことを確認してください！

ラベルテープの排出口にのりが付着していると、ラベルテープが詰まる場合があります。カバーを開けてのりが付着していないことを確認し、のりが付着しているときは、のりを取ってください。

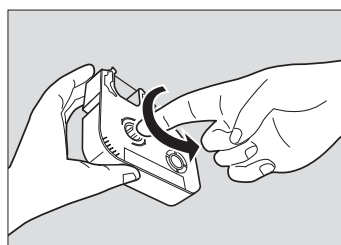


重要 逆送りしすぎないで！

逆送りしすぎるとラベルテープがカセットの中に入ってしまう。「ラベルテープなどがカセットの中に入ってしまったら」（ 38ページ）をごらんください。

重要 リボンがたるんでいないことを確認してください！

逆送りすると、リボンカセットのリボンが巻き込まれてたるむ場合があります。カバーを開けてたるんでいないことを確認し、たるんでいるときは、たるみを取ってください。



5-2 カッターが切れにくくなったら

Memo

半切りが深すぎてチューブなどが完全に切断されてしまうような場合は、カットの深さを浅く調整します。なお、カットの深さは印字媒体ごとに設定することができます。

Memo

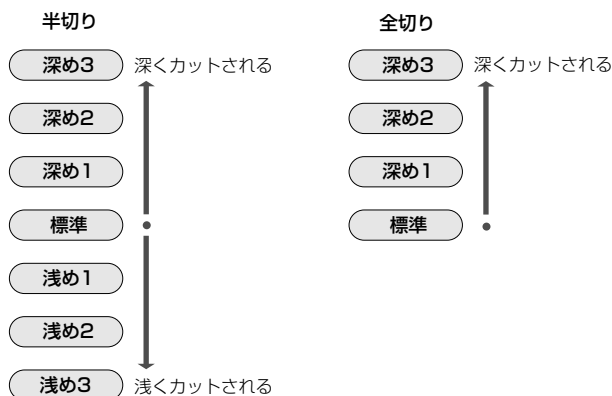
必要以上にカットの深さを深くするとカッターやカッター受け台が早く消耗してしまいますのでご注意ください。

Memo

カッター交換は、カッター動作回数50,000回毎を目安におこなってください。カッター動作回数の確認については「カッター動作回数を記録する」(p.148ページ)をごらんください。

■ カットの深さを変える

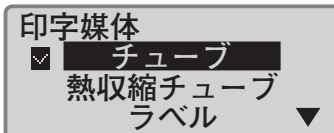
チューブやラベルテープがうまく切断されないときはカットの深さを変えてみてください。カットの深さは「半切り」と「全切り」でそれぞれつぎのように調整することができます。また、調整は印字媒体ごとに行うことができます。



【例】ラベルテープの全切りがうまく切れないので1段階カットを深くする。

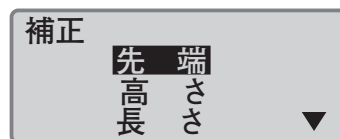
1 [補正]を押す

- 印字媒体の選択画面になります。



2 [▲]または[▼]を押して「ラベル」を選択し、[Enter]を押す

- 調整の対象となる印字媒体を選択します。
- [Enter]を押すと、補正の選択画面になります。



3 [▲]または[▼]を押して「全切り」を選択し、[Enter]を押す

- 全切りの調整画面になります。



Memo

[▼]を押すとカットの深さが1段階ずつ浅くなります。

4 [▲]または[▼]を押して「深さ」を選択し、[Enter]を押す

- カットの深さ調整画面になります。

全切り(深さ)



カットの深さが標準設定であることが表示される。

5 [▲]を1回押して、「深め1」を表示する

- [▲]を押すたびにカットが1段階ずつ深くなります。

全切り(深さ)



カットの深さが「深め1」であることを確認する。

6 [Enter]を押す

- 文字入力画面に戻ります。これでカットの深さが1段階深くなりました。



それでもカッターの切れが悪いときは(強制全切り)

何度もカット深さを調整したのにうまく全切りできない、というときは「強制全切り」を試してみてください。強制全切りを行うと、カッターはもっとも深い位置まで切り込みを行います。強制全切りをしてもなお切れない場合は、カッターを交換する必要があります。交換手順については「カッターを交換する」(P146ページ)をごらんください。

1.[保守]を押す

- 保守の選択画面になります。

保守

クリーニング
強制全切り
フィード ▼

2.[▲]または[▼]を押して「強制全切り」を選択し、[Enter]を押す

- 全切りの確認画面が表示されます。

印字媒体を全切り
しますか？

はい いいえ

3.[◀]または[▶]を押して「はい」を選択し、[Enter]を押す

- 全切りが行われます。

Memo

カットの強さは印字媒体ごとに設定することができます。

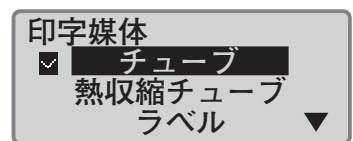
■ カットの強さを強くする

チューブやラベルテープの材質によって、カットがスムーズに行えないときはカットの強さを強くしてみてください。カットの強さは「半切り」と「全切り」でそれぞれ「標準」と「強い」の2段階に調整することができます。

【例】チューブの全切りがうまく切れないのでカットを強くする。

1 [補正]を押す

- 印字媒体の選択画面になります。



2 [▲]または[▼]を押して「チューブ」を選択し、[Enter]を押す

- 調整の対象となる印字媒体を選択します。
- [Enter]を押すと、補正の選択画面になります。



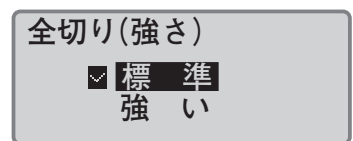
3 [▲]または[▼]を押して「全切り」を選択し、[Enter]を押す

- 全切りの調整画面になります。



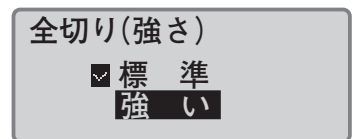
4 [▲]または[▼]を押して「強さ」を選択し、[Enter]を押す

- カットの深さ調整画面になります。



カットの強さが標準設定であることが表示される。

5 [▼]を1回押して、「強い」を選択する



6 [Enter]を押す

- 文字入力画面に戻ります。これでカットの強さが強くなりました。

5-3 カッターを交換する

Memo

半切りのカット深さを最も浅く調整しているにもかかわらず、半切りが深すぎる場合はカッター受け台が消耗している可能性があります。

Memo

カッター交換は、カッター動作回数50,000回毎を目安におこなってください。カッター動作回数の確認については「カッター動作回数を記録する」(P.148ページ)をごらんください。

「強制全切り」(P.144ページ)を行ってもチューブやラベルテープがうまく切断されないときはカッターを交換してください。カッターを交換するときは「カッター受け台」も必ずいっしょに交換してください。カッターのお求めはお求めの販売店にお問い合わせください。

! 注意 手順を守って!

カッターは直接触ることができないような構造になっていますが、取り扱いを誤ると刃が露出してケガをするおそれがあります。本書に記載されていない操作は絶対にしないでください。また、必ず手順通りに操作を行ってください。

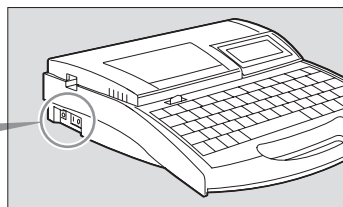
不要となったカッターはすぐに処分して!

交換した部品は放置しないでください。幼児の手などに触れるとケガをするおそれがあります。

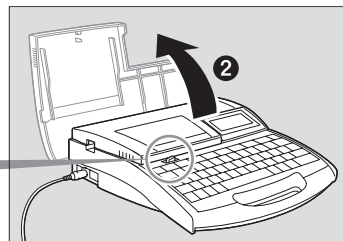
地域の条例に従って、すみやかに廃棄してください。

1 電源スイッチをOFFにする

- 「O」側を押します。

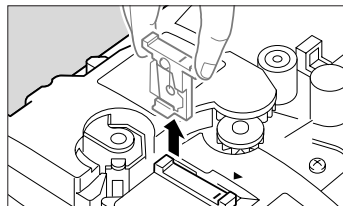


2 カバーを開ける



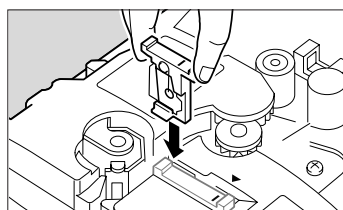
3 カッターを引き出す

- 取り出したカッターはすぐに処分します。

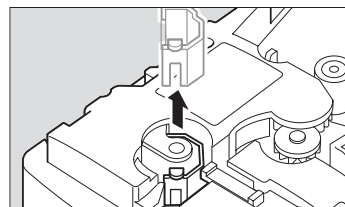


4 新しいカッターをセットする

- 向きに注意して、カッターの- (ライン) を ◀マークに合わせて、奥に突き当たるまで差し込みます。

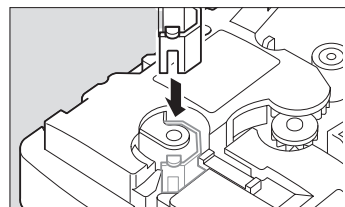


5 カッター受け台を引き出す

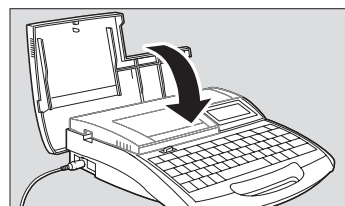


6 新しいカッター受け台をセットする

- 向きに注意して、奥に突き当たるまで差し込みます。

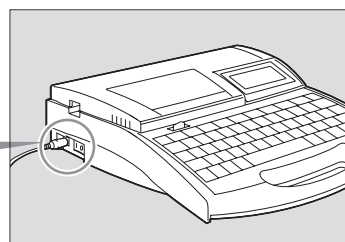


7 カバーを閉める



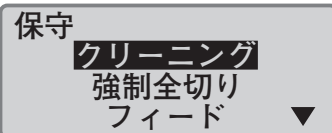
8 電源スイッチをONにする

- 「I」側を押します。



9 [保守]を押す

- 保守の選択画面になります。



10 [▲]または[▼]を押して「カッター交換」を選択し、[Enter]を押す

- 右の表示がされたあと、文字入力画面に戻ります。

カッター交換を受けつけました。

11 カッター動作回数を記録する

- くわしくは「カッター動作回数を記録する」(P148ページ)をごらんください。

Memo

「カッター交換」を受け付けると、カットの深さや強さが標準に戻ります。

Memo

カッターを外している場合でも
カッター動作を行いカウントア
ップします。



参考

カッター動作回数を記録する

カッターを交換したときは、カッター動作回数を次のような手順で確
認して、本書の「カッター動作記録」へ記録してください。（「カッタ
ー動作記録」 177ページ）

1. [保守]を押す

- 保守の選択画面になります。

保守

クリーニング
強制全切り
フィード ▼

2. [▲]または[▼]を押して「4：動作 記録」を選択し、[Enter]を押す

- 動作記録の確認画面が表示されま
す。

カッター動作回数

50000 回

本体走行距離

10000 m

3. 動作記録を記録したあと、[取 消]を押す

- 文字入力画面に戻ります。

5-4

カセットを交換する

■ リボンカセットを交換する

印字中に「リボン終了」のメッセージが表示されたら、つぎのようにしてリボンカセットを交換してください。交換リボンカセットについてはお求めの販売店にお問い合わせください。

Memo

使用済みのリボンカセットは、ビニール袋などに入れ、地域の条例にしたがって廃棄してください。

Memo

リボンがたるんでいるとリボン有無の判断ができません。必ず、たるみを取ってください。

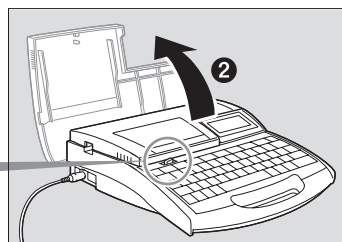
Memo

外したストッパーは、地域の条例にしたがって破棄してください。

Memo

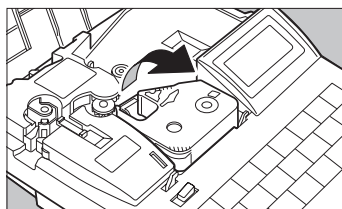
リボンカセットが浮いているとリボン有無の判断ができません。カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

1 カバーを開ける



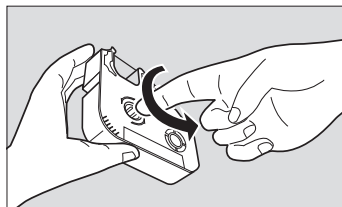
2 リボンカセットを取り出す

- 手前に引くようにして取り外します。



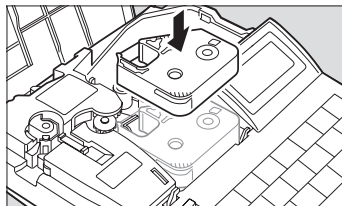
3 新しいリボンのたるみを取る

- ストッパーを外してから、リボンのたるみを取ります。

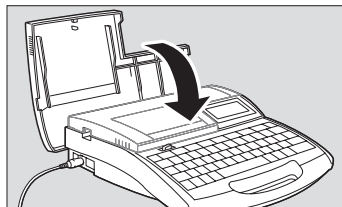


4 新しいリボンカセットをセットする

- カチッと音がするまでしっかりと押します。



5 カバーを閉める



6 [Enter]を押す

- 中断されたページのつぎのページから印字が再開されます。

注意 ICチップには触らないで！

リボンカセットのICチップには触らないでください。リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。

Memo

4mmI.D.Strip、ラップアラウンドテープの場合はラベルテープカセットと同じ要領で、透明チューブ、記名板の場合はチューブと同じ要領で操作します。

Memo

使用済みのチューブや、ラベルテープカセットは、地域の条例にしたがって廃棄してください。

Memo

[Enter]を押した後プリンターの動作が止まっても、チューブまたはラベルテープを取り出せない場合は、フィード機能を使います（「チューブやラベルテープが排出/搬送されないとき」▶142ページ）。

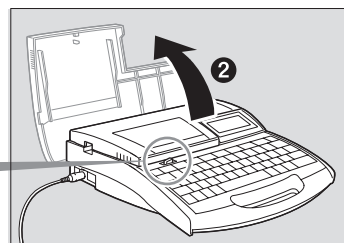
■ チューブやラベルテープカセットを交換する

つぎのようにしてチューブまたはラベルテープカセットを取り出し、新しいものをセットしてください。チューブやラベルカセットについてはお求めの販売店にお問い合わせください。

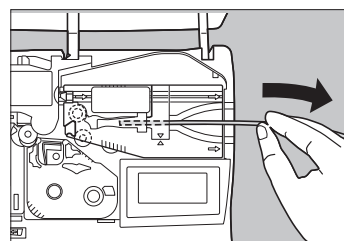
1 [取出し]を押して[Enter]を押す

- 印字媒体が逆送りされます。

2 カバーを開ける

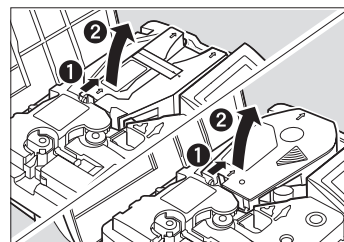


3 (チューブ、記名板のみ) アタッチメントからチューブを引き抜く



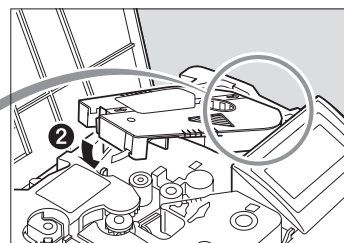
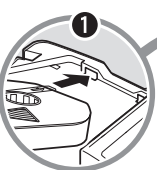
4 アタッチメントまたはラベルテープカセットを本体から取り外す

- レバーを右に引きながら上に持ち上げて取り外します。



5 新しいチューブやラベルテープカセットをセットする

- くわしくは「Part 2 基本的な操作」をごらんください。



5-5 お手入れ

■ 本体の清掃

水を含ませて強くしぼった布などで拭いてください。アルコールやベンジンなどの溶剤を使用すると表面処理を傷めるばかりでなく、故障の原因となりますのでおやめください。

■ 搬送ローラーの清掃

搬送ローラーの汚れはガーゼを使用して取り除きます。汚れがひどいときは水をガーゼに数滴含ませ、軽くしぼってから拭き取るようにしてください。アルコールやベンジンなどは絶対に使用しないでください。内部に入ると故障の原因になります。

1 【保守】 を押す

- 保守の選択画面になります。

保守

クリーニング
強制全切り
フィード ▼

2 [▲] または [▼] を押して、「クリーニング」を選択し、[Enter] を押す

クリーニング

カバーを開けて清掃
してください。

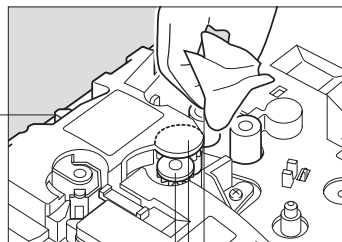
3 カバーを開ける

クリーニング

清掃後、カバーを
閉じてください。

4 搬送ローラーを清掃する

リリースレバー
搬送ローラー2、3を清掃するときは、
このリリースレバーを右に引きます。



5 カバーを閉める

- 搬送ローラーが回転します。

搬送ローラー1
搬送ローラー2
搬送ローラー3

6 手順3～5を繰り返す

7 【取消】 を押す

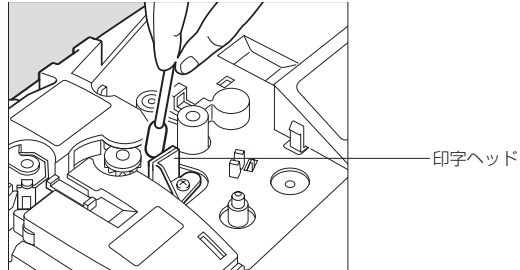
- メッセージが消え、文字入力画面に戻ります。

Memo

カバーを6回開閉すると、ローラーが1回転します。

■ 印字ヘッドの清掃

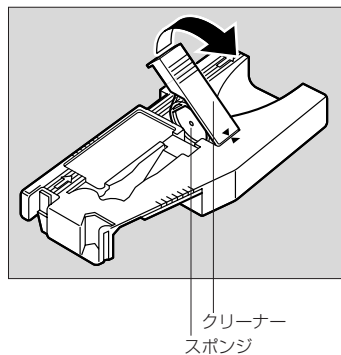
印字ヘッドの汚れは綿棒で取り除きます。ヘッド部を傷つけないように十分注意してください。また、清掃を始めるまえに必ず電源スイッチをOFFにしてください。汚れがひどいときは水を綿棒に数滴含ませてから拭き取るようにします。アルコールやベンジンなどは絶対に使用しないでください。故障の原因になります。



■ クリーナーの清掃/交換

アタッチメントにはチューブおよび記名板の表面に付着した汚れを除去するクリーナーがついています。図のようにしてクリーナーを取り外し、スポンジに付着した汚れを取り除いてください。なお、スポンジが破損した場合は、クリーナーごと交換してください。

交換用クリーナーは、お求めの販売店にお問い合わせください。



Part 6

付録

ここでは、消耗品やオプション、ローマ字／かな入力をはじめとした各種一覧表、おもな仕様について説明します。

6-1	消耗品とオプション	154
	■消耗品	154
	■オプション	155
6-2	エラーメッセージ一覧表	156
6-3	こんなときには	159
6-4	ローマ字/かな入力表	161
6-5	記号一覧表	162
6-6	区点コード表	163
6-7	機能一覧	175
6-8	おもな仕様	176

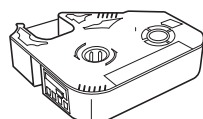
6-1

消耗品とオプション

■ 消耗品

本機で使用する消耗品はつぎの通りです。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

インクリボンカセット（黒色、白色）



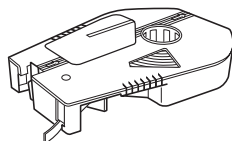
専用カセットをお求めください。
※黒色は40mと100mの2種類あります。

記名板専用インクリボンカセット（黒色）



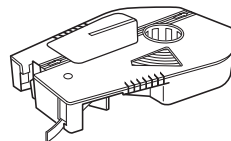
専用カセットをお求めください。

ラベルテープ（白色、黄色、銀色）



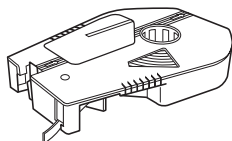
ラベル幅6mm、9mm、12mmの
専用カセットをお求めください。

ラップアラウンドテープ（白色）



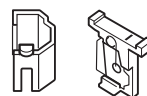
専用カセットをお求めください。

4mmI.D.Strip(白色)



専用カセットをお求めください。

カッターセット



専用カッターセットをお求めください。

■ その他の消耗品

● チューブ/透明チューブ/熱収縮チューブ



内径がΦ2.5mm～6.5mmのチューブをお
使いいただけます。市販品をお求めください。
使用できるチューブの厚さは0.5mmタイプです。

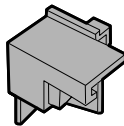
※市販のチューブ、記名板の中には本プリンターで印字できないものがあります。印字できることを確認してからご使用ください。

● 記名板

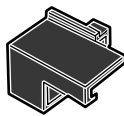


幅が8.0mm、8.5mm、9.5mm、10mm、厚み
が0.5mmの市販品をお求めください。

- カッターセット
- クリーナーセット
- ウォーマークリーナー
- 記名板クリーナー
- ラップアラウンドテープ (5064C001) 用搬送補助ガイド (灰色)



- ラップアラウンドテープ (3476A075) 用搬送補助ガイド (黒色)

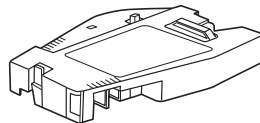


*プリンター本体に付属しています。

■ オプション

つぎのようなオプションを使用することができます。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

チューブウォーマー



チューブウォーマーは寒さで堅くなったチューブを温めるための装置です。チューブウォーマーを使うと、低温環境でもきれいに印字できるようになります。

■ その他のオプション

- チューブアタッチメント
- 記名板アタッチメント
- AC電源ケーブル
- ACアダプター

6-2 エラーメッセージ一覧表

メッセージ	内容	対処方法
変更できません	設定不能な選択をしようとした。	取扱説明書を見て再度設定しなおす。
設定範囲外です！	設定範囲外の値を入力しようとした。	取扱説明書を見て再度設定しなおす。
縦向き／横書きでは、文字間の設定はできません	印刷の向きが「縦向き／横書き」のときに、文字間隔を選択しようとした。	印刷の向きが「縦向き／横書き」のときは、文字間隔は選択できない。
ペーストするデータがありません	ペーストするページデータがない状態で、ペーストしようとした。	ページをカットまたはコピーして、ペーストするデータを用意する。
空き容量不足 これ以上文字の入力是不可能的	メモリの空き容量が不足している状態で文字を入力しようとした。	入力データを削除して空き容量を確保する。
長さオーバー 入力データが設定長を超えています	設定範囲外の値を入力しようとした。	取扱説明書を見て再度設定しなおす。
このページには既に連番が設定されています	すでに連番が設定されているページに別の連番を設定しようとした。	連番の設定は1ページにつき1つしかできない。
文字数オーバー 入力可能文字数を超えています	入力可能な文字数を超えて文字を入力しようとした。	入力可能な文字数で入力しなおす。
×××××××は既に存在します 名前を変更してください	すでに存在するフォルダー名を指定しようとした。	別のフォルダー名にする。
空き容量不足 これ以上保存できません	保存メモリが少ない状態でファイル保存をしようとした。	不要なファイルを削除して空き容量を確保する。
ファイルがありません	保存ファイルがないのに、ファイルの呼び出しや削除をしようとした。	ファイルの保存先フォルダーを確認する。 ファイルを保存し直す。
選択したフォルダー内にファイルはありません	フォルダー内に保存ファイルがないのに、ファイルの呼び出しや削除をしようとした。	
選択したフォルダー内に既に99ファイル保存されています	1つのフォルダーに99ファイル以上保存しようとした。	不要なファイルを削除してから保存するか、別のフォルダーに保存する。
2mm角では入力できません	文字の大きさが2mmのときに、漢字や記号を入力しようとした。	文字の大きさを3mmまたは6mmに変更する。
1.3mm角では記号入力是不可能的	文字の大きさが1.3mmのときは、記号入力および区点コード入力ができない。	文字の大きさを1.3mm角以外に変更する。
1.3mm角では英数入力のみ可能です	文字の大きさが1.3mmのときは、ローマ字入力モードおよびかな入力モードでは入力できない。	入力モードを英数入力に切り替える。
文字数オーバー 変更できません	記名板印字エリア「拡張」で最大の文字を入力されているページに対し、カット長を「自動」に変更しようとした。	文字を削除し、変更可能な文字数にしてから、設定変更を行う。

メッセージ	内容	対処方法
入力できません カット長または文字サイズを変更してください。	設定されている文字サイズとカット長では、入力ができない。	カット長または文字サイズを変更する。
3行設定されたデータがあります	分割または結合しようとしていたページに3行のデータがあった。	3行のページを変更または削除する。
連番設定されたデータがあります	分割、結合しようとしているページに連番が設定されている	連番部分を削除する。
文字データがありません	文字データがないのに、印字しようとした。	文字データを入力してから印字する。
印字媒体がセットされていません	印字媒体がセットされていない状態で印字しようとした。	印字媒体をセットし、[Enter]を押すと印字が始まる。
リボンカセットがセットされていません	リボンカセットがセットされていない状態で印字しようとした。	リボンカセットをセットする。
印字媒体終了 印字媒体を引き抜いてください	印字中に印字媒体がなくなった。	印字媒体を本体から引き抜き、新しい印字媒体に交換する。
新しい印字媒体をセットしてください	「印字媒体終了」のメッセージ後、印字媒体を引き抜いた。	新しい印字媒体をセットし、[Enter]を押すと印字が再開される。
リボン終了 リボンカセットを交換してください	印刷中にリボンがなくなった。	新しいリボンカセットに交換し、[Enter]を押すと印字が再開される。
印字媒体の先端が検出できません。ヘッド〜カッター間の印字媒体を取り除いてください	印字媒体が正しくセットされていない状態で操作しようとした。 印字ヘッドとカッターの間に印字媒体が詰まっている。	いったん印字媒体を取り出し、正しくセットしてから[Enter]を押す。 印字ヘッドとカッターの間の印字媒体を取り除いてから、[Enter]を押す。
印字ヘッド位置を初期化できません	何らかの原因で印字ヘッド位置を初期化できない。	[Enter]を押す。それでも、同じメッセージが表示される場合は修理対応窓口に連絡する。(巻末)
印字ヘッドを印刷位置に移動できません	何らかの原因で印字ヘッドを印刷位置に移動できない。	[Enter]を押す。それでも、同じメッセージが表示される場合は修理対応窓口に連絡する。(巻末)
カッター位置を初期化できません	何らかの原因でカッター位置を初期化できない。	[Enter]を押す。それでも、同じメッセージが表示される場合は修理対応窓口に連絡する。(巻末)
データチェック 全設定を初期化します	何らかの原因でデータにエラーが発生し、データが初期化された。	プリンター機能を設定し直す。 保存データを確認し、データを入力・保存し直す。

メッセージ	内容	対処方法
カバーを閉じて何かキーを押してください	カバーが開いている状態で操作をしようとした。	カバーを閉じて、何かキーを押す。
ファイル保存中に電源が切られました。保存データをチェックしています	ファイル保存中に電源を切った。不正なデータは削除される。	保存ファイルを確認する。 入力中データや保存されていないファイルは、入力・保存し直す。
ファイル呼出し中に電源が切られました。入力データを初期化しています	ファイル呼出し中に電源を切った。 入力データは削除される。	
ファイル削除中に電源が切られました。保存データをチェックしています	ファイル削除中に電源を切った。	保存ファイルを確認する。 削除されていないファイルは削除する。
搬送エラー 搬送路内に媒体が詰まっていますか？[取消] [Enter]	チューブまたはラベルテープが詰まった。	「チューブやラベルテープが詰まったら」(138ページ)を参考に、詰まった印字媒体を取り除く。
印刷中…まもなくリボン終了	印刷中にリボンカセットの残量が少なくなってきた。 (残り約10m)	新しいリボンカセットを用意する。 長尺印字する場合は新しいリボンカセットに交換する。
リボンカセットの情報が読み取れませんでした。残量が表示できません	リボンカセットと通信ができなかった。またはリボン終了となり、終了の情報がリボンに書き込まれた。	何かキーを押して、あとに表示される画面の指示に従い操作してください。
記名板印字エリア「拡張」では、印字媒体は記名板のみとなります。	記名板印字エリア「拡張」を選択した。	印字媒体が記名板のみとなる。 他の媒体に印字したい場合は、「短いピッチ幅で印刷する」(125ページ)または「カット長や文字配置を変える」(114ページ)を参考に、カット長を「自動」に設定する。

6-3 こんなときには

現象	原因	対処方法
電源スイッチを入れても何も表示されない。	ACアダプターが正しくセットされていない。	電源スイッチをOFFにし、ACアダプターがコンセントや本体にしっかりと接続されているかを確認。その後、電源スイッチをONにする。
	専用のACアダプターを使用していない。	専用のACアダプターを使用する。専用のもの以外を使用すると回路を破損したり、加熱したりして大変危険。
	上記以外の原因。	「すべての設定を初期値に戻す」(135ページ)を行う。
起動画面が表示されたまま文字入力画面が表示されない。	編集データが不正。	「すべての設定を初期値に戻す」(135ページ)を行う。
ACアダプターをセットしても、表示がACアダプターマークに変わらない。	ACアダプターが正しくセットされていない。	電源スイッチをOFFにし、ACアダプターのプラグはコンセントや本体にしっかりと接続されているかを確認。その後、電源スイッチをONにする。
何も印字されない、または正しく印字できない。 きれいに印字されない。	文字データが入力されていない。	文字データがない状態では印字操作できない。文字を入力するか、ファイルを呼び出して文字データを用意する。
	印刷時に選択した印字媒体のサイズが、実際にセットされている印字媒体のサイズと一致していない。	セットされている印字媒体のサイズを確認し、同じサイズを選択する。
	印字開始位置や印字縦位置が正しく設定されていない。	「印字開始位置と縦位置を微調整する」(122ページ)を参考に正しく設定しなおす。
	リボンカセットが正しくセットされていない。	リボンカセットを取り出し、たるみを取ってから再度セットしなおす。
	アタッチメントまたはカセット類が正しくセットされていない。	アタッチメントまたはカセット類を取り出し、再度セットしなおす。
	チューブやラベルテープがつぶれ、ねじれなどの変形を起こしている。	変形箇所を切り取ってから再度セットしなおす。変形のない印字媒体を使う。
	チューブやラベルテープが汚れている。	汚れを取り除く。
	搬送ローラーが汚れている。	「搬送ローラーの清掃」(151ページ)を参考にローラーを清掃する。
	印刷ヘッドが汚れている。	「印字ヘッドの清掃」(152ページ)を参考に印字ヘッドを清掃する。
	クリーナーが汚れている。	「クリーナーの清掃/交換」(152ページ)を参考にスポンジに付着した汚れを取り除く。
	クリーナーが消耗している。	新しいクリーナーに交換する。クリーナーのお求めは、お求めの販売店にお問い合わせください。
	印字物の表面が汚れている。	乾いた布で印字物についた汚れを拭き取る。

現象	原因	対処方法
チューブやラベルテープが搬送されない。	チューブの供給負荷が重すぎる。	チューブに負荷がかからないようにする。 4.9N(500gf)以上の負荷がかかるとチューブを搬送できない。
	搬送ローラーが汚れてすべりが発生している。	「搬送ローラーの清掃」(151ページ)を参考にローラーを清掃する。
	チューブやラベルテープの搬送路に汚れがある。	汚れを取り除く。
	使用環境が適切でない。	温度 15℃～32.5℃、湿度 35%～85%RHの環境で使う。オプションのチューブウォーマーを使用すると、5℃までの環境で使用可能。
印字媒体が排出されない。	印字媒体が詰まっている。	「チューブやラベルテープが詰まったら」(138ページ)を参考に詰まりを取り除く。
チューブが斜めにカットされる。	チューブがねじれた状態でプリンターに搬送されている。	チューブに巻きくせ(カール)がついていると、まっすぐに搬送されず、先端が斜めにカットされる場合がある。特に長尺巻きチューブなどに印字するときは、できるだけねじれをとってから印字する。
ラベルテープが正しくカットされない。	ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドが付いている。	付いている場合取り外す。
12mmラベルテープが全切りされない。	印字物の排出口周辺に排出を妨げる物があり、まっすぐに排出されず、曲がった状態でカットされた。	印字物の排出口周辺には物を置かないようにして、印字する。
半切りできない。	カッターまたはカッター受け台が正しくセットされていない。	「カッターを交換する」(146ページ)を参考に正しくセットする。
	カットの深さや強さが適切でない。	「カットの深さを変える」(143ページ)、「カットの強さを強くする」(145ページ)を参考に正しく調整する。
	カッターが消耗している。	「カッターを交換する」(146ページ)を参考に、カッターとカッター受け台を両方とも交換する。
半切りが切れすぎる。	カッター受け台が消耗している。	「カッターを交換する」(146ページ)を参考に、カッターとカッター受け台を両方とも交換する。
	カッターまたはカッター受け台が正しくセットされていない。	「カッターを交換する」(146ページ)を参考に正しくセットする。
	カットの深さや強さが適切でない。	「カットの深さを変える」(143ページ)、「カットの強さを強くする」(145ページ)を参考に正しく調整する。
全切りできない。	カッターが消耗している。	「カッターを交換する」(146ページ)を参考に、カッターとカッター受け台を両方とも交換する。
リボン切れ	チューブにビニールテープの糊のような粘りがある汚れがついている。	汚れのないチューブを使用してください。
印刷で「記名板」以外の印字媒体が選択できない。	記名板印字エリア設定で、「拡張」に設定したページがある。	「短いピッチ幅で印刷する」(125ページ)または「カット長や文字配置を変える」(114ページ)を参考に、カット長を「自動」に設定する。

※ACアダプターのジャック部の不具合、破損は修理ができません。お近くの販売店にて購入してください。

※チューブ印刷において機械の構造上、印字始めから約60mmまでは設定したカット長より若干短めに加工されます。

6-4 ローマ字/かな入力表

ア	ア A	イ I	ウ U	エ E	オ O	ア LA XA	イ LI XI	ウ LU XU	エ LE XE	オ LO XO
カ	カ KA	キ KI	ク KU	ケ KE	コ KO					
サ	サ SA	シ SI SHI	ス SU	セ SE	ソ SO	シャ SYA SHA	シィ SYI	シュ SYU SHU	シェ SYE SHE	ショ SYO SHO
タ	タ TA	チ TI CHI	ツ TU TSU ツ LTU XTU	テ TE	ト TO	チャ TYA CYA CHA チャ THA ツァ TSA	チィ TYI CYI チィ THI ツィ TSI	チュ TYU CYU CHU チュ THU ツェ TSE	チェ TYE CYE CHE チェ THE ツェ TSE	チョ TYO CYO CHO テョ THO ツォ TSO
ナ	ナ NA	ニ NI	ヌ NU	ネ NE	ノ NO	ニャ NYA	ニィ NYI	ニュ NYU	ニェ NYE	ニョ NYO
ハ	ハ HA	ヒ HI	フ HU	ヘ HE	ホ HO	ヒャ HYA ファ FA ファ FYA	ヒィ HYI フィ FI フィ FYI	ヒュ HYU フ FU フュ FYU	ヒェ HYE フェ FE フェ FYE	ヒョ HYO フォ FO フョ FYO
マ	マ MA	ミ MI	ム MU	メ ME	モ MO	ミャ MYA	ミィ MYI	ミュ MYU	ミェ MYE	ミョ MYO
ヤ	ヤ YA	イ YI	ユ YU	イエ YE	ヨ YO	ヤ LYA XYA	イ LYI XYI	ユ LYU XYU	エ LYE XYE	ヨ LYO XYO
ラ	ラ RA	リ RI	ル RU	レ RE	ロ RO	リャ RYA	リィ RYI	リュ RYU	リエ RYE	リョ RYO
ワ	ワ WA	ウィ WI	ウ WU	ウェ WE	ヲ WO					
ン	ン NN N									
ガ	ガ GA	ギ GI	グ GU	ゲ GE	ゴ GO	グァ GWA ギャ GYA	グィ GWI ギィ GYI	グゥ GWU ギュ GYU	グェ GWE ギェ GYE	グォ GWO ギョ GYO
ザ	ザ ZA	ジ ZI JI	ズ ZU	ゼ ZE	ゾ ZO	ジャ ZYA JA JYA	ジィ ZYI JYI	ジュ ZYU JU JYU	ジェ ZYE JE JYE	ジョ ZYO JO JYO
グ	ダ DA	ヂ DI	ヅ DU	デ DE	ド DO	チャ DYA デャ DHA	チィ DYI ディ DHI	ヂュ DYU デュ DHU	ヂェ DYE デェ DHE	ヂョ DYO デョ DHO
バ	バ BA	ビ BI	ブ BU	ベ BE	ボ BO	ビャ BYA	ビィ BYI	ビュ BYU	ビェ BYE	ビョ BYO
パ	パ PA	ピ PI	プ PU	ペ PE	ポ PO	ピャ PYA	ピィ PYI	ピュ PYU	ピェ PYE	ピョ PYO
ヴ	ヴァ VA	ヴィ VI	ヴ VU	ヴェ VE	ヴォ VO					



子音を連続して入力すると「っ」が表示されます。ただし、NNと入力した場合は「ん」が表示されます。

6-5 記号一覧表

記号1

× ÷ \ ± ≠ ≤ ≥ ※
 …… ¢ £ ¤ ¥ am pm
 No. K.K. TEL FAX (社) (株) (有) (代)
 © ° ‘ ’ “ ” [] { } « »
 『 』 【 】 → ← ↑ ↓
 ○ ● ◇ ◆ □ ■ △ ▲
 ▼ ☆ ★ § ♂ ♀ ∞
 〃 〝 〞 〟 〰 全 々 〃

記号2

mm cm km mm² cm² m² km² mm³
cm³ m³ cc ml dl l mg kg
Hz mA kΩ kW cal Å °C °K
Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ
Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π
Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω
α β γ δ ε ζ η θ
ι κ λ μ ν ξ ο π
ρ σ τ υ φ χ ψ ω

記号3

10 11 12 ① ② ③ ④ ⑤
⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬
⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ A
B C D E F G H I
J K L M N O P Q
R S T U V W X Y
Z I II III IV V VI VII
VIII IX X i ii iii iv v
vi vii viii ix x

記号4

A 10x10 grid of 100 unique symbols. The symbols are a mix of geometric shapes, letters, and abstract designs. Some symbols are simple, like a circle or a square, while others are more complex, like a circle with a cross inside or a square with a circle inside. The symbols are arranged in a way that they are easy to distinguish from each other.

6-6 区点コード表

0101	0102	0103	0104	0105	0106	0107	0108	0109	0110	0111	0112	0113	0114	0115	0116	0117	0118	0119	0120	0121
0122	0123	0124	0125	0126	0127	0128	0129	0130	0131	0132	0133	0134	0135	0136	0137	0138	0139	0140	0141	0142
0143	0144	0145	0146	0147	0148	0149	0150	0151	0152	0153	0154	0155	0156	0157	0158	0159	0160	0161	0162	0163
0164	0165	0166	0167	0168	0169	0170	0171	0172	0173	0174	0175	0176	0177	0178	0179	0180	0181	0182	0183	0184
0185	0186	0187	0188	0189	0190	0191	0192	0193	0194											
0201	0202	0203	0204	0205	0206	0207	0208	0209	0210	0211	0212	0213	0214	0215	0216	0217	0218	0219	0220	0221
0222	0223	0224	0225	0226	0227	0228	0229	0230	0231	0232	0233	0234	0235	0236	0237	0238	0239	0240	0241	0242
0243	0244	0245	0246	0247	0248	0249	0250	0251	0252	0253	0254	0255	0256	0257	0258	0259	0260	0261	0262	0263
0264	0265	0266	0267	0268	0269	0270	0271	0272	0273	0274	0275	0276	0277	0278	0279	0280	0281	0282	0283	0284
0285	0286	0287	0288	0289	0290	0291	0292	0293	0294											
0301	0302	0303	0304	0305	0306	0307	0308	0309	0310	0311	0312	0313	0314	0315	0316	0317	0318	0319	0320	0321
0322	0323	0324	0325	0326	0327	0328	0329	0330	0331	0332	0333	0334	0335	0336	0337	0338	0339	0340	0341	0342
0343	0344	0345	0346	0347	0348	0349	0350	0351	0352	0353	0354	0355	0356	0357	0358	0359	0360	0361	0362	0363
0364	0365	0366	0367	0368	0369	0370	0371	0372	0373	0374	0375	0376	0377	0378	0379	0380	0381	0382	0383	0384
0385	0386	0387	0388	0389	0390	0391	0392	0393	0394											
0401	0402	0403	0404	0405	0406	0407	0408	0409	0410	0411	0412	0413	0414	0415	0416	0417	0418	0419	0420	0421
0422	0423	0424	0425	0426	0427	0428	0429	0430	0431	0432	0433	0434	0435	0436	0437	0438	0439	0440	0441	0442
0443	0444	0445	0446	0447	0448	0449	0450	0451	0452	0453	0454	0455	0456	0457	0458	0459	0460	0461	0462	0463
0464	0465	0466	0467	0468	0469	0470	0471	0472	0473	0474	0475	0476	0477	0478	0479	0480	0481	0482	0483	0484
0485	0486	0487	0488	0489	0490	0491	0492	0493	0494											
0501	0502	0503	0504	0505	0506	0507	0508	0509	0510	0511	0512	0513	0514	0515	0516	0517	0518	0519	0520	0521
0522	0523	0524	0525	0526	0527	0528	0529	0530	0531	0532	0533	0534	0535	0536	0537	0538	0539	0540	0541	0542
0543	0544	0545	0546	0547	0548	0549	0550	0551	0552	0553	0554	0555	0556	0557	0558	0559	0560	0561	0562	0563
0564	0565	0566	0567	0568	0569	0570	0571	0572	0573	0574	0575	0576	0577	0578	0579	0580	0581	0582	0583	0584
0585	0586	0587	0588	0589	0590	0591	0592	0593	0594											
0601	0602	0603	0604	0605	0606	0607	0608	0609	0610	0611	0612	0613	0614	0615	0616	0617	0618	0619	0620	0621
0622	0623	0624	0625	0626	0627	0628	0629	0630	0631	0632	0633	0634	0635	0636	0637	0638	0639	0640	0641	0642
0643	0644	0645	0646	0647	0648	0649	0650	0651	0652	0653	0654	0655	0656	0657	0658	0659	0660	0661	0662	0663
0664	0665	0666	0667	0668	0669	0670	0671	0672	0673	0674	0675	0676	0677	0678	0679	0680	0681	0682	0683	0684
0685	0686	0687	0688	0689	0690	0691	0692	0693	0694											
0701	0702	0703	0704	0705	0706	0707	0708	0709	0710	0711	0712	0713	0714	0715	0716	0717	0718	0719	0720	0721
0722	0723	0724	0725	0726	0727	0728	0729	0730	0731	0732	0733	0734	0735	0736	0737	0738	0739	0740	0741	0742
0743	0744	0745	0746	0747	0748	0749	0750	0751	0752	0753	0754	0755	0756	0757	0758	0759	0760	0761	0762	0763
0764	0765	0766	0767	0768	0769	0770	0771	0772	0773	0774	0775	0776	0777	0778	0779	0780	0781	0782	0783	0784
0785	0786	0787	0788	0789	0790	0791	0792	0793	0794											

0801 0802 0803 0804 0805 0806 0807 0808 0809 0810 0811 0812 0813 0814 0815 0816 0817 0818 0819 0820 0821
 0822 0823 0824 0825 0826 0827 0828 0829 0830 0831 0832 0833 0834 0835 0836 0837 0838 0839 0840 0841 0842
 0843 0844 0845 0846 0847 0848 0849 0850 0851 0852 0853 0854 0855 0856 0857 0858 0859 0860 0861 0862 0863
 0864 0865 0866 0867 0868 0869 0870 0871 0872 0873 0874 0875 0876 0877 0878 0879 0880 0881 0882 0883 0884
 オ ツ ヤ ユ ヨ フ カ ケ
 0885 0886 0887 0888 0889 0890 0891 0892 0893 0894

0901 0902 0903 0904 0905 0906 0907 0908 0909 0910 0911 0912 0913 0914 0915 0916 0917 0918 0919 0920 0921
 0922 0923 0924 0925 0926 0927 0928 0929 0930 0931 0932 0933 0934 0935 0936 0937 0938 0939 0940 0941 0942
 0943 0944 0945 0946 0947 0948 0949 0950 0951 0952 0953 0954 0955 0956 0957 0958 0959 0960 0961 0962 0963
 0964 0965 0966 0967 0968 0969 0970 0971 0972 0973 0974 0975 0976 0977 0978 0979 0980 0981 0982 0983 0984
 0985 0986 0987 0988 0989 0990 0991 0992 0993 0994

1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021
 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040 1041 1042
 1043 1044 1045 1046 1047 1048 1049 1050 1051 1052 1053 1054 1055 1056 1057 1058 1059 1060 1061 1062 1063
 1064 1065 1066 1067 1068 1069 1070 1071 1072 1073 1074 1075 1076 1077 1078 1079 1080 1081 1082 1083 1084
 1085 1086 1087 1088 1089 1090 1091 1092 1093 1094

1101 1102 1103 1104 1105 1106 1107 1108 1109 1110 1111 1112 1113 1114 1115 1116 1117 1118 1119 1120 1121
 1122 1123 1124 1125 1126 1127 1128 1129 1130 1131 1132 1133 1134 1135 1136 1137 1138 1139 1140 1141 1142
 1143 1144 1145 1146 1147 1148 1149 1150 1151 1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158 1159 1160 1161 1162 1163
 1164 1165 1166 1167 1168 1169 1170 1171 1172 1173 1174 1175 1176 1177 1178 1179 1180 1181 1182 1183 1184
 1185 1186 1187 1188 1189 1190 1191 1192 1193 1194

1201 1202 1203 1204 1205 1206 1207 1208 1209 1210 1211 1212 1213 1214 1215 1216 1217 1218 1219 1220 1221
 1222 1223 1224 1225 1226 1227 1228 1229 1230 1231 1232 1233 1234 1235 1236 1237 1238 1239 1240 1241 1242
 1243 1244 1245 1246 1247 1248 1249 1250 1251 1252 1253 1254 1255 1256 1257 1258 1259 1260 1261 1262 1263
 1264 1265 1266 1267 1268 1269 1270 1271 1272 1273 1274 1275 1276 1277 1278 1279 1280 1281 1282 1283 1284
 1285 1286 1287 1288 1289 1290 1291 1292 1293 1294
 1301 1302 1303 1304 1305 1306 1307 1308 1309 1310 1311 1312 1313 1314 1315 1316 1317 1318 1319 1320 1321
 1322 1323 1324 1325 1326 1327 1328 1329 1330 1331 1332 1333 1334 1335 1336 1337 1338 1339 1340 1341 1342
 1343 1344 1345 1346 1347 1348 1349 1350 1351 1352 1353 1354 1355 1356 1357 1358 1359 1360 1361 1362 1363
 1364 1365 1366 1367 1368 1369 1370 1371 1372 1373 1374 1375 1376 1377 1378 1379 1380 1381 1382 1383 1384
 °K cal Na KK TEL FAX am pm ㊦ ㊧ ㊨
 1385 1386 1387 1388 1389 1390 1391 1392 1393 1394

1401 1402 1403 1404 1405 1406 1407 1408 1409 1410 1411 1412 1413 1414 1415 1416 1417 1418 1419 1420 1421
 1422 1423 1424 1425 1426 1427 1428 1429 1430 1431 1432 1433 1434 1435 1436 1437 1438 1439 1440 1441 1442
 1443 1444 1445 1446 1447 1448 1449 1450 1451 1452 1453 1454 1455 1456 1457 1458 1459 1460 1461 1462 1463
 1464 1465 1466 1467 1468 1469 1470 1471 1472 1473 1474 1475 1476 1477 1478 1479 1480 1481 1482 1483 1484
 1485 1486 1487 1488 1489 1490 1491 1492 1493 1494

1601	1602	1603	1604	1605	1606	1607	1608	1609	1610	1611	1612	1613	1614	1615	1616	1617	1618	1619	1620	1621
垂	噉	娃	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	芦	鯨	梓	庄	
1622	1623	1624	1625	1626	1627	1628	1629	1630	1631	1632	1633	1634	1635	1636	1637	1638	1639	1640	1641	1642
幹	扱	宛	姐	虻	鉤	綾	鮎	或	粟	稗	安	庵	庵	按	暗	案	鞍	杏	以	
1643	1644	1645	1646	1647	1648	1649	1650	1651	1652	1653	1654	1655	1656	1657	1658	1659	1660	1661	1662	1663
伊	位	依	偉	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	椅	畏	異	移	維	緯	胃	
1664	1665	1666	1667	1668	1669	1670	1671	1672	1673	1674	1675	1676	1677	1678	1679	1680	1681	1682	1683	1684
萎	衣	謂	違	醫	井	亥	域	育	郁	礪	一	壹	溢	逸	稻	茨	芋	鰭	允	
1685	1686	1687	1688	1689	1690	1691	1692	1693	1694	1701	1711	1712	1713	1714	1715	1716	1717	1718	1719	1720
印	咽	員	姻	引	飲	淫	胤	蔭	遷	雨	卯	鵝	窺	丑	確	白	渴	噓	頤	
1701	1702	1703	1704	1705	1706	1707	1708	1709	1710	1732	1733	1734	1735	1736	1737	1738	1739	1740	1741	1742
院	隱	鰓	頤	右	瓜	閭	烏	運	雲	雲	往	餌	窻	營	嬰	影	曳	榮	永	
1722	1723	1724	1725	1726	1727	1728	1729	1730	1731	1732	1733	1734	1735	1736	1737	1738	1739	1740	1741	1742
蔚	鰓	姥	廐	浦	瓜	閭	烏	運	雲	雲	往	餌	窻	營	嬰	影	曳	榮	永	
1743	1744	1745	1746	1747	1748	1749	1750	1751	1752	1753	1754	1755	1756	1757	1758	1759	1760	1761	1762	1763
泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	銳	銳	疫	疫	疫	馭	悅	越	苑	榎	厭	元	
1764	1765	1766	1767	1768	1769	1770	1771	1772	1773	1774	1775	1776	1777	1778	1779	1780	1781	1782	1783	1784
園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	演	演	炎	焰	煙	燕	猿	緣	苑	園	遠	鉛	
1785	1786	1787	1788	1789	1790	1791	1792	1793	1794	1811	1812	1813	1814	1815	1816	1817	1818	1819	1820	1821
鴛	塩	於	汚	甥	央	奧	往	心	心	黃	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	
1801	1802	1803	1804	1805	1806	1807	1808	1809	1810	1832	1833	1834	1835	1836	1837	1838	1839	1840	1841	1842
押	旺	橫	歐	王	翁	襖	襖	鶩	鶩	何	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	
1822	1823	1824	1825	1826	1827	1828	1829	1830	1831	1832	1833	1834	1835	1836	1837	1838	1839	1840	1841	1842
俺	恩	溫	穩	音	下	化	飯	何	何	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	
1843	1844	1845	1846	1847	1848	1849	1850	1851	1852	1853	1854	1855	1856	1857	1858	1859	1860	1861	1862	1863
暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾												

2201	2202	2203	2204	2205	2206	2207	2208	2209	2210	2211	2212	2213	2214	2215	2216	2217	2218	2219	2220	2221
供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強	疆	怯	恐	恭	挾	教
2222	2223	2224	2225	2226	2227	2228	2229	2230	2231	2232	2233	2234	2235	2236	2237	2238	2239	2240	2241	2242
橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	蓄	鄉	鏡	響	饗	驚	仰	凝	奔	曉	業	局	曲
2243	2244	2245	2246	2247	2248	2249	2250	2251	2252	2253	2254	2255	2256	2257	2258	2259	2260	2261	2262	2263
極	玉	桐	料	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	衿	襟	襟
2264	2265	2266	2267	2268	2269	2270	2271	2272	2273	2274	2275	2276	2277	2278	2279	2280	2281	2282	2283	2284
謹	近	金	吟	銀	九	俱	句	區	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駟	駒	具	愚	虞	喰
2285	2286	2287	2288	2289	2290	2291	2292	2293	2294											
空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	肩	屈											
2301	2302	2303	2304	2305	2306	2307	2308	2309	2310	2311	2312	2313	2314	2315	2316	2317	2318	2319	2320	2321
掘	厓	沓	轡	窪	窪	隈	隈	榮	縑	桑	欽	欽	勲	君	薰	訓	群	軍	郡	卦
2322	2323	2324	2325	2326	2327	2328	2329	2330	2331	2332	2333	2334	2335	2336	2337	2338	2339	2340	2341	2342
袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	型	契	形	徑	徑	患	慶	慧	憩	揭	携	敬	景
2343	2344	2345	2346	2347	2348	2349	2350	2351	2352	2353	2354	2355	2356	2357	2358	2359	2360	2361	2362	2363
桂	溪	畦	稽	系	經	繼	繫	荳	荳	荳	計	計	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎	鯨
2364	2365	2366	2367	2368	2369	2370	2371	2372	2373	2374	2375	2376	2377	2378	2379	2380	2381	2382	2383	2384
劇	戲	擊	激	陳	朽	欠	欠	潔	潔	穴	結	血	訣	月	件	俟	倦	健	兼	券
2385	2386	2387	2388	2389	2390	2391	2392	2393	2394											
劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲											
2401	2402	2403	2404	2405	2406	2407	2408	2409	2410	2411	2412	2413	2414	2415	2416	2417	2418	2419	2420	2421
檢	樞	牽	犬	獻	研	硯	絹	巢	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	陝	頭	驗	嶮	元
2422	2423	2424	2425	2426	2427	2428	2429	2430	2431	2432	2433	2434	2435	2436	2437	2438	2439	2440	2441	2442
原	嚴	幻	弦	減	源	現	絃	絃	言	言	諺	限	平	個	古	呼	固	姑	孤	己
2443	2444	2445	2446	2447	2448	2449	2450	2451	2452	2453	2454	2455	2456	2457	2458	2459	2460	2461	2462	2463
庫	弧	戶	故	枯	湖	糊	袴	股	胡	菰	菰	虎	誇	跨	鉗	雇	顧	鼓	五	互
2464	2465	2466	2467	2468	2469	2470	2471	2472	2473	2474	2475	2476	2477	2478	2479	2480	2481	2482	2483	2484
伍	午	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	櫺	瑚	基	語	誤	護	訕	乞	鯉	交	佼	侯
2485	2486	2487	2488	2489	2490	2491	2492	2493	2494											
候	倖	光	公	功	効	厚	口	向												
2501	2502	2503	2504	2505	2506	2507	2508	2509	2510	2511	2512	2513	2514	2515	2516	2517	2518	2519	2520	2521
后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	庑	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控
2522	2523	2524	2525	2526	2527	2528	2529	2530	2531	2532	2533	2534	2535	2536	2537	2538	2539	2540	2541	2542
攻	昂	晃	更	杭	校	樓	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紃	絞
2543	2544	2545	2546	2547	2548	2549	2550	2551	2552	2553	2554	2555	2556	2557	2558	2559	2560	2561	2562	2563
網	耕	肯	肱	腔	肱	肱	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	購	砥	鋼	閭	降	降
2564	2565	2566	2567	2568	2569	2570	2571	2572	2573	2574	2575	2576	2577	2578	2579	2580	2581	2582	2583	2584
項	香	高	鴻	剛	劫	號	合	壕	拷	濠	豪	轟	翹	克	刻	告	國	穀	酷	鵠
2585	2586	2587	2588	2589	2590	2591	2592	2593	2594											
黑	獄	渡	腰	飢	忽	慄	骨	迫	込											
2601	2602	2603	2604	2605	2606	2607	2608	2609	2610	2611	2612	2613	2614	2615	2616	2617	2618	2619	2620	2621
此	頃	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昏	昆	根	根	混	痕	紺	良	魂	些	佐	叉
2622	2623	2624	2625	2626	2627	2628	2629	2630	2631	2632	2633	2634	2635	2636	2637	2638	2639	2640	2641	2642
唆	嵯	左	差	查	沙	瑤	詐	鎖	娑	坐	座	挫	債	催	催	再	最	哉	塞	妻
2643	2644	2645	2646	2647	2648	2649	2650	2651	2652	2653	2654	2655	2656	2657	2658	2659	2660	2661	2662	2663
幸	彩	才	採	裁	歲	濟	災	采	犀	碎	祭	齋	齋	細	菜	載	載	劑	劑	在
2664	2665	2666	2667	2668	2669	2670	2671	2672	2673	2674	2675	2676	2677	2678	2679	2680	2681	2682	2683	2684
材	罪	財	冢	坂	阪	埠	梓	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	揀	昨	朔	柵
2685	2686	2687	2688	2689	2690	2691	2692	2693	2694											
窄	策	索	錯	梭	鮭	筴	匙	冊	刷											
2701	2702	2703	2704	2705	2706	2707	2708	2709	2710	2711	2712	2713	2714	2715	2716	2717	2718	2719	2720	2721
察	撈	擦	札	殺	薩	雜	皁	鯖	捌	鏑	鏑	鮫	血	晒	三	傘	參	山	慘	撒
2722	2723	2724	2725	2726	2727	2728	2729	2730	2731	2732	2733	2734	2735	2736	2737	2738	2739	2740	2741	2742
散	棧	燦	珊	算	纂	蚕	讚	贊	酸	餐	斬	暫	殘	仕	仕	伺	使	刺	司	司
2743	2744	2745	2746	2747	2748	2749	2750	2751	2752	2753	2754	2755	2756	2757	2758	2759	2760	2761	2762	2763
史	嗣	四	士	始	姉	姿	屍	市	師	志	思	指	支	攷	攷	斯	施	旨	枝	止
2764	2765	2766	2767	2768	2769	2770	2771	2772	2773	2774	2775	2776	2777	2778	2779	2780	2781	2782	2783	2784
死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	雌	飼
2785	2786	2787	2788	2789	2790	2791	2792	2793	2794											
齒	事	似	侍	兒	字	寺	慈	持	時											
2801	2802	2803	2804	2805	2806	2807	2808	2809	2810	2811	2812	2813	2814	2815	2816	2817	2818	2819	2820	2821
次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	時	辭	汐	鹿	式	識	鳴	竺	軸	穴
2822	2823	2824	2825	2826	2827	2828	2829	2830	2831	2832	2833	2834	2835	2836	2837	2838	2839	2840	2841	2842
零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	濕	漆	疾	質	寔	蓀	篠	偲	柴	屢	屢	蕊	縞
2843	2844	2845	2846	2847	2848	2849	2850	2851	2852	2853	2854	2855	2856	2857	2858	2859	2860	2861	2862	2863
舍	寫	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
2864	2865	2866	2867	2868	2869	2870	2871	2872	2873	2874	2875	2876	2877	2878	2879	2880	2881	2882	2883	2884
酌	積	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒
2885	2886	2887	2888	2889	2890	2891	2892	2893	2894											
受	呢	壽	授	樹	綬	需	囚	収	周											

2901	2902	2903	2904	2905	2906	2907	2908	2909	2910	2911	2912	2913	2914	2915	2916	2917	2918	2919	2920	2921
宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週
2922	2923	2924	2925	2926	2927	2928	2929	2930	2931	2932	2933	2934	2935	2936	2937	2938	2939	2940	2941	2942
苜	酬	集	醜	什	住	充	從	戎	戎	柔	汁	洪	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑
2943	2944	2945	2946	2947	2948	2949	2950	2951	2952	2953	2954	2955	2956	2957	2958	2959	2960	2961	2962	2963
祝	縮	肅	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楮	殉	淳
2964	2965	2966	2967	2968	2969	2970	2971	2972	2973	2974	2975	2976	2977	2978	2979	2980	2981	2982	2983	2984
準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	處	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	著	語	諸
2985	2986	2987	2988	2989	2990	2991	2992	2993	2994	2995	2996	2997	2998	2999	3000	3001	3002	3003	3004	3005
助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	娼	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承
3001	3002	3003	3004	3005	3006	3007	3008	3009	3010	3011	3012	3013	3014	3015	3016	3017	3018	3019	3020	3021
勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	妾	娼	娼	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省
3022	3023	3024	3025	3026	3027	3028	3029	3030	3031	3032	3033	3034	3035	3036	3037	3038	3039	3040	3041	3042
抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省
3043	3044	3045	3046	3047	3048	3049	3050	3051	3052	3053	3054	3055	3056	3057	3058	3059	3060	3061	3062	3063
硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	昌	蔣	蕉	衡	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
3064	3065	3066	3067	3068	3069	3070	3071	3072	3073	3074	3075	3076	3077	3078	3079	3080	3081	3082	3083	3084
鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丞	乘	乘	刺	城	場	壞	嬢	常	情	擾	條	杖	淨	
3085	3086	3087	3088	3089	3090	3091	3092	3093	3094	3095	3096	3097	3098	3099	3100	3101	3102	3103	3104	3105
狀	量	稜	蒸	讓	釵	鋌	囑	墮	飾	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寢	審	心	慎
3101	3102	3103	3104	3105	3106	3107	3108	3109	3110	3111	3112	3113	3114	3115	3116	3117	3118	3119	3120	3121
拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寢	審	心	慎
3122	3123	3124	3125	3126	3127	3128	3129	3130	3131	3132	3133	3134	3135	3136	3137	3138	3139	3140	3141	3142
振	新	晋	森	棲	浸	深	申	疹	真	神	紳	秦	臣	心	薪	親	診	身	辛	進
3143	3144	3145	3146	3147	3148	3149	3150	3151	3152	3153	3154	3155	3156	3157	3158	3159	3160	3161	3162	3163
針	震	人	仁	刃	塵	王	尋	甚	腎	訊	迅	陣	陣	鞫	筍	諷	須	冪	冪	冪
3164	3165	3166	3167	3168	3169	3170	3171	3172	3173	3174	3175	3176	3177	3178	3179	3180	3181	3182	3183	3184
逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	遂	醉	錐	錐	錐	隨	瑞	髓	崇	高	數
3185	3186	3187	3188	3189	3190	3191	3192	3193	3194	3195	3196	3197	3198	3199	3200	3201	3202	3203	3204	3205
樞	趨	離	据	杉	樞	官	雀	樞	樞	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正
3201	3202	3203	3204	3205	3206	3207	3208	3209	3210	3211	3212	3213	3214	3215	3216	3217	3218	3219	3220	3221
澄	摺	寸	世	瀨	畝	是	淒	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正
3222	3223	3224	3225	3226	3227	3228	3229	3230	3231	3232	3233	3234	3235	3236	3237	3238	3239	3240	3241	3242
清	性	生	盛	精	聖	聲	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	靜	齊	稅	脆	隻	席
3243	3244	3245	3246	3247	3248	3249	3250	3251	3252	3253	3254	3255	3256	3257	3258	3259	3260	3261	3262	3263
惜	戚	斥	昔	析	石	積	績	績	責	赤	跡	蹟	蹟	蹟	蹟	蹟	蹟	蹟	蹟	蹟
3264	3265	3266	3267	3268	3269	3270	3271	3272	3273	3274	3275	3276	3277	3278	3279	3280	3281	3282	3283	3284
窃	節	說	雪	絕	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰	屬	撰	桤	桤	桤
3285	3286	3287	3288	3289	3290	3291	3292	3293	3294	3295	3296	3297	3298	3299	3300	3301	3302	3303	3304	3305
淺	洗	染	潛	煎	煽	旋	穿	箭	線	選	選	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禪
3301	3302	3303	3304	3305	3306	3307	3308	3309	3310	3311	3312	3313	3314	3315	3316	3317	3318	3319	3320	3321
織	羨	腺	舛	船	薦	詮	踐	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選
3322	3323	3324	3325	3326	3327	3328	3329	3330	3331	3332	3333	3334	3335	3336	3337	3338	3339	3340	3341	3342
繕	膳	糧	嘈	塑	岨	措	曾	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴
3343	3344	3345	3346	3347	3348	3349	3350	3351	3352	3353	3354	3355	3356	3357	3358	3359	3360	3361	3362	3363
阻	遡	風	僧	創	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	惣	想	搜	掃	揮	搔
3364	3365	3366	3367	3368	3369	3370	3371	3372	3373	3374	3375	3376	3377	3378	3379	3380	3381	3382	3383	3384
操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	爭	瘦	相	窓	糟	綜	綜	草	莊	葬	蒼	藻	
3385	3386	3387	3388	3389	3390	3391	3392	3393	3394	3395	3396	3397	3398	3399	3400	3401	3402	3403	3404	3405
裝	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	增	憎	捉	束	測	足	速	俗	屬	賊	族	統	卒
3401	3402	3403	3404	3405	3406	3407	3408	3409	3410	3411	3412	3413	3414	3415	3416	3417	3418	3419	3420	3421
臟	臧	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	屬	賊	族	統	卒	袖
3422	3423	3424	3425	3426	3427	3428	3429	3430	3431	3432	3433	3434	3435	3436	3437	3438	3439	3440	3441	3442
其	掄	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰	訖	唾	墮	妥	情	打	杓	杓	杓
3443	3444	3445	3446	3447	3448	3449	3450	3451	3452	3453	3454	3455	3456	3457	3458	3459	3460	3461	3462	3463
陀	駄	驛	體	堆	對	耐	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸
3464	3465	3466	3467	3468	3469	3470	3471	3472	3473	3474	3475	3476	3477	3478	3479	3480	3481	3482	3483	3484
退	逮	隊	黨	鯛	代	台	大	第	釅	題	鷹	淹	瀧	卓	啄	宅	托	扞	拓	沃
3485	3486	3487	3488	3489	3490	3491	3492	3493	3494	3495	3496	3497	3498	3499	3500	3501	3502	3503	3504	3505
濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	風	蛸	只	狸	鯨	樽	誰	誰	丹	嘆	坦	担	探	
3501	3502	3503	3504	3505	3506	3507	3508	3509	3510	3511	3512	3513	3514	3515	3516	3517	3518	3519	3520	3521
叩	但	達	辰	奪	脫	巽	豎	迫	棚	狸	鯨	樽	誰	誰	丹	嘆	坦	担	探	
3522	3523	3524	3525	3526	3527	3528	3529	3530	3531	3532	3533	3534	3535	3536	3537	3538	3539	3540	3541	3542
旦	歎	淡	湛	炭	短	端	綻	綻	綻	胆	蛋	誕	鐸	鐸	壇	彈	暖	檀	檀	段
3543	3544	3545	3546	3547	3548	3549	3550	3551	3552	3553	3554	3555	3556	3557	3558	3559	3560	3561	3562	3563
男	談	值	知	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	致	致	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄
3564	3565	3566	3567	3568	3569	3570	3571	3572	3573	3574	3575	3576	3577	3578	3579	3580	3581	3582	3583	3584
逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	屋	柱	注	虫	衷	註	耐	鑄	駐	櫓
3585	3586	3587	3588	3589	3590	3591	3592	3593	3594	3595	3596	3597	3598	3599	3600	3601	3602	3603	3604	3605
瀕	猪	芋	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵											

3601	3602	3603	3604	3605	3606	3607	3608	3609	3610	3611	3612	3613	3614	3615	3616	3617	3618	3619	3620	3621
帖	帳	斤	弔	張	彫	微	懲	挑	暢	朝	潮	煤	町	眺	聽	脹	腸	蝶	調	謀
3622	3623	3624	3625	3626	3627	3628	3629	3630	3631	3632	3633	3634	3635	3636	3637	3638	3639	3640	3641	3642
超	跳	銚	長	頂	鳥	勑	抄	直	朕	沈	珍	質	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚
3643	3644	3645	3646	3647	3648	3649	3650	3651	3652	3653	3654	3655	3656	3657	3658	3659	3660	3661	3662	3663
痛	通	塚	柁	捆	楓	佃	漬	柘	辻	薦	綴	鏑	椿	漬	坪	壺	孀	紬	爪	吊
3664	3665	3666	3667	3668	3669	3670	3671	3672	3673	3674	3675	3676	3677	3678	3679	3680	3681	3682	3683	3684
釣	鶴	亭	低	停	偵	剝	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯
3685	3686	3687	3688	3689	3690	3691	3692	3693	3694											
汀	錠	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	遞											
3701	3702	3703	3704	3705	3706	3707	3708	3709	3710	3711	3712	3713	3714	3715	3716	3717	3718	3719	3720	3721
邸	釘	鼎	泥	摘	攪	擲	敵	的	笛	適	適	鎬	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典
3722	3723	3724	3725	3726	3727	3728	3729	3730	3731	3732	3733	3734	3735	3736	3737	3738	3739	3740	3741	3742
填	展	店	添	纏	甜	貼	軫	顛	點	傳	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	
3743	3744	3745	3746	3747	3748	3749	3750	3751	3752	3753	3754	3755	3756	3757	3758	3759	3760	3761	3762	3763
屠	徒	斗	杜	渡	登	冤	賭	途	都	鍍	砥	斫	努	度	奴	怒	倒	党	冬	
3764	3765	3766	3767	3768	3769	3770	3771	3772	3773	3774	3775	3776	3777	3778	3779	3780	3781	3782	3783	3784
凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	栲	棟	盜	淘	湯	涛	灯
3785	3786	3787	3788	3789	3790	3791	3792	3793	3794											
燈	当	痘	榜	等	答	筒	糖	統	到											
3801	3802	3803	3804	3805	3806	3807	3808	3809	3810	3811	3812	3813	3814	3815	3816	3817	3818	3819	3820	3821
董	蕩	藤	計	膳	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闊	働	動	同	堂	導	懂	撞
3822	3823	3824	3825	3826	3827	3828	3829	3830	3831	3832	3833	3834	3835	3836	3837	3838	3839	3840	3841	3842
洞	腫	童	胴	筍	道	銅	峠	錫	匿	得	德	流	督	禿	禿	毒	獨	誦	枋	
3843	3844	3845	3846	3847	3848	3849	3850	3851	3852	3853	3854	3855	3856	3857	3858	3859	3860	3861	3862	3863
橡	凸	突	椽	屆	鳶	苦	寅	酉	潯	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	吞	燻	
3864	3865	3866	3867	3868	3869	3870	3871	3872	3873	3874	3875	3876	3877	3878	3879	3880	3881	3882	3883	3884
奈	那	內	乍	風	雍	謎	灘	捺	鍋	樞	馴	繩	啜	南	楠	軟	難	汝	二	尼
3885	3886	3887	3888	3889	3890	3891	3892	3893	3894											
式	迄	勾	賑	肉	虹	廿	日	乳	入											
3901	3902	3903	3904	3905	3906	3907	3908	3909	3910	3911	3912	3913	3914	3915	3916	3917	3918	3919	3920	3921
如	尿	韭	任	妊	忍	認	濡	襦	祢	寧	葱	貓	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃
3922	3923	3924	3925	3926	3927	3928	3929	3930	3931	3932	3933	3934	3935	3936	3937	3938	3939	3940	3941	3942
迺	之	埜	囊	惱	濃	納	能	腦	膿	農	眼	蚤	巴	把	播	霸	杷	派	琶	
3943	3944	3945	3946	3947	3948	3949	3950	3951	3952	3953	3954	3955	3956	3957	3958	3959	3960	3961	3962	3963
破	婆	罵	芭	馬	俳	庖	拜	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	
3964	3965	3966	3967	3968	3969	3970	3971	3972	3973	3974	3975	3976	3977	3978	3979	3980	3981	3982	3983	3984
煤	煤	狠	賈	壳	賠	陪	這	蠅	秤	矧	荻	伯	剥	博	拍	泊	白	箔	柏	
3985	3986	3987	3988	3989	3990	3991	3992	3993	3994											
舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	駁	麥												
4001	4002	4003	4004	4005	4006	4007	4008	4009	4010	4011	4012	4013	4014	4015	4016	4017	4018	4019	4020	4021
函	箱	裕	箸	瞿	筍	幡	肌	畑	畠	八	鉢	澆	癸	醜	髮	伐	罰	拔	筏	
4022	4023	4024	4025	4026	4027	4028	4029	4030	4031	4032	4033	4034	4035	4036	4037	4038	4039	4040	4041	4042
闊	鳩	嘶	塙	蛤	隼	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版	犯	班	畔	
4043	4044	4045	4046	4047	4048	4049	4050	4051	4052	4053	4054	4055	4056	4057	4058	4059	4060	4061	4062	4063
繁	般	藩	販	範	采	煩	飯	挽	晚	番	盤	盤	蕃	蕃	匪	卑	叵	妃	庇	
4064	4065	4066	4067	4068	4069	4070	4071	4072	4073	4074	4075	4076	4077	4078	4079	4080	4081	4082	4083	4084
彼	悲	扉	批	披	斐	比	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	
4085	4086	4087	4088	4089	4090	4091	4092	4093	4094											
樋	籛	備	尾	微	枇	毘	琵琶	眉	美											
4101	4102	4103	4104	4105	4106	4107	4108	4109	4110	4111	4112	4113	4114	4115	4116	4117	4118	4119	4120	4121
鼻	柁	樺	匹	疋	髭	彛	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姬	媛	紐	百	謬
4122	4123	4124	4125	4126	4127	4128	4129	4130	4131	4132	4133	4134	4135	4136	4137	4138	4139	4140	4141	4142
俵	彪	標	冰	漂	瓢	票	表	評	豹	廟	拙	病	秒	苗	錨	鉅	蒜	蛭	鰭	品
4143	4144	4145	4146	4147	4148	4149	4150	4151	4152	4153	4154	4155	4156	4157	4158	4159	4160	4161	4162	4163
彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	佈	扶	敷
4164	4165	4166	4167	4168	4169	4170	4171	4172	4173	4174	4175	4176	4177	4178	4179	4180	4181	4182	4183	4184
斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	無	部	
4185	4186	4187	4188	4189	4190	4191	4192	4193	4194											
封	楓	風	葢	路	伏	副	復	幅	服											
4201	4202	4203	4204	4205	4206	4207	4208	4209	4210	4211	4212	4213	4214	4215	4216	4217	4218	4219	4220	4221
福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	份	焚	奮	粉	糞
4222	4223	4224	4225	4226	4227	4228	4229	4230	4231	4232	4233	4234	4235	4236	4237	4238	4239	4240	4241	4242
紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塤	幣	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	貢	僻	壁	癖	
4243	4244	4245	4246	4247	4248	4249	4250	4251	4252	4253	4254	4255	4256	4257	4258	4259	4260	4261	4262	4263
碧	別	瞥	蔑	篋	偏	變	篇	編	邊	返	遍	便	勉	婉	弁	鞭	保	舖	舖	
4264	4265	4266	4267	4268	4269	4270	4271	4272	4273	4274	4275	4276	4277	4278	4279	4280	4281	4282	4283	4284
圃	捕	步	甫	補	輔	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	包	呆	報	奉	
4285	4286	4287	4288	4289	4290	4291	4292	4293	4294											
宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋											

4301	4302	4303	4304	4305	4306	4307	4308	4309	4310	4311	4312	4313	4314	4315	4316	4317	4318	4319	4320	4321
法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍
4322	4323	4324	4325	4326	4327	4328	4329	4330	4331	4332	4333	4334	4335	4336	4337	4338	4339	4340	4341	4342
剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉞	防	吠
4343	4344	4345	4346	4347	4348	4349	4350	4351	4352	4353	4354	4355	4356	4357	4358	4359	4360	4361	4362	4363
頰	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釳	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4364	4365	4366	4367	4368	4369	4370	4371	4372	4373	4374	4375	4376	4377	4378	4379	4380	4381	4382	4383	4384
摩	磨	魔	麻	埋	妹	味	枚	每	哩	模	幕	膜	枕	鮪	怔	鱗	枰	亦	侯	又
4385	4386	4387	4388	4389	4390	4391	4392	4393	4394	4401	4402	4403	4404	4405	4406	4407	4408	4409	4410	4411
抹	末	沫	迄	促	繭	慮	萬	慢	滿	湊	衰	稔	脈	妙	耗	民	眠	務	夢	無
4422	4423	4424	4425	4426	4427	4428	4429	4430	4431	4432	4433	4434	4435	4436	4437	4438	4439	4440	4441	4442
牟	予	霧	鵲	掠	娟	娘	冥	名	命	盟	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿
4443	4444	4445	4446	4447	4448	4449	4450	4451	4452	4453	4454	4455	4456	4457	4458	4459	4460	4461	4462	4463
緬	面	麵	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	李	勿	餅
4464	4465	4466	4467	4468	4469	4470	4471	4472	4473	4474	4475	4476	4477	4478	4479	4480	4481	4482	4483	4484
尤	戾	粉	賁	問	悶	紋	門	勾	也	治	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	葉
4485	4486	4487	4488	4489	4490	4491	4492	4493	4494	4501	4502	4503	4504	4505	4506	4507	4508	4509	4510	4511
詛	躍	靖	柳	薺	鏈	愉	愈	油	癒	憂	損	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕
4522	4523	4524	4525	4526	4527	4528	4529	4530	4531	4532	4533	4534	4535	4536	4537	4538	4539	4540	4541	4542
論	輪	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	營	與	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁
4543	4544	4545	4546	4547	4548	4549	4550	4551	4552	4553	4554	4555	4556	4557	4558	4559	4560	4561	4562	4563
誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	譽	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
4564	4565	4566	4567	4568	4569	4570	4571	4572	4573	4574	4575	4576	4577	4578	4579	4580	4581	4582	4583	4584
曜	楊	樣	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
4585	4586	4587	4588	4589	4590	4591	4592	4593	4594	4601	4602	4603	4604	4605	4606	4607	4608	4609	4610	4611
沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	略	劉	流	溜	琉	粒
4622	4623	4624	4625	4626	4627	4628	4629	4630	4631	4632	4633	4634	4635	4636	4637	4638	4639	4640	4641	4642
藍	蘭	覽	利	吏	履	律	率	立	莅	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜
4643	4644	4645	4646	4647	4648	4649	4650	4651	4652	4653	4654	4655	4656	4657	4658	4659	4660	4661	4662	4663
痢	裏	裡	里	離	陸	亮	僚	兩	淋	寮	料	梁	涼	獠	療	瞭	稜	糧	良	諒
4664	4665	4666	4667	4668	4669	4670	4671	4672	4673	4674	4675	4676	4677	4678	4679	4680	4681	4682	4683	4684
遼	量	陵	領	力	綠	倫	厘	林	淋	琳	臨	臨	輪	麟	麟	璽	璽	璽	璽	璽
4685	4686	4687	4688	4689	4690	4691	4692	4693	4694	4701	4702	4703	4704	4705	4706	4707	4708	4709	4710	4711
類	令	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	禮	聯	勞	婁	廊	弄	朗	樓	榔	浪	漏	牢
4722	4723	4724	4725	4726	4727	4728	4729	4730	4731	4732	4733	4734	4735	4736	4737	4738	4739	4740	4741	4742
蓮	連	鍊	呂	魯	櫓	爐	路	露	露	勞	婁	廊	弄	朗	樓	榔	浪	漏	牢	狼
4743	4744	4745	4746	4747	4748	4749	4750	4751	4752	4753	4754	4755	4756	4757	4758	4759	4760	4761	4762	4763
竈	老	聾	蠟	郎	六	麗	祿	肋	錄	論	倭	和	話	奎	賄	脇	惑	梓	鷺	互
4764	4765	4766	4767	4768	4769	4770	4771	4772	4773	4774	4775	4776	4777	4778	4779	4780	4781	4782	4783	4784
亘	鰐	訛	藁	蕨	惋	灣	碗	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕
4785	4786	4787	4788	4789	4790	4791	4792	4793	4794	4801	4802	4803	4804	4805	4806	4807	4808	4809	4810	4811
式	巧	丕	个	卬	、	井	丿	乂	乖	乘	亂	豫	豫	事	舒	式	于	亞	亟	一
4822	4823	4824	4825	4826	4827	4828	4829	4830	4831	4832	4833	4834	4835	4836	4837	4838	4839	4840	4841	4842
亢	京	毫	賈	从	仍	仄	仆	仗	仗	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞
4843	4844	4845	4846	4847	4848	4849	4850	4851	4852	4853	4854	4855	4856	4857	4858	4859	4860	4861	4862	4863
估	侈	侏	佗	佻	佩	佰	侑	伴	來	侖	儼	俛	俛	俛	俛	俛	俛	俛	俛	俛
4864	4865	4866	4867	4868	4869	4870	4871	4872	4873	4874	4875	4876	4877	4878	4879	4880	4881	4882	4883	4884
俚	倚	倨	倨	倪	倮	倮	倮	倮	倮	倮	倮	倮	倮	倮	倮	倮	倮	倮	倮	倮
4885	4886	4887	4888	4889	4890	4891	4892	4893	4894	4901	4902	4903	4904	4905	4906	4907	4908	4909	4910	4911
偈	做	偕	偕	偕	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4901	4902	4903	4904	4905	4906	4907	4908	4909	4910	4911	4912	4913	4914	4915	4916	4917	4918	4919	4920	4921
僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4922	4923	4924	4925	4926	4927	4928	4929	4930	4931	4932	4933	4934	4935	4936	4937	4938	4939	4940	4941	4942
僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4943	4944	4945	4946	4947	4948	4949	4950	4951	4952	4953	4954	4955	4956	4957	4958	4959	4960	4961	4962	4963
僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4964	4965	4966	4967	4968	4969	4970	4971	4972	4973	4974	4975	4976	4977	4978	4979	4980	4981	4982	4983	4984
凰	口	函	又	刊	刊	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
4985	4986	4987	4988	4989	4990	4991	4992	4993	4994	4995	4996	4997	4998	4999	5000	5001	5002	5003	5004	5005
割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割

170

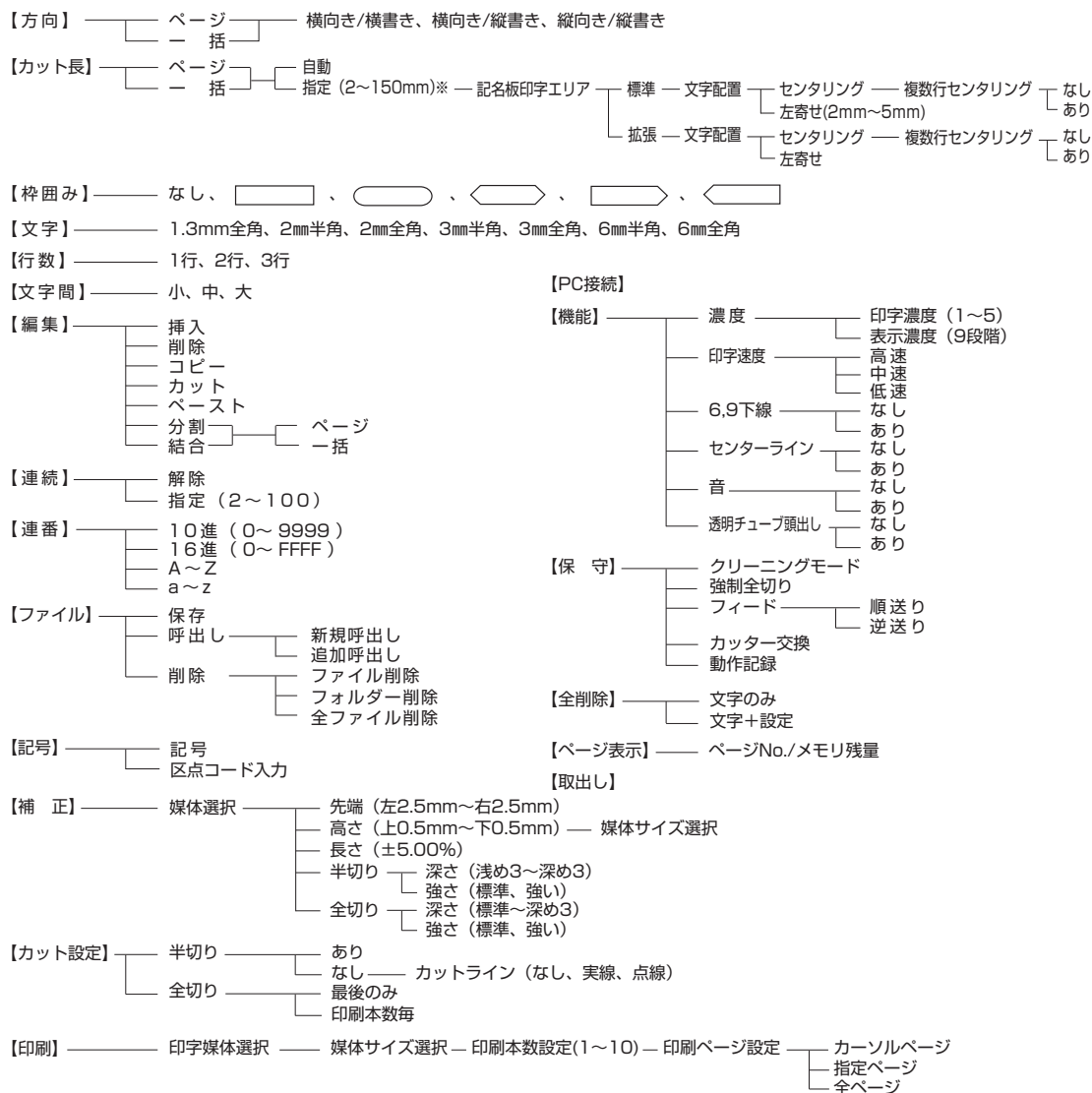
5701	5702	5703	5704	5705	5706	5707	5708	5709	5710	5711	5712	5713	5714	5715	5716	5717	5718	5719	5720	5721
曼	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱
5722	5723	5724	5725	5726	5727	5728	5729	5730	5731	5732	5733	5734	5735	5736	5737	5738	5739	5740	5741	5742
拔	扑	扒	拗	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊
5743	5744	5745	5746	5747	5748	5749	5750	5751	5752	5753	5754	5755	5756	5757	5758	5759	5760	5761	5762	5763
翔	挂	掣	拯	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊
5764	5765	5766	5767	5768	5769	5770	5771	5772	5773	5774	5775	5776	5777	5778	5779	5780	5781	5782	5783	5784
振	掣	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊
5785	5786	5787	5788	5789	5790	5791	5792	5793	5794	5811	5812	5813	5814	5815	5816	5817	5818	5819	5820	5821
摯	搏	摯	摯	摯	摯	摯	摯	摯	摯	摯	摯	摯	摯	摯	摯	摯	摯	摯	摯	摯
5801	5802	5803	5804	5805	5806	5807	5808	5809	5810	5811	5812	5813	5814	5815	5816	5817	5818	5819	5820	5821
據	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒
5822	5823	5824	5825	5826	5827	5828	5829	5830	5831	5832	5833	5834	5835	5836	5837	5838	5839	5840	5841	5842
揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆
5843	5844	5845	5846	5847	5848	5849	5850	5851	5852	5853	5854	5855	5856	5857	5858	5859	5860	5861	5862	5863
數	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂
5864	5865	5866	5867	5868	5869	5870	5871	5872	5873	5874	5875	5876	5877	5878	5879	5880	5881	5882	5883	5884
晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨
5885	5886	5887	5888	5889	5890	5891	5892	5893	5894	5911	5912	5913	5914	5915	5916	5917	5918	5919	5920	5921
暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎
5901	5902	5903	5904	5905	5906	5907	5908	5909	5910	5911	5912	5913	5914	5915	5916	5917	5918	5919	5920	5921
暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎
5922	5923	5924	5925	5926	5927	5928	5929	5930	5931	5932	5933	5934	5935	5936	5937	5938	5939	5940	5941	5942
杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌
5943	5944	5945	5946	5947	5948	5949	5950	5951	5952	5953	5954	5955	5956	5957	5958	5959	5960	5961	5962	5963
束	枳	枳	枳	枳	枳	枳	枳	枳	枳	枳	枳	枳	枳	枳	枳	枳	枳	枳	枳	枳
5964	5965	5966	5967	5968	5969	5970	5971	5972	5973	5974	5975	5976	5977	5978	5979	5980	5981	5982	5983	5984
梳	枅	枅	枅	枅	枅	枅	枅	枅	枅	枅	枅	枅	枅	枅	枅	枅	枅	枅	枅	枅
5985	5986	5987	5988	5989	5990	5991	5992	5993	5994	6011	6012	6013	6014	6015	6016	6017	6018	6019	6020	6021
梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧	梧
6001	6002	6003	6004	6005	6006	6007	6008	6009	6010	6011	6012	6013	6014	6015	6016	6017	6018	6019	6020	6021
楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮
6022	6023	6024	6025	6026	6027	6028	6029	6030	6031	6032	6033	6034	6035	6036	6037	6038	6039	6040	6041	6042
楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸
6043	6044	6045	6046	6047	6048	6049	6050	6051	6052	6053	6054	6055	6056	6057	6058	6059	6060	6061	6062	6063
骨	榎	榎	榎	榎	榎	榎	榎	榎	榎	榎	榎	榎	榎	榎	榎	榎	榎	榎	榎	榎
6064	6065	6066	6067	6068	6069	6070	6071	6072	6073	6074	6075	6076	6077	6078	6079	6080	6081	6082	6083	6084
榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭
6085	6086	6087	6088	6089	6090	6091	6092	6093	6094	6111	6112	6113	6114	6115	6116	6117	6118	6119	6120	6121
榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭
6101	6102	6103	6104	6105	6106	6107	6108	6109	6110	6111	6112	6113	6114	6115	6116	6117	6118	6119	6120	6121
榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭
6122	6123	6124	6125	6126	6127	6128	6129	6130	6131	6132	6133	6134	6135	6136	6137	6138	6139	6140	6141	6142
榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭
6143	6144	6145	6146	6147	6148	6149	6150	6151	6152	6153	6154	6155	6156	6157	6158	6159	6160	6161	6162	6163
殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍
6164	6165	6166	6167	6168	6169	6170	6171	6172	6173	6174	6175	6176	6177	6178	6179	6180	6181	6182	6183	6184
殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍
6185	6186	6187	6188	6189	6190	6191	6192	6193	6194	6211	6212	6213	6214	6215	6216	6217	6218	6219	6220	6221
泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄	泄
6201	6202	6203	6204	6205	6206	6207	6208	6209	6210	6211	6212	6213	6214	6215	6216	6217	6218	6219	6220	6221
油	油	油	油	油	油	油	油	油	油	油	油	油	油	油	油	油	油	油	油	油
6222	6223	6224	6225	6226	6227	6228	6229	6230	6231	6232	6233	6234	6235	6236	6237	6238	6239	6240	6241	6242
浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙
6243	6244	6245	6246	6247	6248	6249	6250	6251	6252	6253	6254	6255	6256	6257	6258	6259	6260	6261	6262	6263
淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤	淤
6264	6265	6266	6267	6268	6269	6270	6271	6272	6273	6274	6275	6276	6277	6278	6279	6280	6281	6282	6283	6284
滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿
6285	6286	6287	6288	6289	6290	6291	6292	6293	6294	6311	6312	6313	6314	6315	6316	6317	6318	6319	6320	6321
灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌	灌
6301	6302	6303	6304	6305	6306	6307	6308	6309	6310	6311	6312	6313	6314	6315	6316	6317	6318	6319	6320	6321
漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾
6322	6323	6324	6325	6326	6327	6328	6329	6330	6331	6332	6333	6334	6335	6336	6337	6338	6339	6340	6341	6342
漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾
6343	6344	6345	6346	6347	6348	6349	6350	6351	6352	6353	6354	6355	6356	6357	6358	6359	6360	6361	6362	6363
瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚	瀚
6364	6365	6366	6367	6368	6369	6370	6371	6372	6373	6374	6375	6376	6377	6378	6379	6380	6381	6382	6383	6384
烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙
6385	6386	6387	6388	6389	6390	6391	6392	6393	6394	6311	6312	6313	6314	6315	6316	6317	6318	6319	6320	6321
熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾	熾

6401	6402	6403	6404	6405	6406	6407	6408	6409	6410	6411	6412	6413	6414	6415	6416	6417	6418	6419	6420	6421
爨	燿	燠	燂	燄	燅	爭	爬	爰	爲	爻	俎	片	牀	牆	牋	牘	牚	牝	犁	型
6422	6423	6424	6425	6426	6427	6428	6429	6430	6431	6432	6433	6434	6435	6436	6437	6438	6439	6440	6441	6442
犇	犒	犖	犗	犙	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒
犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒	犒
6464	6465	6466	6467	6468	6469	6470	6471	6472	6473	6474	6475	6476	6477	6478	6479	6480	6481	6482	6483	6484
玻	珀	珥	珧	珩	珪	珫	珬	班	珮	珱	珲	珳	珴	珵	珶	珷	珸	珹	珺	珻
6485	6486	6487	6488	6489	6490	6491	6492	6493	6494	6495	6496	6497	6498	6499	6500	6501	6502	6503	6504	6505
瑪	瑤	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓐	瓑	瓒	瓓	瓔	瓕	瓖	瓗	瓘	瓙	瓚	瓛	瓜
6501	6502	6503	6504	6505	6506	6507	6508	6509	6510	6511	6512	6513	6514	6515	6516	6517	6518	6519	6520	6521
瓠	瓣	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮
6522	6523	6524	6525	6526	6527	6528	6529	6530	6531	6532	6533	6534	6535	6536	6537	6538	6539	6540	6541	6542
早	出	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍
6543	6544	6545	6546	6547	6548	6549	6550	6551	6552	6553	6554	6555	6556	6557	6558	6559	6560	6561	6562	6563
疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔
6564	6565	6566	6567	6568	6569	6570	6571	6572	6573	6574	6575	6576	6577	6578	6579	6580	6581	6582	6583	6584
痼	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁	瘁
6585	6586	6587	6588	6589	6590	6591	6592	6593	6594	6595	6596	6597	6598	6599	6600	6601	6602	6603	6604	6605
癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰
6606	6607	6608	6609	6610	6611	6612	6613	6614	6615	6616	6617	6618	6619	6620	6621	6622	6623	6624	6625	6626
癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰
6627	6628	6629	6630	6631	6632	6633	6634	6635	6636	6637	6638	6639	6640	6641	6642	6643	6644	6645	6646	6647
盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒	盒
6648	6649	6650	6651	6652	6653	6654	6655	6656	6657	6658	6659	6660	6661	6662	6663	6664	6665	6666	6667	6668
睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨	睨
6669	6670	6671	6672	6673	6674	6675	6676	6677	6678	6679	6680	6681	6682	6683	6684	6685	6686	6687	6688	6689
矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗	矗
6690	6691	6692	6693	6694	6695	6696	6697	6698	6699	6700	6701	6702	6703	6704	6705	6706	6707	6708	6709	6710
礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎
6711	6712	6713	6714	6715	6716	6717	6718	6719	6720	6721	6722	6723	6724	6725	6726	6727	6728	6729	6730	6731
磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧
6732	6733	6734	6735	6736	6737	6738	6739	6740	6741	6742	6743	6744	6745	6746	6747	6748	6749	6750	6751	6752
禧	齋	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪
6753	6754	6755	6756	6757	6758	6759	6760	6761	6762	6763	6764	6765	6766	6767	6768	6769	6770	6771	6772	6773
稻	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟
6774	6775	6776	6777	6778	6779	6780	6781	6782	6783	6784	6785	6786	6787	6788	6789	6790	6791	6792	6793	6794
窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶
6795	6796	6797	6798	6799	6800	6801	6802	6803	6804	6805	6806	6807	6808	6809	6810	6811	6812	6813	6814	6815
筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵
6816	6817	6818	6819	6820	6821	6822	6823	6824	6825	6826	6827	6828	6829	6830	6831	6832	6833	6834	6835	6836
籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
6837	6838	6839	6840	6841	6842	6843	6844	6845	6846	6847	6848	6849	6850	6851	6852	6853	6854	6855	6856	6857
籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
6858	6859	6860	6861	6862	6863	6864	6865	6866	6867	6868	6869	6870	6871	6872	6873	6874	6875	6876	6877	6878
籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
6879	6880	6881	6882	6883	6884	6885	6886	6887	6888	6889	6890	6891	6892	6893	6894	6895	6896	6897	6898	6899
籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
6900	6901	6902	6903	6904	6905	6906	6907	6908	6909	6910	6911	6912	6913	6914	6915	6916	6917	6918	6919	6920
紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
6921	6922	6923	6924	6925	6926	6927	6928	6929	6930	6931	6932	6933	6934	6935	6936	6937	6938	6939	6940	6941
條	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬
6942	6943	6944	6945	6946	6947	6948	6949	6950	6951	6952	6953	6954	6955	6956	6957	6958	6959	6960	6961	6962
綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬
6963	6964	6965	6966	6967	6968	6969	6970	6971	6972	6973	6974	6975	6976	6977	6978	6979	6980	6981	6982	6983
綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬
6984	6985	6986	6987	6988	6989	6990	6991	6992	6993	6994	6995	6996	6997	6998	6999	7000	7001	7002	7003	7004
縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷
7005	7006	7007	7008	7009	7010	7011	7012	7013	7014	7015	7016	7017	7018	7019	7020	7021	7022	7023	7024	7025
縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷
7026	7027	7028	7029	7030	7031	7032	7033	7034	7035	7036	7037	7038	7039	7040	7041	7042	7043	7044	7045	7046
縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷
7047	7048	7049	7050	7051	7052	7053	7054	7055	7056	7057	7058	7059	7060	7061	7062	7063	7064	7065	7066	7067
縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷
7068	7069	7070	7071	7072	7073	7074	7075	7076	7077	7078	7079	7080	7081	7082	7083	7084	7085	7086	7087	7088
縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷
7089	7090	7091	7092	7093	7094	7095	7096	7097	7098	7099	7100	7101	7102	7103	7104	7105	7106	7107	7108	7109
縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷
7110	7111	7112	7113	7114	7115	7116	7117	7118	7119	7120	7121	7122	7123	7124	7125	7126	7127	7128	7129	7130
縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷	縷

7101	7102	7103	7104	7105	7106	7107	7108	7109	7110	7111	7112	7113	7114	7115	7116	7117	7118	7119	7120	7121
隋	腴	脾	腓	腑	腓	腓	腓	腥	腦	腴	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈
7122	7123	7124	7125	7126	7127	7128	7129	7130	7131	7132	7133	7134	7135	7136	7137	7138	7139	7140	7141	7142
膈	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑
7143	7144	7145	7146	7147	7148	7149	7150	7151	7152	7153	7154	7155	7156	7157	7158	7159	7160	7161	7162	7163
臻	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑
7164	7165	7166	7167	7168	7169	7170	7171	7172	7173	7174	7175	7176	7177	7178	7179	7180	7181	7182	7183	7184
臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑	臑
7185	7186	7187	7188	7189	7190	7191	7192	7193	7194	7195	7196	7197	7198	7199	7200	7201	7202	7203	7204	7205
母	母	母	母	母	母	母	母	母	母	母	母	母	母	母	母	母	母	母	母	母
7206	7207	7208	7209	7210	7211	7212	7213	7214	7215	7216	7217	7218	7219	7220	7221	7222	7223	7224	7225	7226
肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉
7227	7228	7229	7230	7231	7232	7233	7234	7235	7236	7237	7238	7239	7240	7241	7242	7243	7244	7245	7246	7247
肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋	肋
7248	7249	7250	7251	7252	7253	7254	7255	7256	7257	7258	7259	7260	7261	7262	7263	7264	7265	7266	7267	7268
非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非
7269	7270	7271	7272	7273	7274	7275	7276	7277	7278	7279	7280	7281	7282	7283	7284	7285	7286	7287	7288	7289
約	約	約	約	約	約	約	約	約	約	約	約	約	約	約	約	約	約	約	約	約
7290	7291	7292	7293	7294	7295	7296	7297	7298	7299	7300	7301	7302	7303	7304	7305	7306	7307	7308	7309	7310
參	參	參	參	參	參	參	參	參	參	參	參	參	參	參	參	參	參	參	參	參
7311	7312	7313	7314	7315	7316	7317	7318	7319	7320	7321	7322	7323	7324	7325	7326	7327	7328	7329	7330	7331
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
7332	7333	7334	7335	7336	7337	7338	7339	7340	7341	7342	7343	7344	7345	7346	7347	7348	7349	7350	7351	7352
藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏
7353	7354	7355	7356	7357	7358	7359	7360	7361	7362	7363	7364	7365	7366	7367	7368	7369	7370	7371	7372	7373
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
7374	7375	7376	7377	7378	7379	7380	7381	7382	7383	7384	7385	7386	7387	7388	7389	7390	7391	7392	7393	7394
蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟
7395	7396	7397	7398	7399	7400	7401	7402	7403	7404	7405	7406	7407	7408	7409	7410	7411	7412	7413	7414	7415
蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠	蝠
7416	7417	7418	7419	7420	7421	7422	7423	7424	7425	7426	7427	7428	7429	7430	7431	7432	7433	7434	7435	7436
蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻
7437	7438	7439	7440	7441	7442	7443	7444	7445	7446	7447	7448	7449	7450	7451	7452	7453	7454	7455	7456	7457
街	街	街	街	街	街	街	街	街	街	街	街	街	街	街	街	街	街	街	街	街
7458	7459	7460	7461	7462	7463	7464	7465	7466	7467	7468	7469	7470	7471	7472	7473	7474	7475	7476	7477	7478
袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
7479	7480	7481	7482	7483	7484	7485	7486	7487	7488	7489	7490	7491	7492	7493	7494	7495	7496	7497	7498	7499
擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺
7500	7501	7502	7503	7504	7505	7506	7507	7508	7509	7510	7511	7512	7513	7514	7515	7516	7517	7518	7519	7520
襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦
7521	7522	7523	7524	7525	7526	7527	7528	7529	7530	7531	7532	7533	7534	7535	7536	7537	7538	7539	7540	7541
靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦
7542	7543	7544	7545	7546	7547	7548	7549	7550	7551	7552	7553	7554	7555	7556	7557	7558	7559	7560	7561	7562
詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠
7563	7564	7565	7566	7567	7568	7569	7570	7571	7572	7573	7574	7575	7576	7577	7578	7579	7580	7581	7582	7583
諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤
7584	7585	7586	7587	7588	7589	7590	7591	7592	7593	7594	7595	7596	7597	7598	7599	7600	7601	7602	7603	7604
謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨	謨
7605	7606	7607	7608	7609	7610	7611	7612	7613	7614	7615	7616	7617	7618	7619	7620	7621	7622	7623	7624	7625
誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤
7626	7627	7628	7629	7630	7631	7632	7633	7634	7635	7636	7637	7638	7639	7640	7641	7642	7643	7644	7645	7646
家	家	家	家	家	家	家	家	家	家	家	家	家	家	家	家	家	家	家	家	家
7647	7648	7649	7650	7651	7652	7653	7654	7655	7656	7657	7658	7659	7660	7661	7662	7663	7664	7665	7666	7667
賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
7668	7669	7670	7671	7672	7673	7674	7675	7676	7677	7678	7679	7680	7681	7682	7683	7684	7685	7686	7687	7688
赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅
7689	7690	7691	7692	7693	7694	7695	7696	7697	7698	7699	7700	7701	7702	7703	7704	7705	7706	7707	7708	7709
跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬	跬
7710	7711	7712	7713	7714	7715	7716	7717	7718	7719	7720	7721	7722	7723	7724	7725	7726	7727	7728	7729	7730
蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7731	7732	7733	7734	7735	7736	7737	7738	7739	7740	7741	7742	7743	7744	7745	7746	7747	7748	7749	7750	7751
蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7752	7753	7754	7755	7756	7757	7758	7759	7760	7761	7762	7763	7764	7765	7766	7767	7768	7769	7770	7771	7772
輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕	輕
7773	7774	7775	7776	7777	7778	7779	7780	7781	7782	7783	7784	7785	7786	7787	7788	7789	7790	7791	7792	7793
轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆	轆
7794	7795	7796	7797	7798	7799	7800	7801	7802	7803	7804	7805	7806	7807	7808	7809	7810	7811	7812	7813	7814
逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡	逡

7801	7802	7803	7804	7805	7806	7807	7808	7809	7810	7811	7812	7813	7814	7815	7816	7817	7818	7819	7820	7821	
遏	遐	遑	迢	迢	迢	逾	逋	逋	逋	逋	逋	逋	逋	逋	逋	逋	逋	逋	逋	逋	
7822	7823	7824	7825	7826	7827	7828	7829	7830	7831	7832	7833	7834	7835	7836	7837	7838	7839	7840	7841	7842	
邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	
7843	7844	7845	7846	7847	7848	7849	7850	7851	7852	7853	7854	7855	7856	7857	7858	7859	7860	7861	7862	7863	
醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	醴	
7864	7865	7866	7867	7868	7869	7870	7871	7872	7873	7874	7875	7876	7877	7878	7879	7880	7881	7882	7883	7884	
釵	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	
7885	7886	7887	7888	7889	7890	7891	7892	7893	7894	7911	7912	7913	7914	7915	7916	7917	7918	7919	7920	7921	
鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	
7901	7902	7903	7904	7905	7906	7907	7908	7909	7910	7911	7912	7913	7914	7915	7916	7917	7918	7919	7920	7921	
鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	
7922	7923	7924	7925	7926	7927	7928	7929	7930	7931	7932	7933	7934	7935	7936	7937	7938	7939	7940	7941	7942	
鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	
7943	7944	7945	7946	7947	7948	7949	7950	7951	7952	7953	7954	7955	7956	7957	7958	7959	7960	7961	7962	7963	
鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	
7964	7965	7966	7967	7968	7969	7970	7971	7972	7973	7974	7975	7976	7977	7978	7979	7980	7981	7982	7983	7984	
鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	
7985	7986	7987	7988	7989	7990	7991	7992	7993	7994	8008	8009	8010	8011	8012	8013	8014	8015	8016	8017	8018	
阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	阨	
8001	8002	8003	8004	8005	8006	8007	8008	8009	8010	8011	8012	8013	8014	8015	8016	8017	8018	8019	8020	8021	
陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	
8022	8023	8024	8025	8026	8027	8028	8029	8030	8031	8032	8033	8034	8035	8036	8037	8038	8039	8040	8041	8042	
雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	
8043	8044	8045	8046	8047	8048	8049	8050	8051	8052	8053	8054	8055	8056	8057	8058	8059	8060	8061	8062	8063	
霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	霭	
8064	8065	8066	8067	8068	8069	8070	8071	8072	8073	8074	8075	8076	8077	8078	8079	8080	8081	8082	8083	8084	
鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	
8085	8086	8087	8088	8089	8090	8091	8092	8093	8094	8111	8112	8113	8114	8115	8116	8117	8118	8119	8120	8121	
頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	
8101	8102	8103	8104	8105	8106	8107	8108	8109	8110	8111	8112	8113	8114	8115	8116	8117	8118	8119	8120	8121	
頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	
8122	8123	8124	8125	8126	8127	8128	8129	8130	8131	8132	8133	8134	8135	8136	8137	8138	8139	8140	8141	8142	
餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅
8143	8144	8145	8146	8147	8148	8149	8150	8151	8152	8153	8154	8155	8156	8157	8158	8159	8160	8161	8162	8163	
駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	
8164	8165	8166	8167	8168	8169	8170	8171	8172	8173	8174	8175	8176	8177	8178	8179	8180	8181	8182	8183	8184	
驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	
8185	8186	8187	8188	8189	8190	8191	8192	8193	8194	8211	8212	8213	8214	8215	8216	8217	8218	8219	8220	8221	
髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	
8201	8202	8203	8204	8205	8206	8207	8208	8209	8210	8211	8212	8213	8214	8215	8216	8217	8218	8219	8220	8221	
髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	
8222	8223	8224	8225	8226	8227	8228	8229	8230	8231	8232	8233	8234	8235	8236	8237	8238	8239	8240	8241	8242	
魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	
8243	8244	8245	8246	8247	8248	8249	8250	8251	8252	8253	8254	8255	8256	8257	8258	8259	8260	8261	8262	8263	
鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	
8264	8265	8266	8267	8268	8269	8270	8271	8272	8273	8274	8275	8276	8277	8278	8279	8280	8281	8282	8283	8284	
鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	
8285	8286	8287	8288	8289	8290	8291	8292	8293	8294	8311	8312	8313	8314	8315	8316	8317	8318	8319	8320	8321	
鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	
8301	8302	8303	8304	8305	8306	8307	8308	8309	8310	8311	8312	8313	8314	8315	8316	8317	8318	8319	8320	8321	
鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	
8322	8323	8324	8325	8326	8327	8328	8329	8330	8331	8332	8333	8334	8335	8336	8337	8338	8339	8340	8341	8342	
鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	
8343	8344	8345	8346	8347	8348	8349	8350	8351	8352	8353	8354	8355	8356	8357	8358	8359	8360	8361	8362	8363	
鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	
8364	8365	8366	8367	8368	8369	8370	8371	8372	8373	8374	8375	8376	8377	8378	8379	8380	8381	8382	8383	8384	
鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	
8385	8386	8387	8388	8389	8390	8391	8392	8393	8394	8411	8412	8413	8414	8415	8416	8417	8418	8419	8420	8421	
鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	
8401	8402	8403	8404	8405	8406	8407	8408	8409	8410	8411	8412	8413	8414	8415	8416	8417	8418	8419	8420	8421	
堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	
8422	8423	8424	8425	8426	8427	8428	8429	8430	8431	8432	8433	8434	8435	8436	8437	8438	8439	8440	8441	8442	
堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	
8443	8444	8445	8446	8447	8448	8449	8450	8451	8452	8453	8454	8455	8456	8457	8458	8459	8460	8461	8462	8463	
堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	
8464	8465	8466	8467	8468	8469	8470	8471	8472	8473	8474	8475	8476	8477	8478	8479	8480	8481	8482	8483	8484	
堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	
8485	8486	8487	8488	8489	8490	8491	8492	8493	8494												
堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯												

6-7 機能一覧



※【カット長】の【指定】での印刷について
 記名板印字エリア「標準」でカット長を8.5mm未満に指定した印刷をおこなう場合は、以下の仕様となります。

印字媒体	カット長を8.5mm未満に指定したときの仕様
記名板	カット長を指定できますが、文字配置は【センタリング】のみの設定となります。
ラベル	カット長を指定できますが、文字配置は【センタリング】のみの設定となります。 ※但し、【カット設定】の【半切り】を【あり】で印字したときにセンタリングされないことがあります。 ラベルテープでカット長を3.5mm以下で半切りをする場合は、以下の方法・設定を行ってください。 ・9mm、12mm幅のラベルテープをご使用ください。 ・カットの深さの調整が必要になります。(143ページ)
チューブ 4mm I.D. Strip 透明チューブ 熱収縮チューブ ラップアラウンドテープ	カット長を指定しても、実際の印刷では印刷品位を保つために、カット長を【自動】に変換して行います。 (左右端余白は2.0mm以上になります)

印字方式	熱転写方式
解像度	300dpi
印字速度	チューブ：高速モード40mm/秒 中速モード25mm/秒 低速モード18.5mm/秒 ラベル：高速モード40mm/秒 中・低速モード25mm/秒
処理速度	高速モード42本/分 中速モード35本/分 低速モード30本/分 (印字条件：チューブ印字でカット長20mm、3mm全角5文字印字、半切りする、カット強さは標準のとき)
インクリボン	リボンカセット(黒色、白色)長さ：黒色40m、100m/白色85m 記名板用黒色40m
印字文字サイズ	1.3mm全角、2mm全角/半角、3mm全角/半角、6mm全角/半角 (ただし、半角、1.3mmおよび2mmは漢字印字不可)
文字種類	JIS第1水準、JIS第2水準、記号類
入力方式	ノートパソコンタイプキーボード(JIS配列準拠)
入力方法	ローマ字かな漢字変換入力、ひらがなカタカナ入力、英数字入力、区点コード入力、記号入力
辞書数	約80,000語
表示方式	バックライト付き液晶表示器によるグラフィック表示 (160×64ドット)
表示文字数	入力データ10文字×2行(全角表示時)
メモリ容量	印字文字データ記憶部* 約5,000文字 ファイル保存記憶部* 約60,000文字
カット方式	自動半切り、自動全切り
電源	ACアダプター (N14854) CANON FINETECH NISCA INC. AC100V～240V 50/60Hz
インタフェース	USB2.0 Full-Speed (PC接続キット使用) ※USB1.1対応可能
動作環境	温度 15℃～32.5℃、湿度 10%～85%** **チューブウオーマー (オプション) 装着により5℃～18℃の低温時でも使用可能
保管環境	温度 5℃～35℃、湿度 10%～90%
最大消費電力	17.3W
本体寸法	幅(W) 250mm×奥行(D) 300mm×高さ(H) 85mm
本体質量	2.0kg(本体のみ)

印字媒体

チューブ	PVCチューブ 内径Φ2.5～6.5mm対応厚さ0.5mmタイプ ※チューブは印字できることを確認してからご使用ください。
ラベルテープ	カセット(白色、黄色、銀色) 幅6mm、9mm、12mm 長さ30m(銀色27m)
ラップアラウンドテープ	カセット(印字部のみ白色、その他は透明) 巻き長さ8m 長さ33mm 幅8mm～150mm(カット長設定により幅の変更可能)
4mmI.D.Strip	カセット(白色) 幅4.0mm 長さ5m 厚さ1.0mm ※4mmI.D.Stripは印字できることを確認してからご使用ください。
記名板	記名板 厚さ0.5mm 幅 8mm、8.5mm、9.5mm、10mm ※オプションの記名板アタッチメントが必要 ※本体カッターによるカット不可 ※ 記名板は印字できることを確認してからご使用ください。

- その他の使用できる印字媒体についての詳細は、お求めの販売店にお問い合わせください。
- 製品改良のため、予告なく仕様変更されることがありますのでご了承ください。
- 市販のチューブ、記名板の中には本プリンターで印字できないものがあります。印字できることを確認してからご使用ください。

カッター動作記録

回	年	月	日
回	年	月	日
回	年	月	日
回	年	月	日
回	年	月	日
回	年	月	日
回	年	月	日
回	年	月	日
回	年	月	日
回	年	月	日
回	年	月	日
回	年	月	日
回	年	月	日
回	年	月	日
回	年	月	日
回	年	月	日



お客様ご相談窓口について

**お客様相談センター全
国共通電話番号**

0570-08-0064

受付時間 [平日] 9:00～17:00

(土日、祝祭日と年末年始、弊社休業日を除く)

* 上記番号は0570から始まるナビダイヤルを利用しています。

* ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4412 におかけください。

- 製品には保証書が同梱されています。必要な事項が記入されているかどうか確認の上、大切に保管してください。万一の故障のときの本体無償修理期間はご購入後半年間です。ただし、消耗品類(紙類、カセット等)は、保証の対象とはなりません。
- 保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。
- その他アフターサービスなどについてご不明な点がございましたら、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
- 修理を依頼されるときは下記の修理対応窓口までご連絡ください。

キヤノンシステムアンドサポート株式会社

テクニカルリペアセンター

〒141-0032 東京都品川区大崎5-10-6 大崎ロジスティックビル4F TEL 03-5496-0720

